

瀬戸市
高齢者総合計画実態調査
報告書

令和8年3月
愛知県 瀬戸市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類と実施方法	1
3	回収結果	2
4	報告書の見方	2
II	介護予防・日生活圏域ニーズ調査の結果	4
1	あなたのご家族や生活状況について	4
2	からだを動かすことについて	11
3	外出について	14
4	食べることについて	22
5	毎日の生活について	27
6	地域での活動について	40
7	就労について	46
8	あなたとまわりの人の「たすけあい」について	48
9	健康について	54
10	今後の生活について	59
11	認知症について	60
12	要介護リスクの状況について（一般高齢者）	62
III	在宅介護実態調査の結果	69
A票	調査対象者について	70
B票	主な介護者の方について	79
IV	介護人材実態調査の結果	87
1	事業所票（訪問系/施設・通所系）	87
2	職員票（訪問系）	96
V	居所変更実態調査の結果	102
VI	圏域別の状況について	109
1	地域課題分析の視点	109
2	地域課題の分析	112

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度を初年度とする「瀬戸市高齢者福祉計画（第10期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）」の策定にあたり、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、瀬戸市（以降、「本市」という。）における課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として、本調査を実施しました。

2 調査の種類と実施方法

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者	瀬戸市に居住する要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の人
調査票配布数	2,500件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・郵送及びWeb回答による回収
調査時期	令和7年11月27日～令和7年12月19日

②在宅介護実態調査

調査対象者	瀬戸市に居住する65歳以上で要介護認定を受けている高齢者及びその主な介護者である家族・親族
調査票配布数	600件
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	令和7年11月27日～令和7年12月19日

③介護人材調査

調査対象者	令和7年10月1日現在に瀬戸市内にあるすべての施設・通所系、及び訪問系のサービス事業所
調査票配布数	施設・通所系：128事業所（施設系73事業所、通所系55事業所） 訪問系：47事業所
調査方法	メールによる配布・Web、メール、郵送による回収
調査時期	令和7年12月1日～令和8年1月9日

④居所変更調査

調査対象者	令和7年10月1日現在に瀬戸市内にあるすべての施設・居住系サービス事業所
調査票配布数	73事業所
調査方法	メールによる配布・Web、メール、郵送による回収
調査時期	令和7年12月1日～令和8年1月9日

3 回収結果

単位：上段/件、下段/%

調査種別	配布数	回収数		有効	無効
		郵送	Web、 メール		
①介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	2,500	1,632	161	1,793	0
	100.0%	65.3%	6.4%	71.7%	0.0%
②在宅介護実態調査	600	390	-	389	1
	100.0%	65.0%	-	64.8%	0.2%
③介護人材調査					
施設・通所系事業所票	128	10	96	106	0
	100.0%	7.8%	75.0%	82.8%	0.0%
訪問系事業所票	47	5	35	40	0
	100.0%	10.6%	74.5%	85.1%	0.0%
訪問系職員票	-	44	204	248	1
④居所変更調査	73	7	42	49	0
	100.0%	9.6%	57.5%	67.1%	0.0%

※③と④の回収数はWebとメールを併用した回収数です。

4 報告書の見方

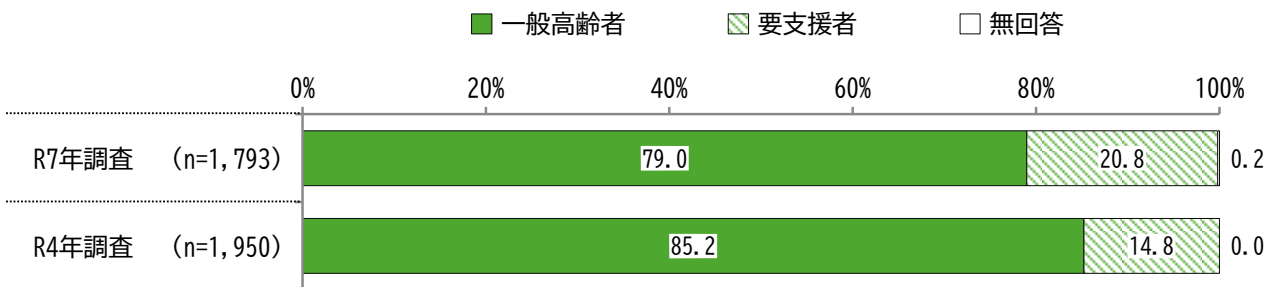
- 本調査結果については、前回調査で同様の設問があるものについては、基本的に前回調査結果と今回の調査結果を併記して示しています。R7年と表記しているのが今回の調査結果、R4年と表記しているのが前回の調査結果です。
- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- 回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。

- 基数となるべき実数は、件数またはnとして表記しました。比率は、この件数を 100%として算出しています。
- 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）としています。各選択肢の回答割合の合計が 100%を超える場合があります。この形式の質問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- 本報告書の表の見出し及び本文中の回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して表記している場合があります。
- 地域ごとの状況を示すため、圏域（日常生活圏域）別に集計結果を示していることがあります。本市の日常生活圏域は5圏域となっており、それぞれに含まれる連区は下記のとおりです。

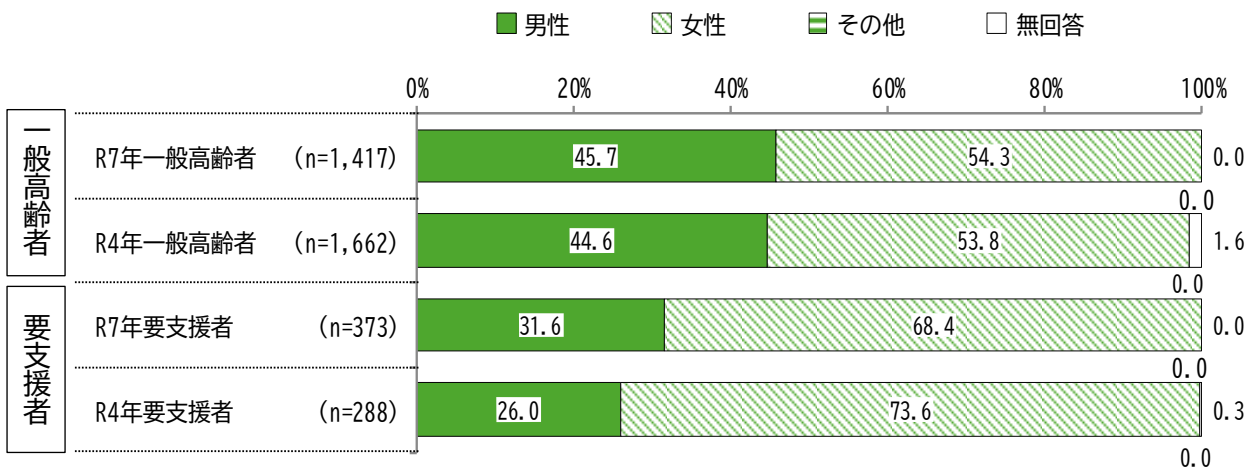
北部地域	水野・西陵	中央地域西	效範・水南・長根
東部地域	品野・下品野・東明	南部地域	山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台
中央地域東	古瀬戸・道泉・深川・祖母懐・陶原		

Ⅱ 介護予防・日生活圏域ニーズ調査の結果

1 あなたのご家族や生活状況について

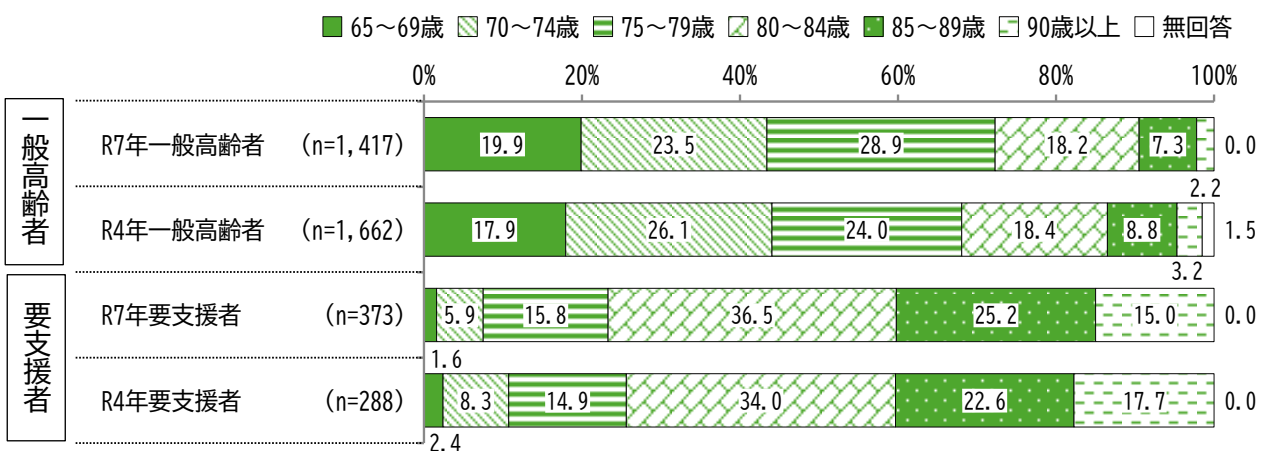


①性別

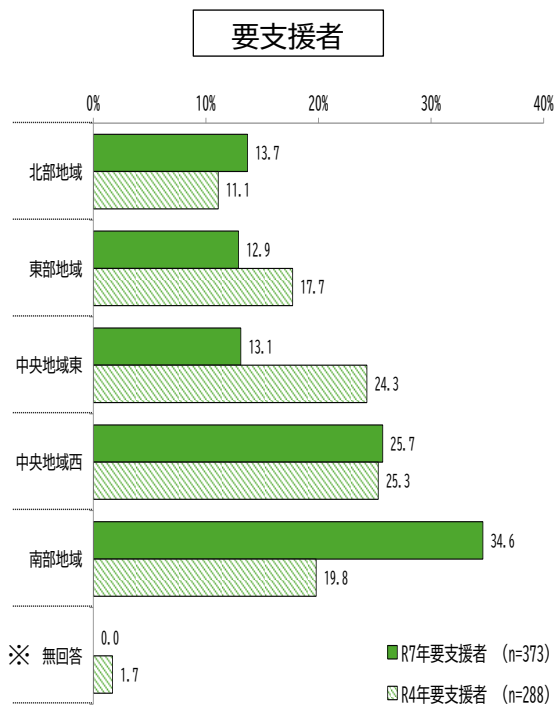
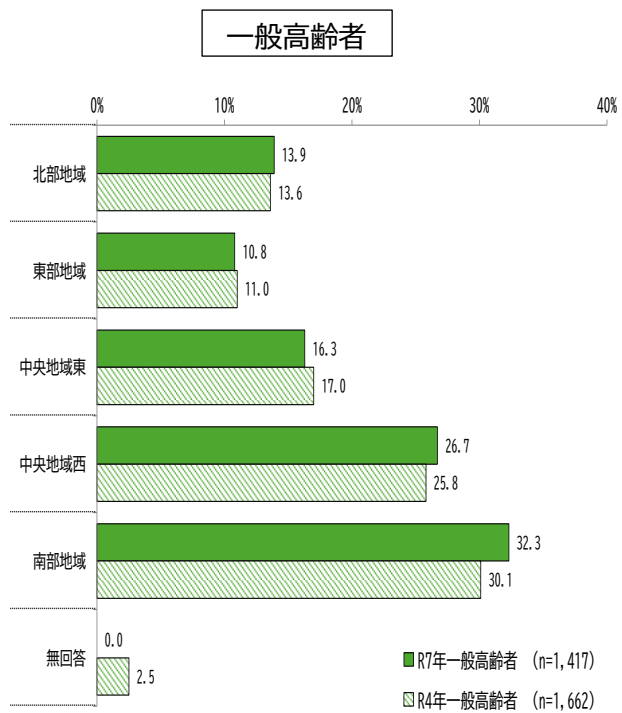


※「その他」は令和4年調査のみの選択肢です。

②年齢（令和7年11月現在）

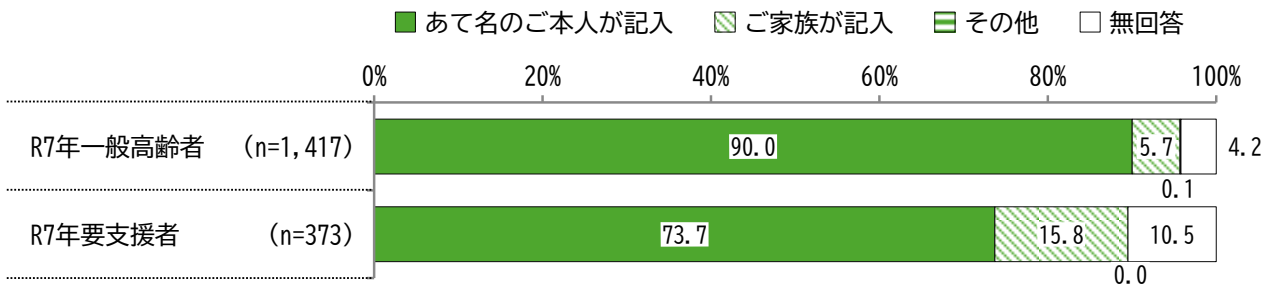


③圏域



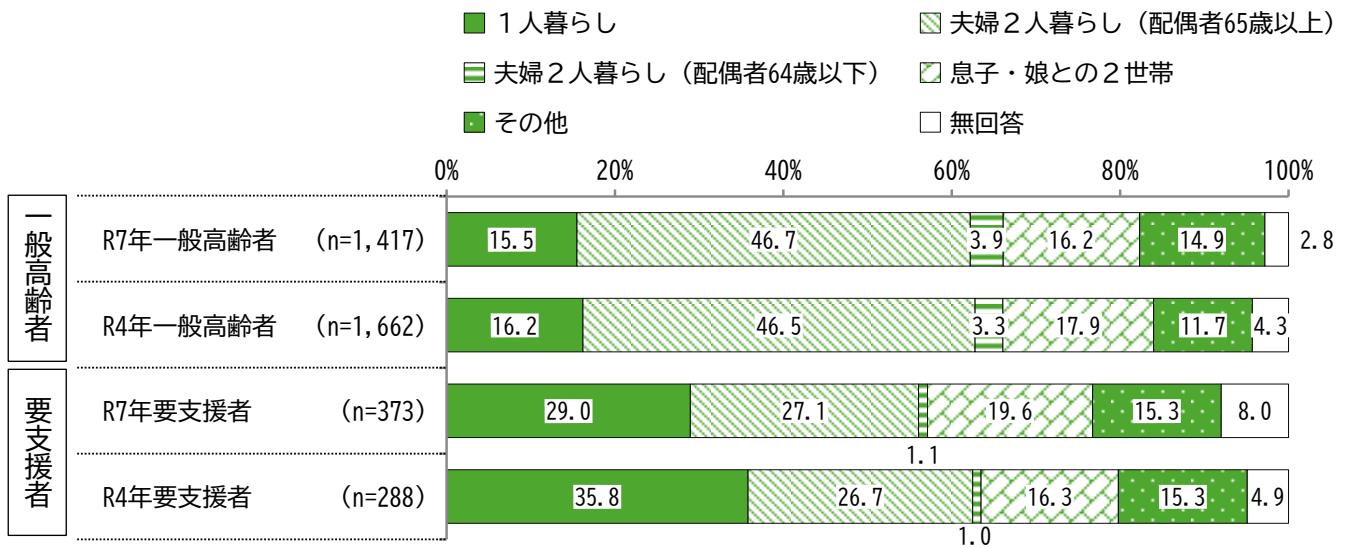
※「不明」と「無回答」を合わせて集計しました。

問1. 現在、この調査票を記入されたのはどなたですか。



問2. 家族構成をお教えてください。

年齢別にみると、高齢になるにつれて「1人暮らし」が増加傾向にあります。



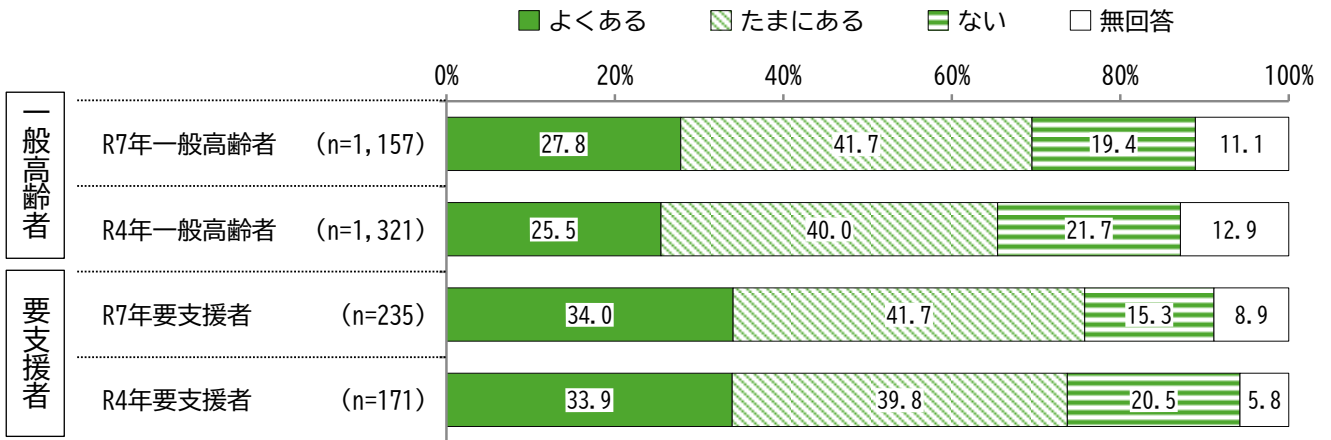
年齢別【一般高齢者】

単位：%

年齢別	年齢	全体	1人暮らし	偶	偶	息子・娘との2世帯	その他	無回答
				夫者65歳以上)	夫者64歳以下)			
一般高齢者	65～69歳	282	12.8	36.5	11.0	15.6	22.0	2.1
	70～74歳	333	11.4	52.9	4.8	13.8	14.1	3.0
	75～79歳	409	17.1	50.9	0.7	17.1	11.0	3.2
	80～84歳	258	17.8	47.3	1.2	16.3	15.5	1.9
	85～89歳	104	22.1	43.3	1.9	17.3	10.6	4.8
	90歳以上	31	22.6	25.8	0.0	29.0	19.4	3.2

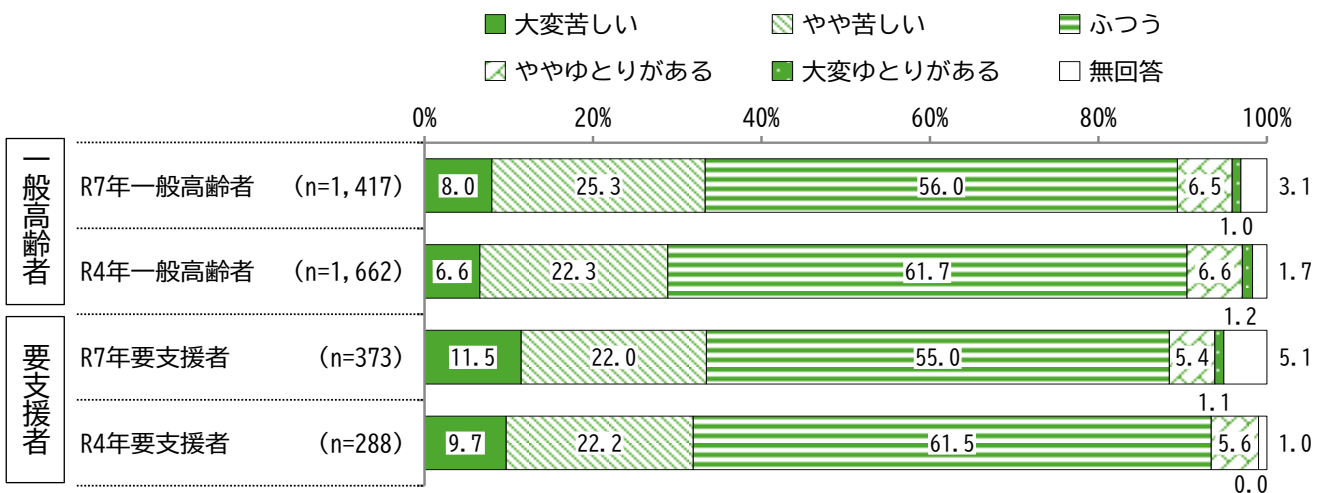
【問2において「1人暮らし」以外を回答された方にお伺いします】

問3. 日中、1人になることがありますか。

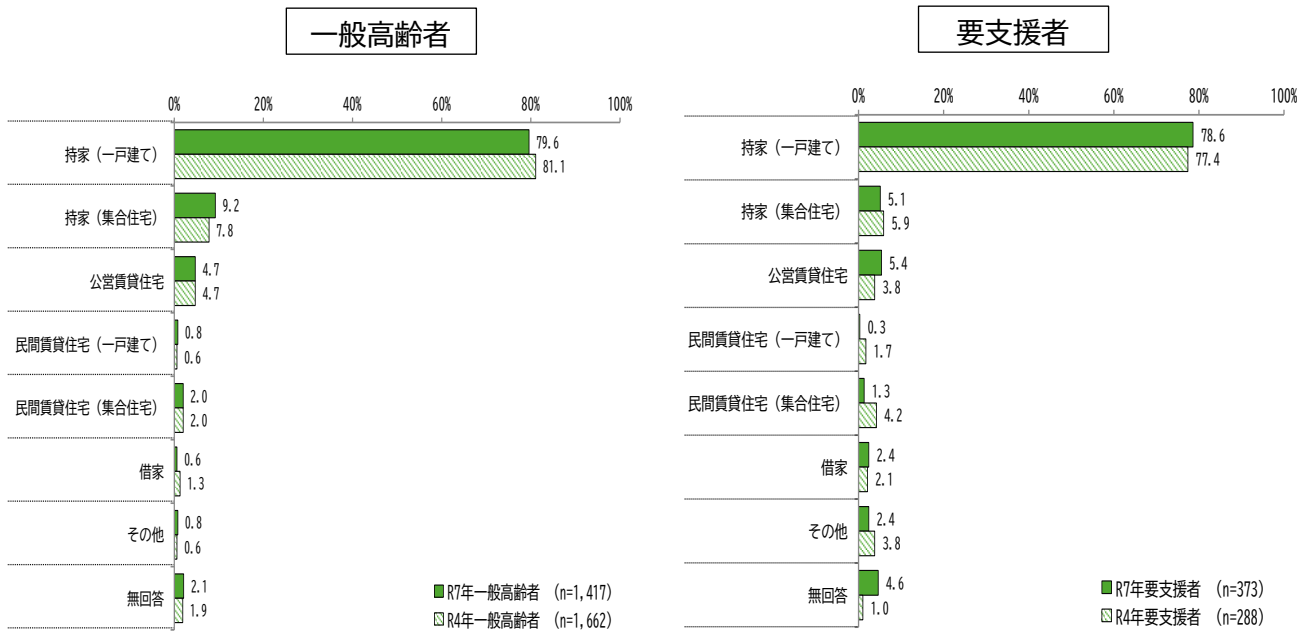


【ここからはすべての方にお伺いします】

問4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



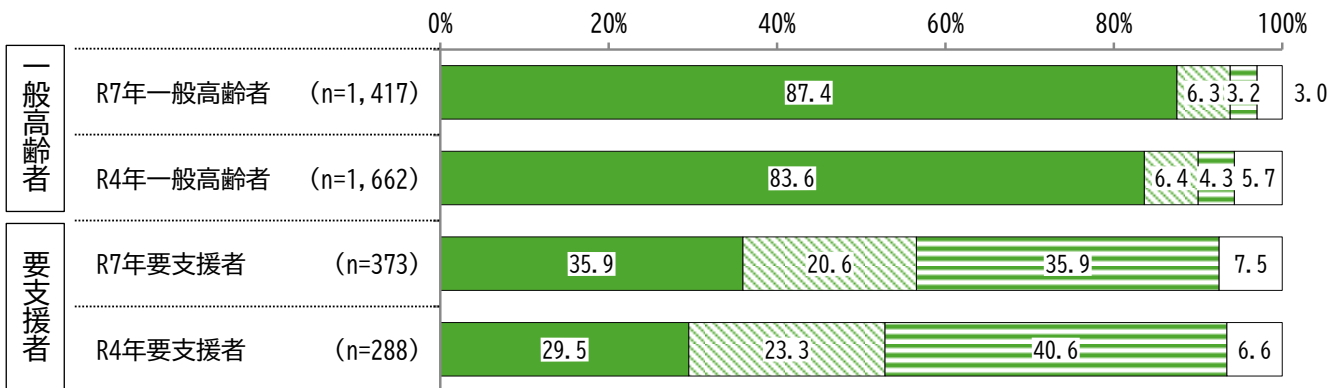
問5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



問6. 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

年齢別にみると、すべての年齢で「介護・介助は必要ない」の割合が最も高くなっています。

- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▨ 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



年齢別【一般高齢者】

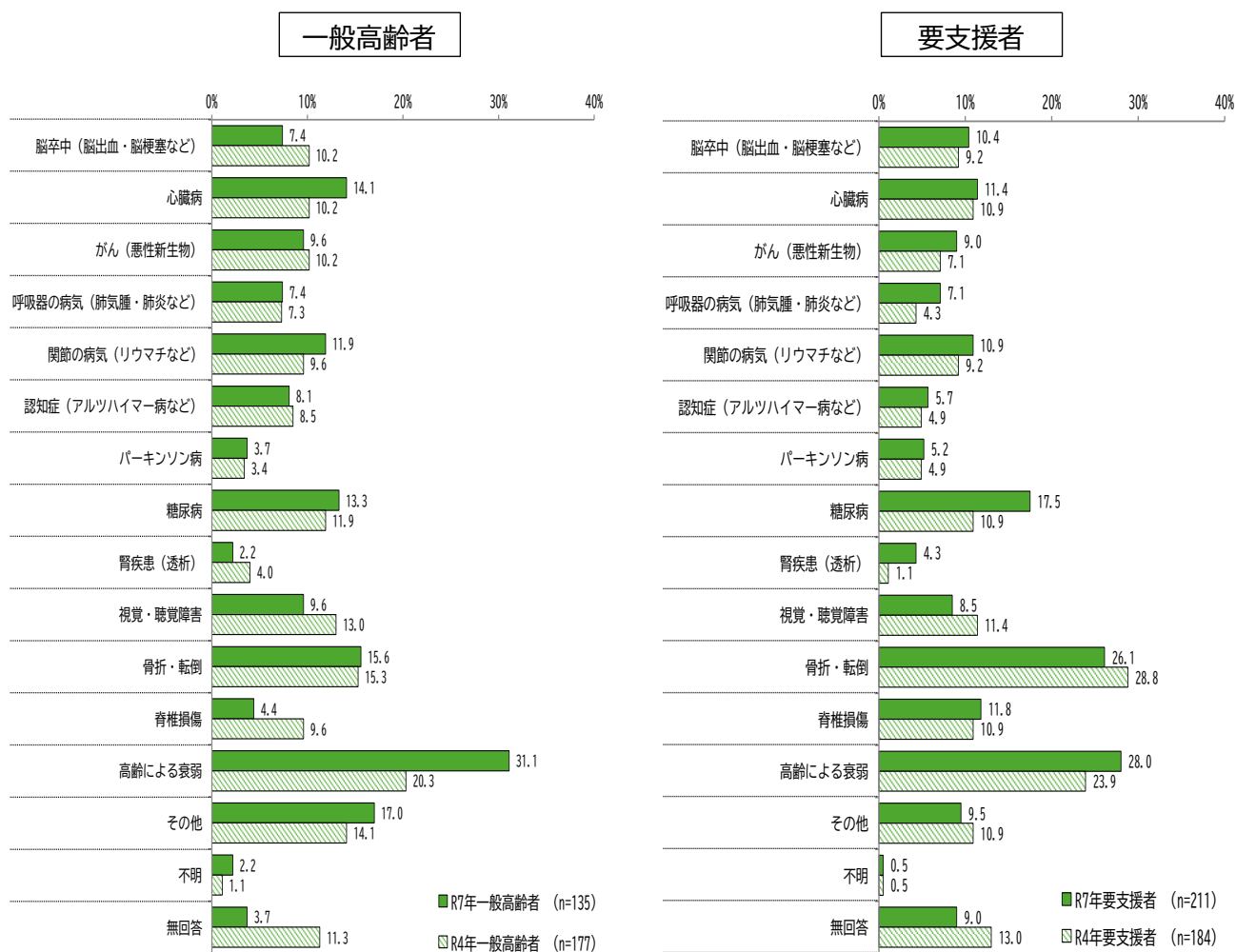
単位：％

		全体	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けていない、家族などの介護を受けている場合も含む）	無回答
年齢別	65～69歳	282	94.0	2.1	2.1	1.8
	70～74歳	333	90.1	4.2	2.4	3.3
	75～79歳	409	89.0	4.6	2.4	3.9
	80～84歳	258	85.7	9.7	2.7	1.9
	85～89歳	104	71.2	17.3	6.7	4.8
	90歳以上	31	48.4	22.6	25.8	3.2

【問6において「介護・介助は必要ない」以外を回答された方にお伺いします】

問7. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（複数回答）

前回調査と比較すると、一般高齢者では、「高齢による衰弱」が10.8ポイント高くなっています。

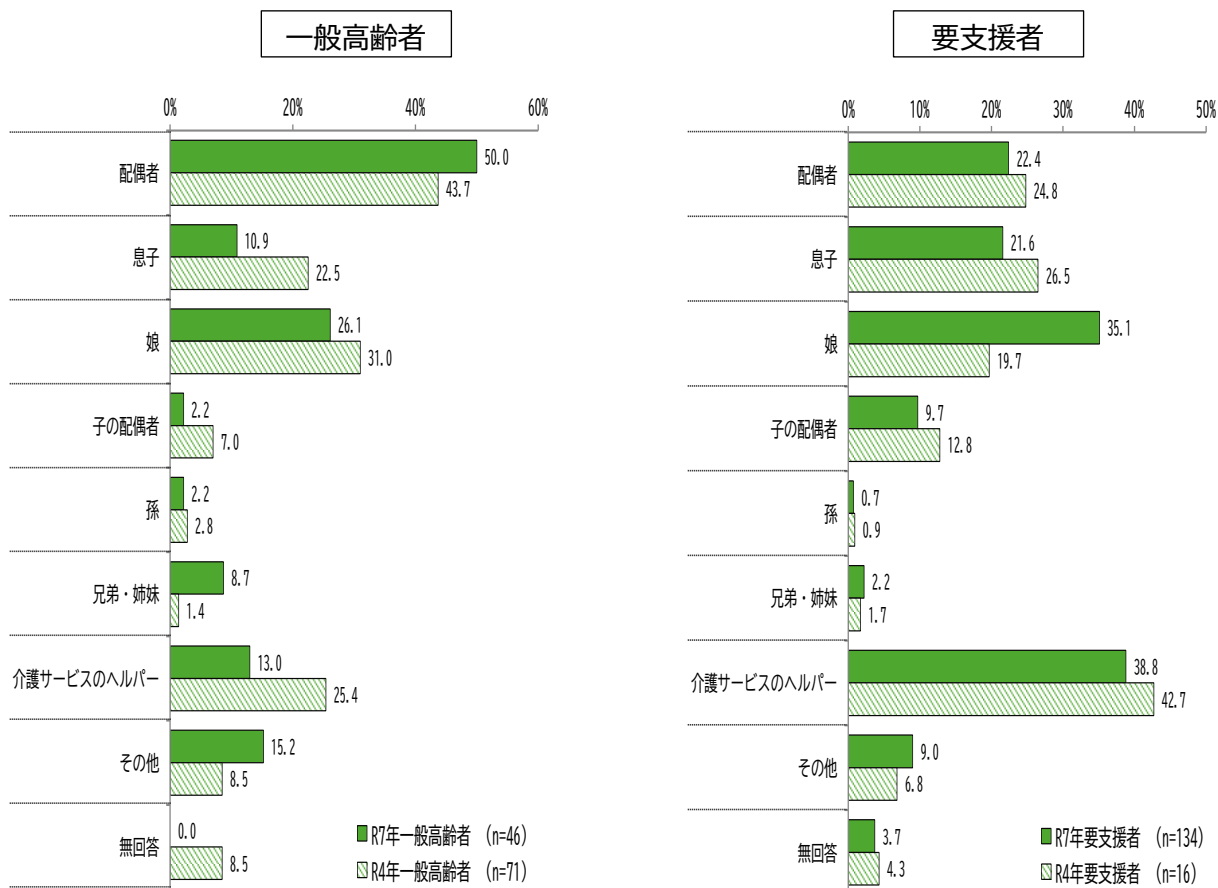


【問6において「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方にお伺いします】

問8. 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(複数回答)

前回調査と比較すると、一般高齢者では、「息子」が11.6ポイント、「介護サービスのヘルパー」が12.4ポイント低くなっています。

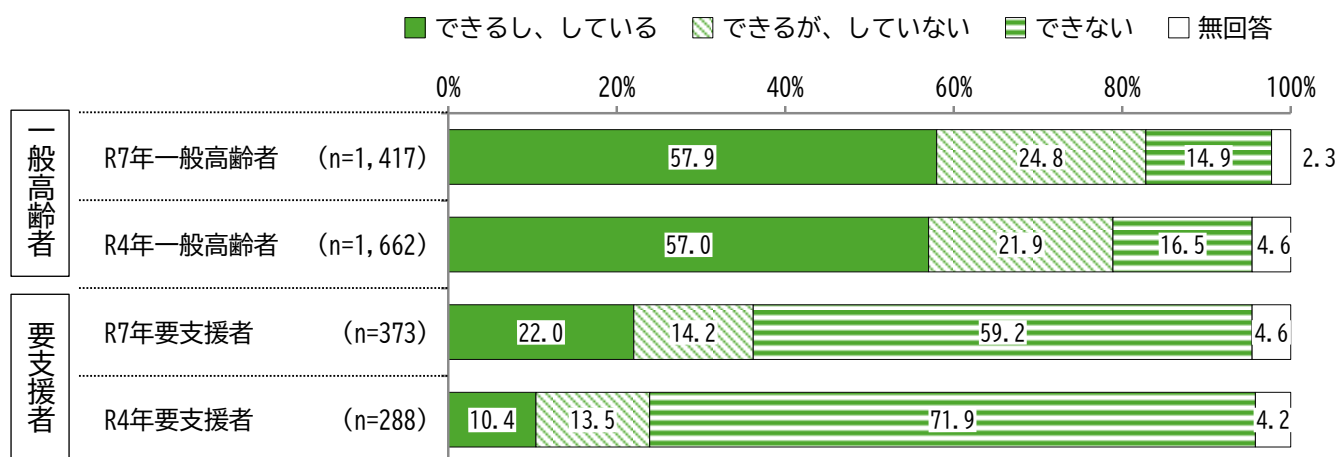
要支援者では、「娘」が15.4ポイント高くなっています。



2 からだを動かすことについて

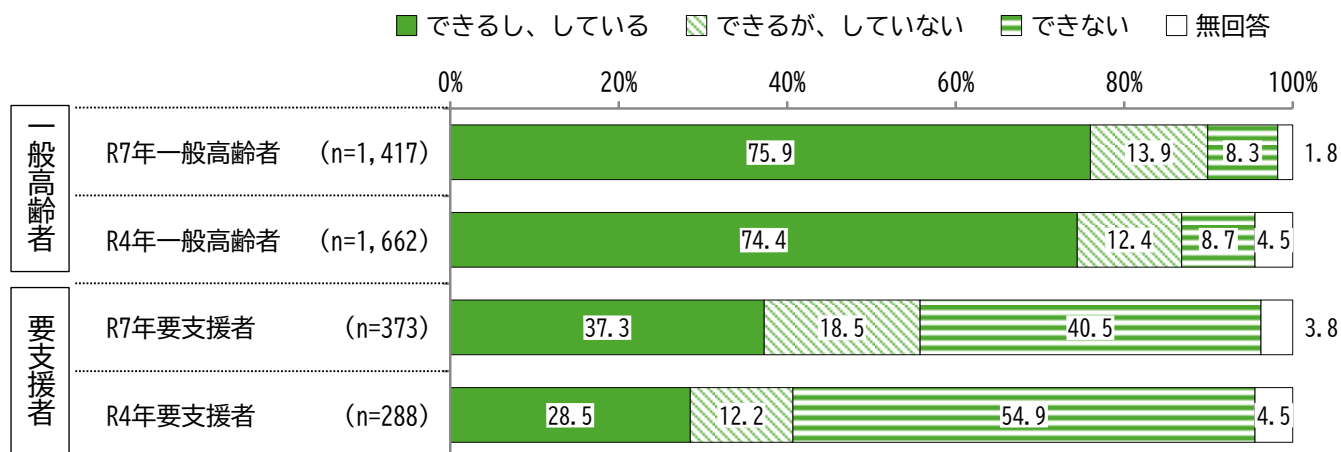
問9. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

前回調査と比較すると、要支援者では、「できるし、している」が11.6ポイント高く、「できない」が12.7ポイント低くなっています。



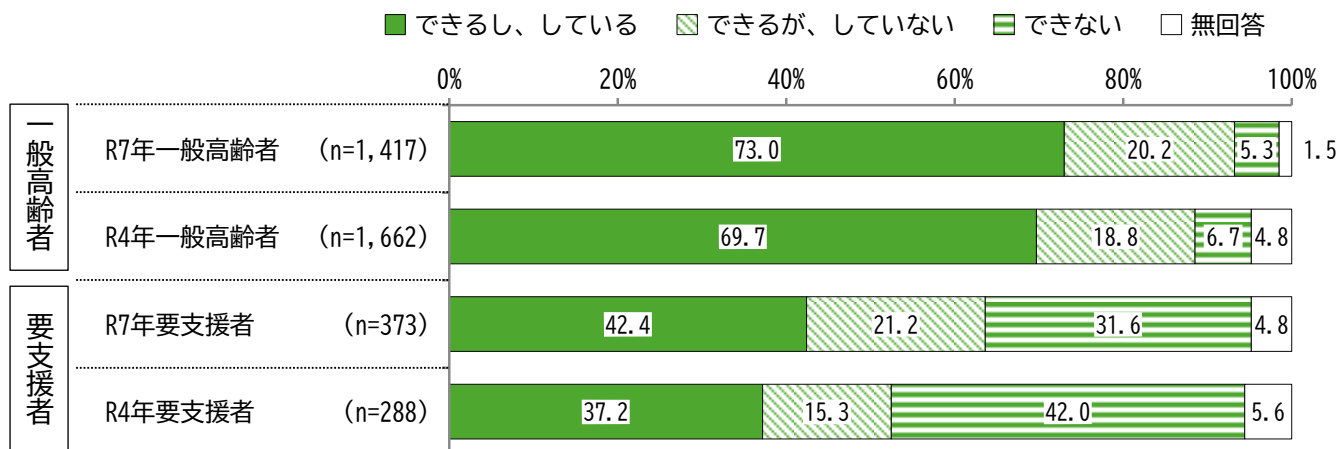
問10. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

前回調査と比較すると、要支援者では、「できない」が14.4ポイント低くなっています。

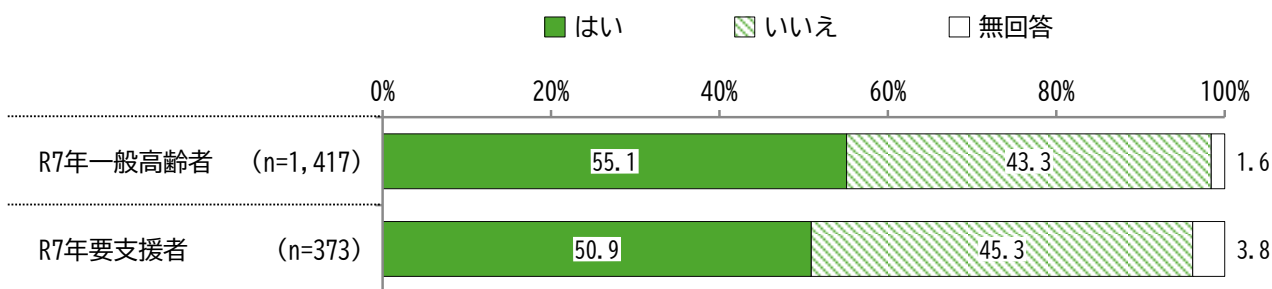


問 11. 15分くらい続けて歩いていますか。

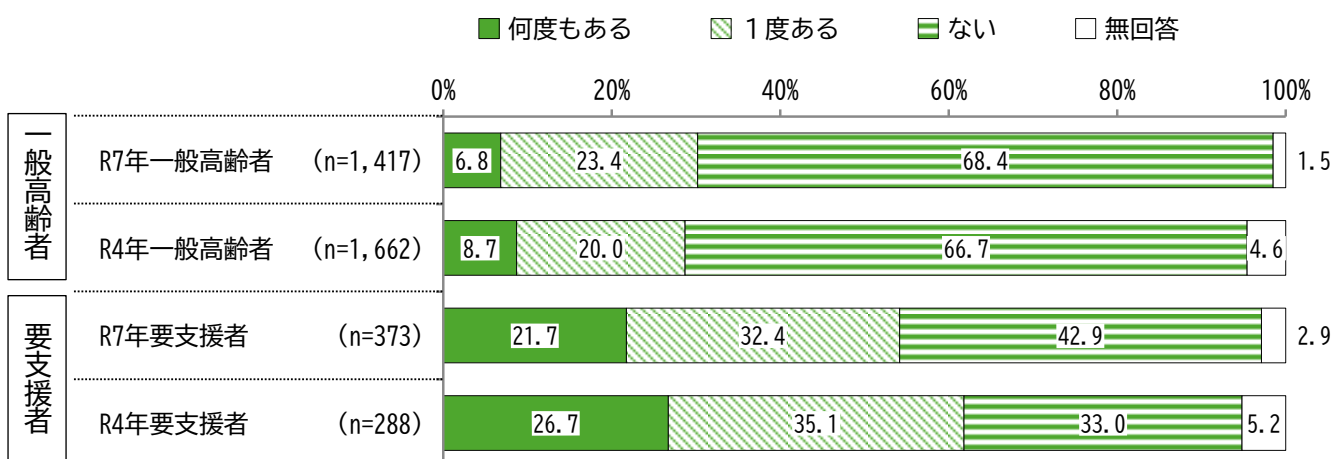
前回調査と比較すると、要支援者では、「できない」が10.4ポイント低くなっています。



問 12. 軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。

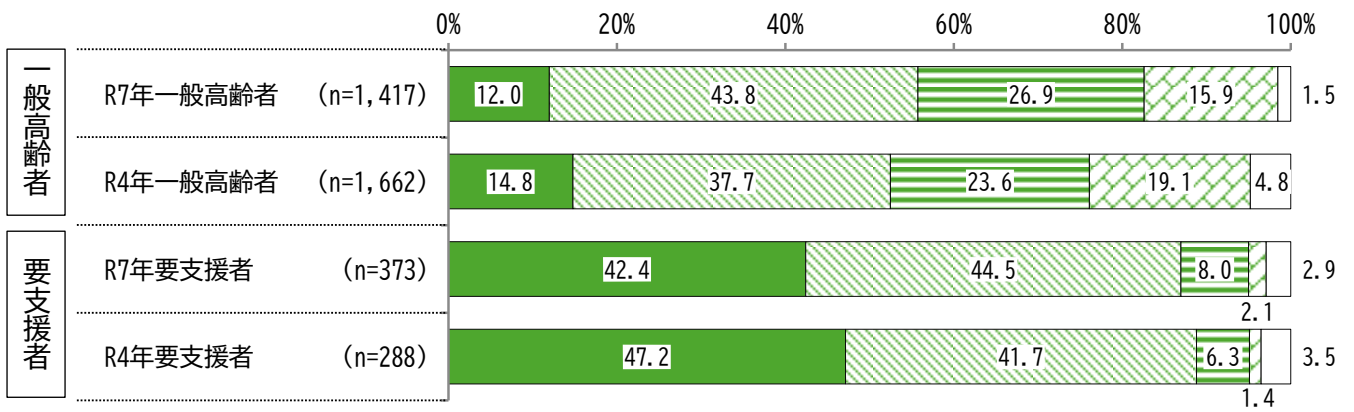


問 13. 過去1年間に転んだ経験がありますか。



問 14. 転倒に対する不安は大きいですか。

■ とても不安である ▨ やや不安である ▤ あまり不安でない ▧ 不安でない □ 無回答



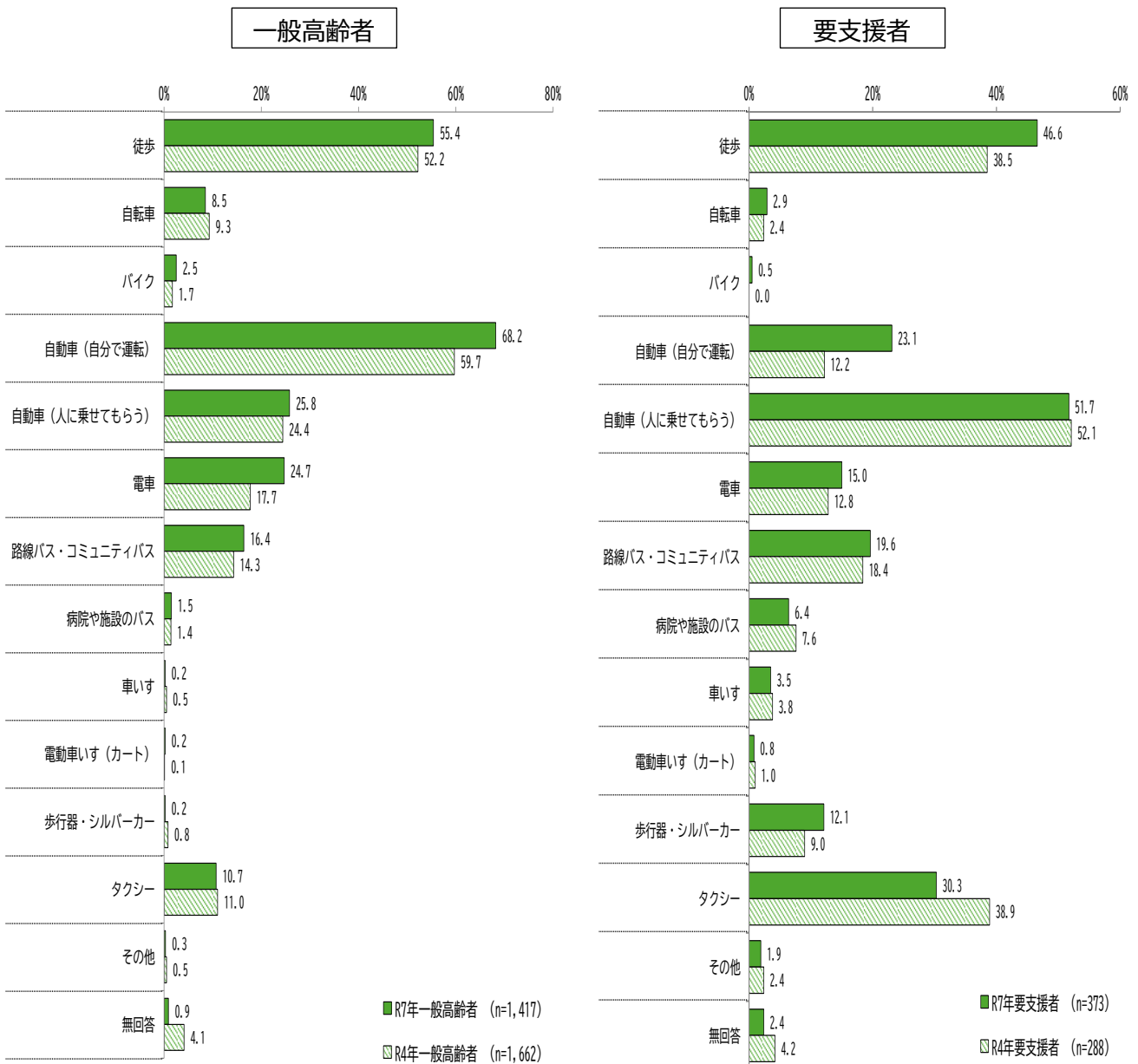
3 外出について

問 15. 外出する際の移動手段は何ですか。(複数回答)

前回調査と比較すると、要支援者では、「自動車(自分で運転)」が 10.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、65～69 歳、70～74 歳で「自動車(自分で運転)」(84.0%、81.4%)の割合が高くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「自動車(自分で運転)」の割合が最も高くなっています。



年齢別・圏域別【一般高齢者】

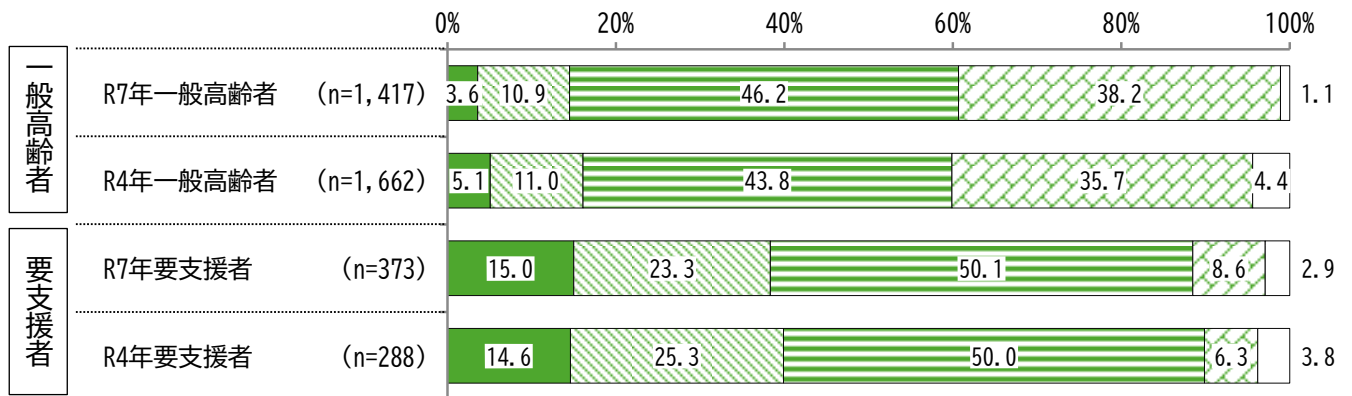
単位：%

		全体	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス・コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
年齢別	65～69歳	282	59.6	12.8	3.9	84.0	22.3	31.6	12.4	0.4	0.4	0.0	0.0	7.4	0.4	1.1
	70～74歳	333	56.2	7.8	2.1	81.4	20.1	26.4	14.1	0.9	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	0.9
	75～79歳	409	54.0	6.6	2.4	65.0	27.6	20.5	16.9	1.7	0.2	0.0	0.0	9.8	0.5	0.7
	80～84歳	258	55.4	8.5	2.7	55.0	28.3	27.1	19.8	1.9	0.0	0.8	0.4	16.3	0.0	0.4
	85～89歳	104	49.0	8.7	1.0	42.3	29.8	14.4	24.0	2.9	1.0	0.0	1.0	16.3	0.0	1.9
	90歳以上	31	48.4	3.2	0.0	19.4	58.1	12.9	19.4	6.5	0.0	3.2	3.2	29.0	3.2	3.2
圏域別	北部地域	197	52.3	9.6	2.5	69.5	26.4	23.9	22.8	0.5	0.0	0.5	0.0	9.6	0.0	1.0
	東部地域	153	40.5	2.0	0.7	85.0	20.3	13.7	17.6	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
	中央地域東	231	58.9	8.2	1.7	64.5	30.3	28.6	17.3	0.9	0.0	0.0	0.9	13.0	0.4	0.4
	中央地域西	378	60.3	9.3	2.6	64.3	28.0	30.4	8.7	0.5	0.3	0.0	0.3	12.4	0.0	1.3
	南部地域	458	55.9	9.8	3.5	67.0	23.1	22.1	19.2	3.1	0.4	0.4	0.0	11.1	0.7	1.1

問 16. 週に1回以上は外出していますか。

年齢別にみると、65～69歳で「週5回以上」(53.5%)、70歳以降で「週2～4回」の割合が最も高くなっています。

■ ほとんど外出しない ■ 週1回 ■ 週2～4回 ■ 週5回以上 □ 無回答

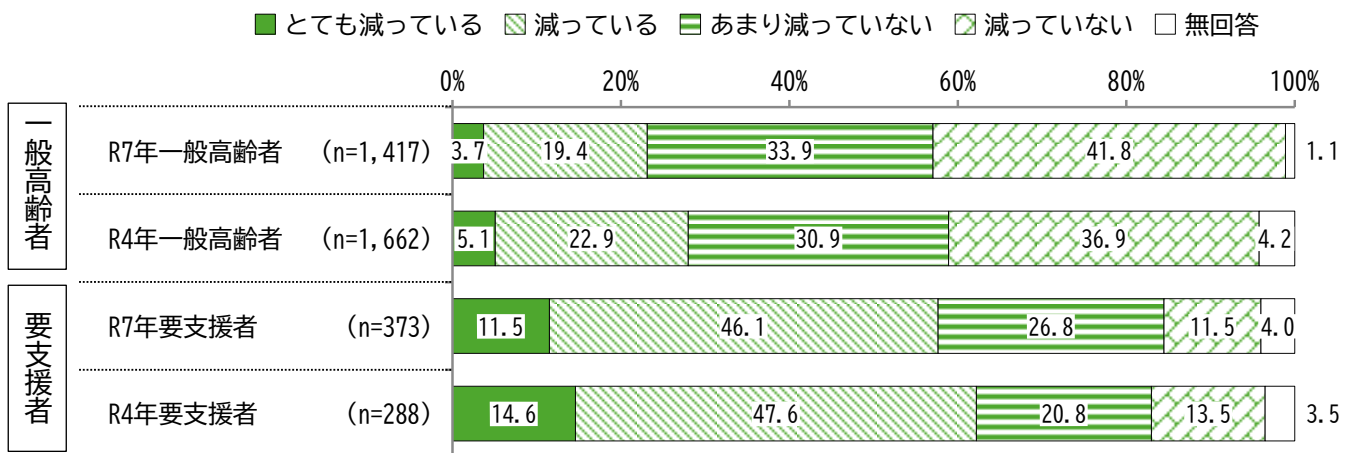


年齢別【一般高齢者】

単位：%

		全体	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
年齢別	65～69歳	282	1.8	6.4	37.2	53.5	1.1
	70～74歳	333	3.0	5.7	46.2	44.1	0.9
	75～79歳	409	3.4	9.5	49.1	37.2	0.7
	80～84歳	258	3.9	20.2	50.0	24.8	1.2
	85～89歳	104	8.7	16.3	51.0	21.2	2.9
	90歳以上	31	9.7	32.3	38.7	16.1	3.2

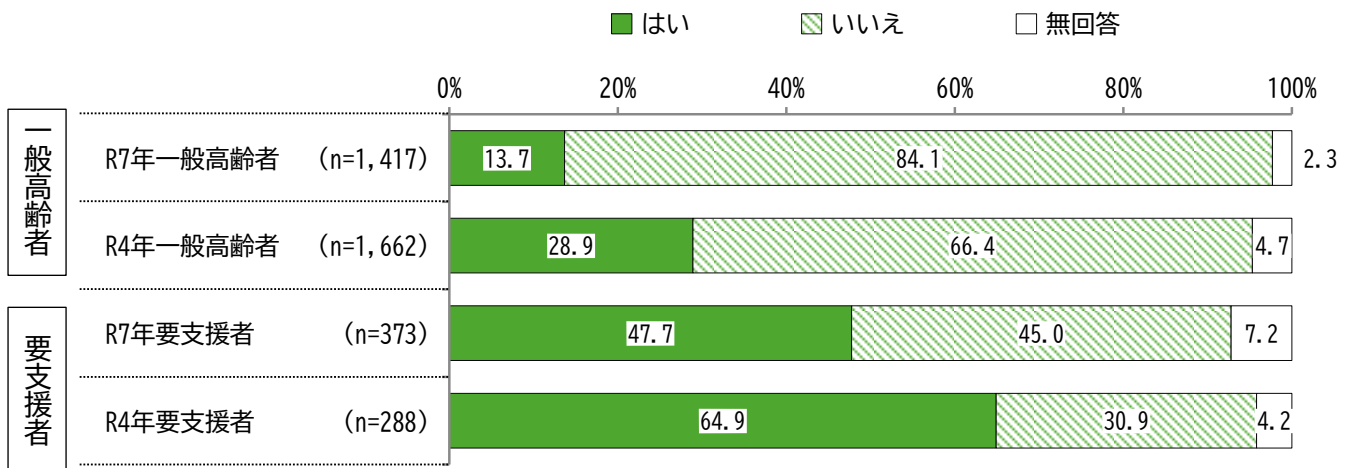
問 17. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



問 18. 外出を控えていますか。

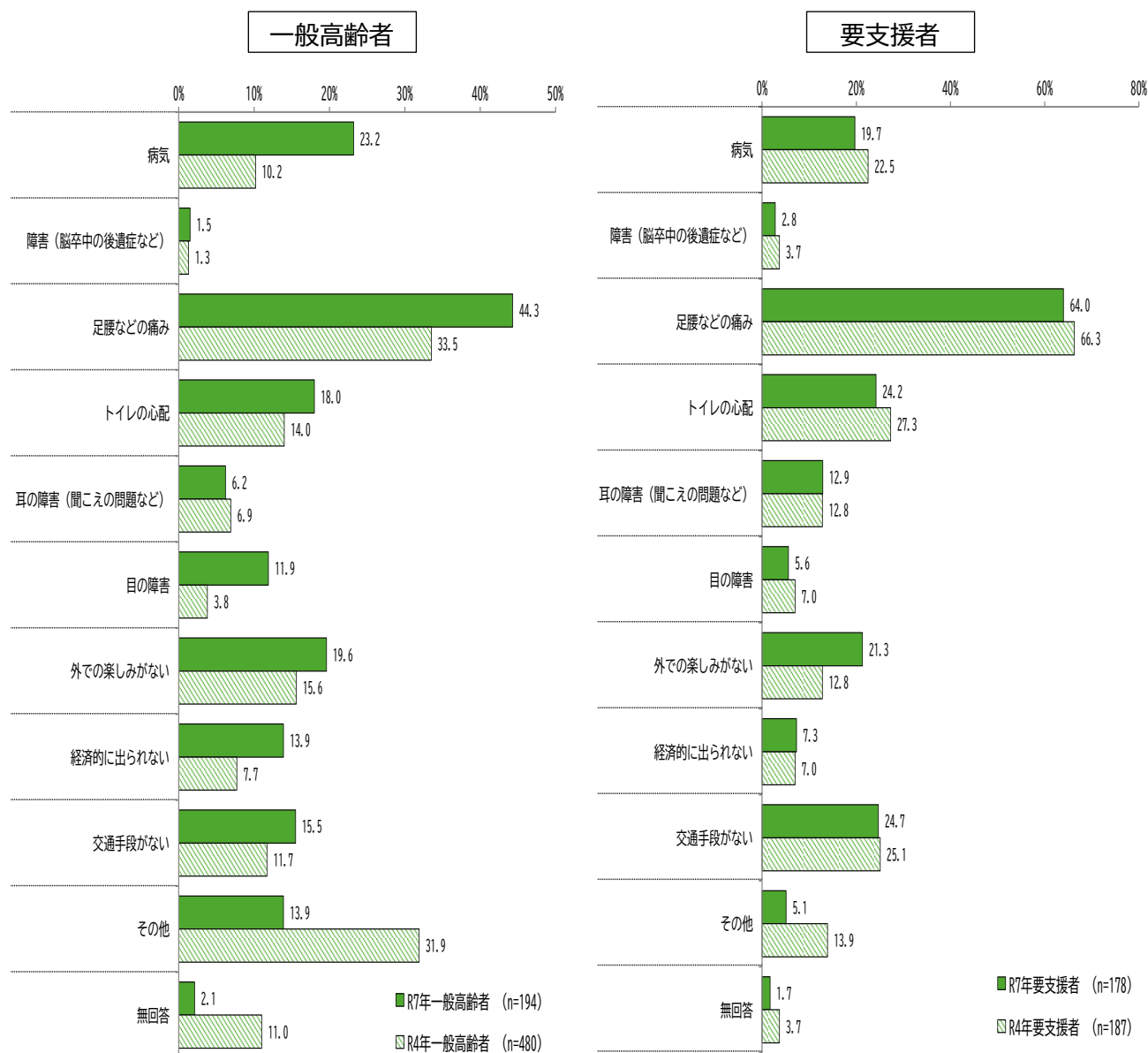
前回調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が 15.2 ポイント、「いいえ」が 17.7 ポイント低くなっています。

要支援者では、「はい」が 17.2 ポイント低く、「いいえ」が 14.1 ポイント高くなっています。



問 18 において「はい」と回答された方にお伺いします
 問 19. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数回答)

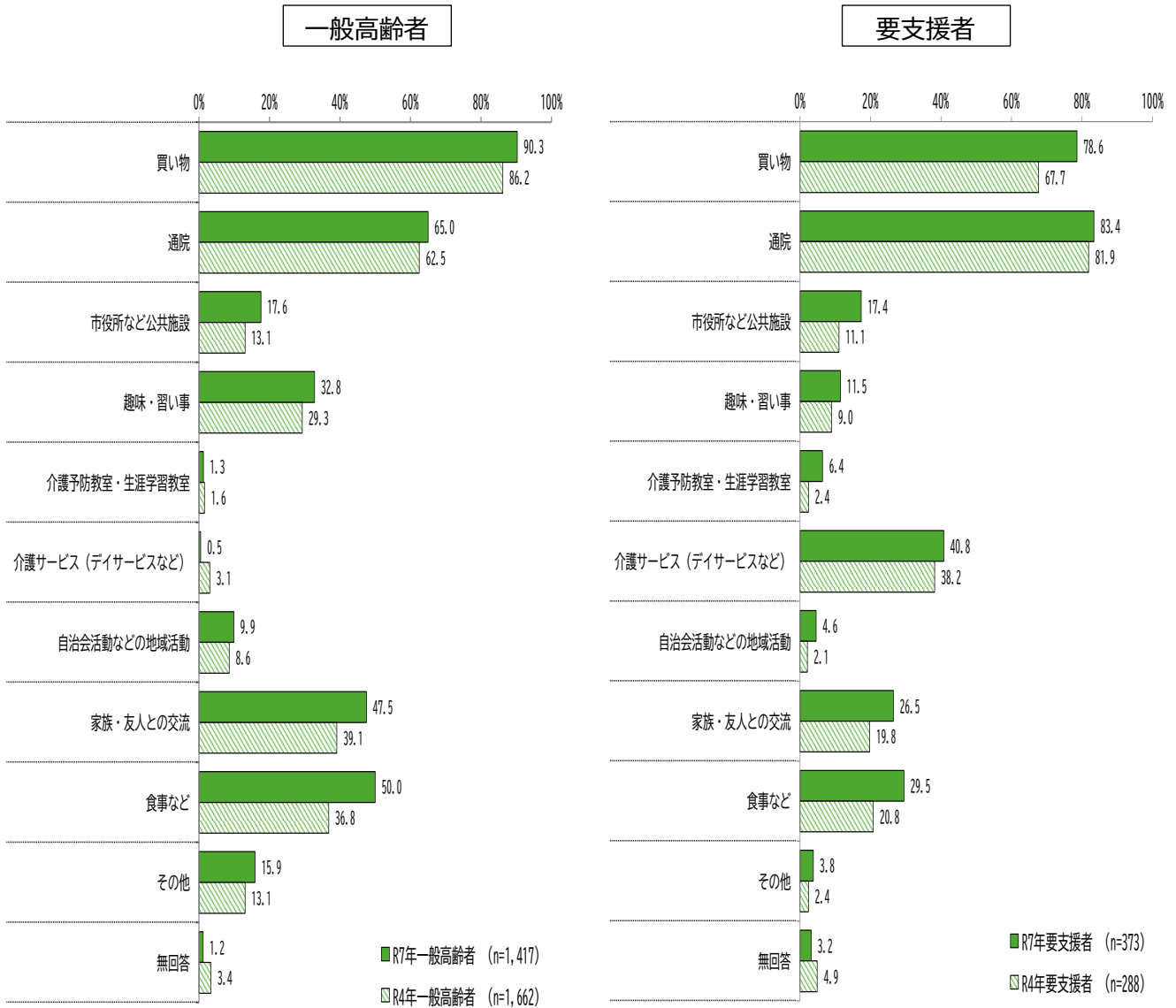
前回調査と比較すると、一般高齢者では、「病気」で 13.0 ポイント、「足腰などの痛み」で 10.8 ポイント高くなっています。



【ここからはすべての方にお伺いします】

問 20. 外出の目的は、次のどれですか。(複数回答)

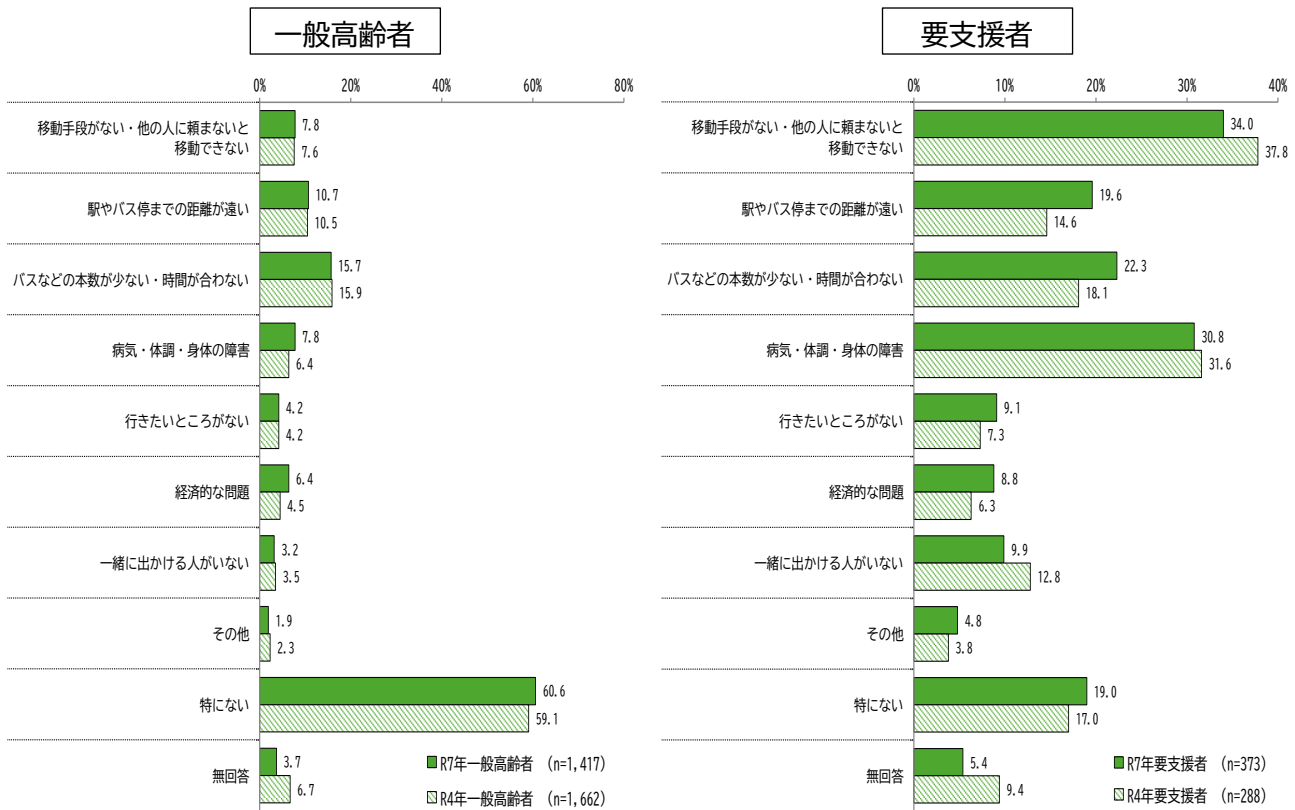
前回調査と比較すると、一般高齢者では、「食事など」が13.2ポイント高くなっています。
 要支援者では、「買い物」が10.9ポイント高くなっています。



問 21. 現在、外出に際して困っていることはありますか。(複数回答)

年齢別にみると、85～89 歳で「バスなどの本数が少ない・時間が合わない」(21.2%)、90 歳以上で「移動手段がない・他の人に頼まないと移動できない」(32.3%)の割合が高くなっています。また、90 歳以上を除くすべての年齢で「特にない」の割合が最も高くなっています。

圏域別にみると、北部地域で「バスなどの本数が少ない・時間が合わない」(27.9%)の割合が高くなっています。



年齢別・圏域別【一般高齢者】

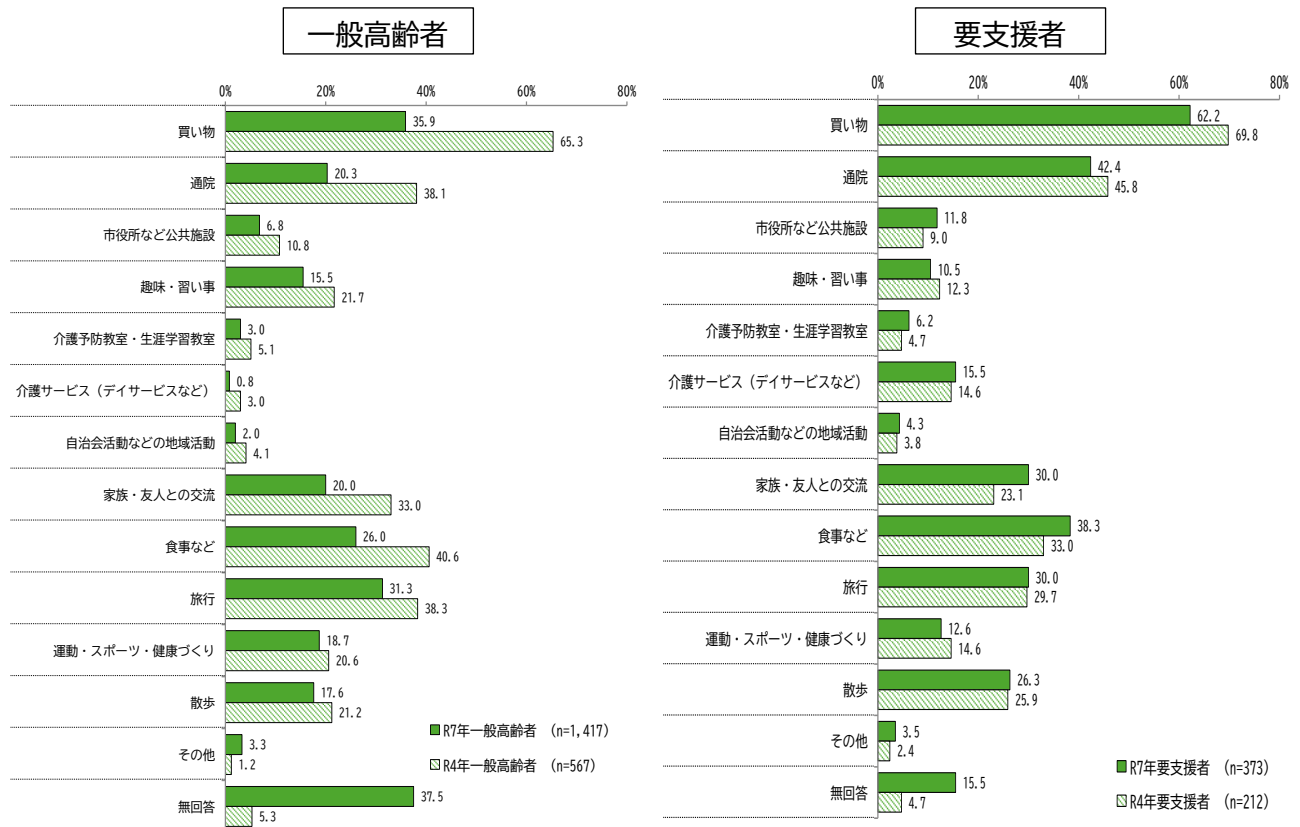
		単位：%														
	年齢別	全体	と移動できない・他の人に頼まないと移動手段がない	距離が遠い	駅やバス停までの	少ない・時間が合わない	バスなどの本数が	の障害	病気・体調・身体	ない	行きたいところが	経済的な問題	が一緒に出かける人	その他	特にない	無回答
年齢別	65～69歳	282	3.2	8.2	11.7	2.8	3.2	5.7	2.1	2.5	72.7	2.1				
	70～74歳	333	1.8	7.5	12.3	6.3	3.0	5.7	1.8	1.5	69.4	2.7				
	75～79歳	409	7.3	12.5	18.1	9.3	5.1	7.8	3.9	2.2	55.3	4.6				
	80～84歳	258	14.0	12.8	18.2	10.5	5.8	7.8	4.7	1.2	53.5	4.3				
	85～89歳	104	18.3	13.5	21.2	11.5	2.9	1.9	3.8	1.0	47.1	5.8				
	90歳以上	31	32.3	16.1	16.1	12.9	6.5	3.2	6.5	6.5	32.3	3.2				
圏域別	北部地域	197	7.1	14.7	27.9	5.6	2.0	4.1	1.5	2.0	51.8	4.6				
	東部地域	153	4.6	15.0	19.6	7.2	3.3	9.2	3.9	2.6	59.5	2.6				
	中央地域東	231	6.5	10.0	14.7	7.4	6.5	6.9	3.0	0.9	59.3	4.8				
	中央地域西	378	8.7	7.7	10.1	7.9	5.3	7.7	3.7	1.9	65.3	3.4				
	南部地域	458	9.0	10.3	14.2	9.0	3.5	5.0	3.5	2.2	61.6	3.3				

問 22. 問 21 でお答えいただいた問題が解決した場合、行きたいと思う場所や活動は何ですか。(複数回答)

前回調査と比較すると、一般高齢者では、「買い物」が29.4ポイント、「通院」が17.8ポイント、「家族・友人との交流」が13.0ポイント低くなっています。

要支援者では、大きな変化はみられません。

家族構成別にみると、1人暮らしで「買い物」(47.7%)、夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)で「市役所など公共施設」(12.7%)、「趣味・習い事」(27.3%)の割合が高くなっています。



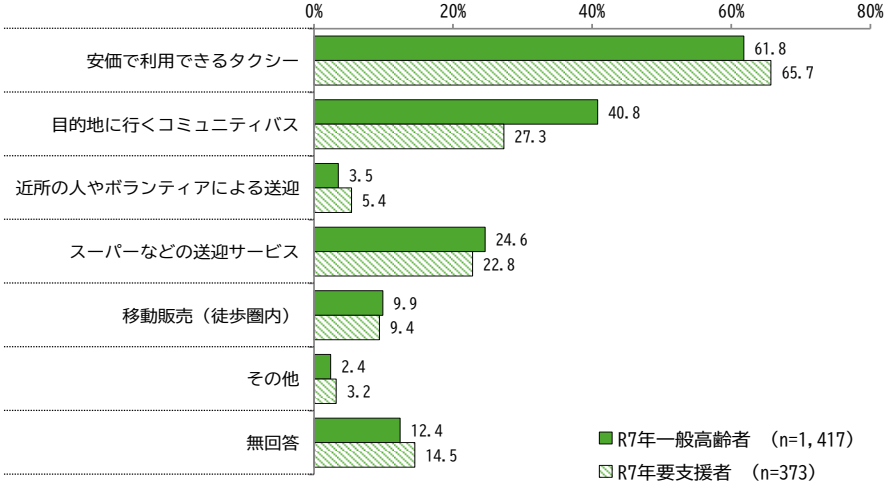
家族構成別【一般高齢者】

単位：%

		全体	買い物	通院	市役所など公共施設	趣味・習い事	介護予防教室・生涯学習教室	(介護サービスなど)	自治会活動などの地域活動	家族・友人との交流	食事など	旅行	運動・スポーツ・健康づくり	散歩	その他	無回答
家族構成別	1人暮らし	220	47.7	27.7	8.6	16.4	5.0	2.7	2.3	24.1	32.7	31.8	21.4	16.8	3.2	28.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	662	32.2	18.0	5.7	16.2	3.3	0.3	1.7	17.4	24.3	31.6	18.9	17.7	2.7	40.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	55	34.5	27.3	12.7	27.3	3.6	0.0	0.0	27.3	30.9	30.9	21.8	25.5	10.9	34.5
	息子・娘との2世帯	229	37.1	22.3	7.4	14.8	2.2	0.9	3.1	21.4	27.1	34.5	19.2	17.9	3.1	36.2
	その他	211	33.2	15.2	5.7	10.0	1.4	0.5	2.4	19.9	22.7	26.5	13.3	14.2	3.8	39.3

問 23. 外出に困ったとき、どんな支援やサービスがあるといいと思いますか。
 (〇は2つまで)

圏域別にみると、すべての圏域で「安価で利用できるタクシー」の割合が最も高くなっています。



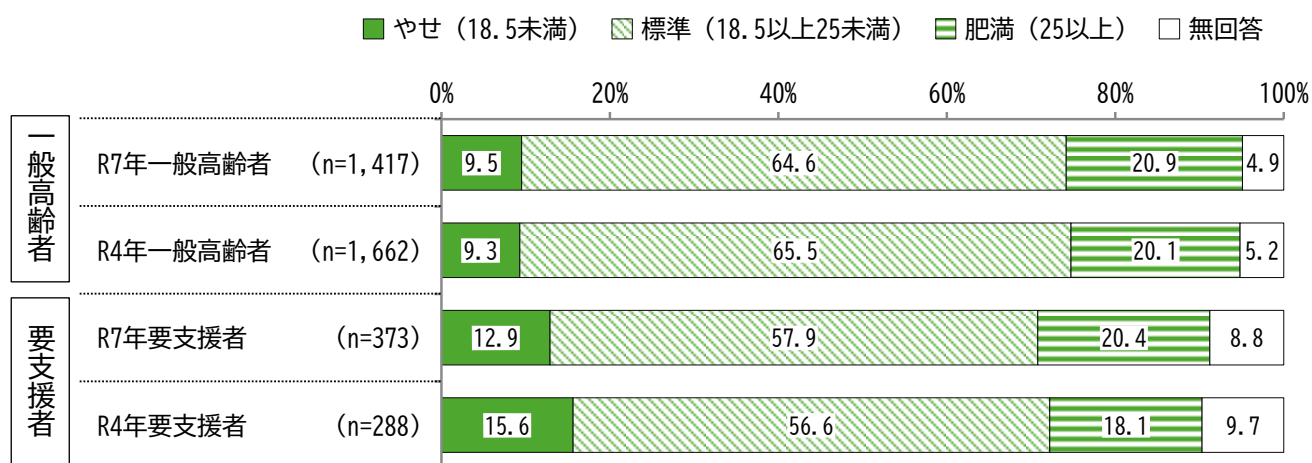
圏域別【一般高齢者】

単位：%

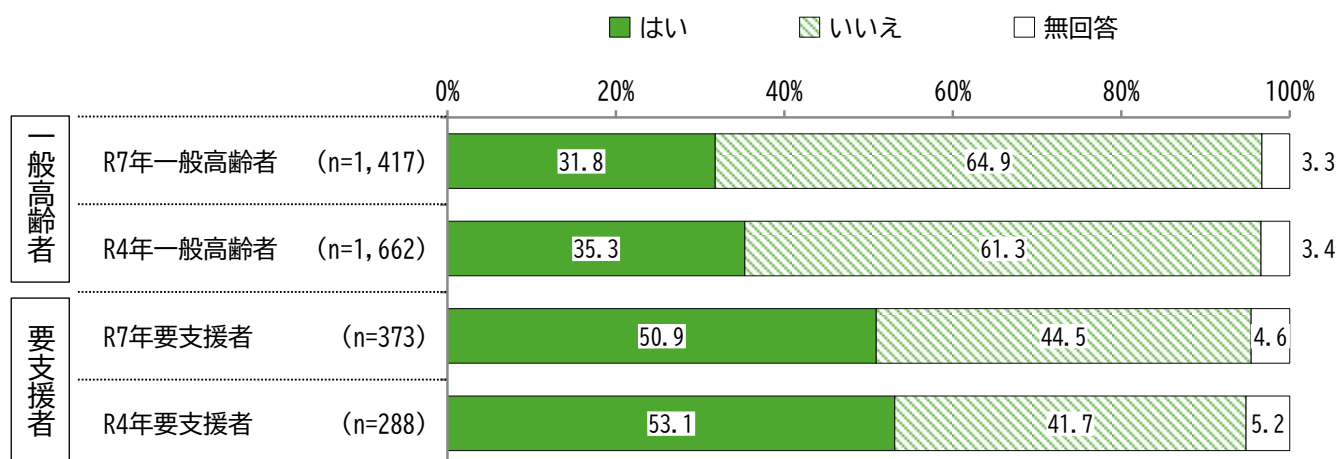
圏域別	全体	安価で利用できる	目的地に行くバス	近所の人やボランティアによる送迎	スーパーなどの送迎サービス	移動販売 (徒歩圏内)	その他	無回答
		タクシー	コミュニティバス	送迎	サービス	内)		
北部地域	197	62.9	45.7	1.0	23.4	10.2	3.0	13.2
東部地域	153	57.5	45.1	1.3	24.8	11.1	2.0	11.1
中央地域東	231	61.5	35.9	3.9	23.8	8.7	1.7	14.7
中央地域西	378	63.0	39.7	3.4	21.7	9.3	2.9	13.0
南部地域	458	61.8	40.6	5.0	27.7	10.5	2.2	10.7

4 食べることについて

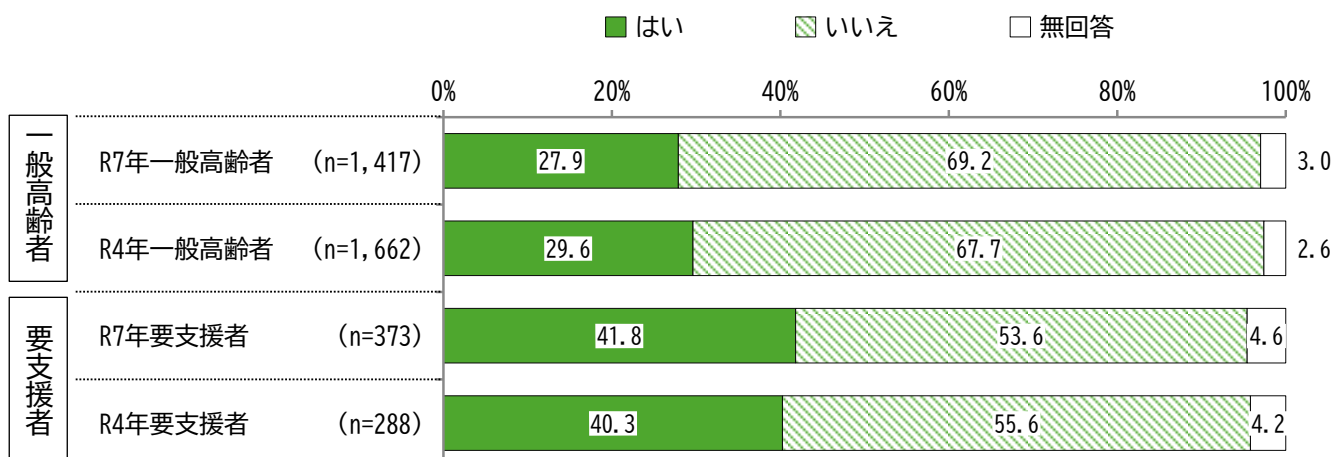
問 24. 身長・体重を教えてください。(小数点以下は切り捨てて、整数でご記入ください)



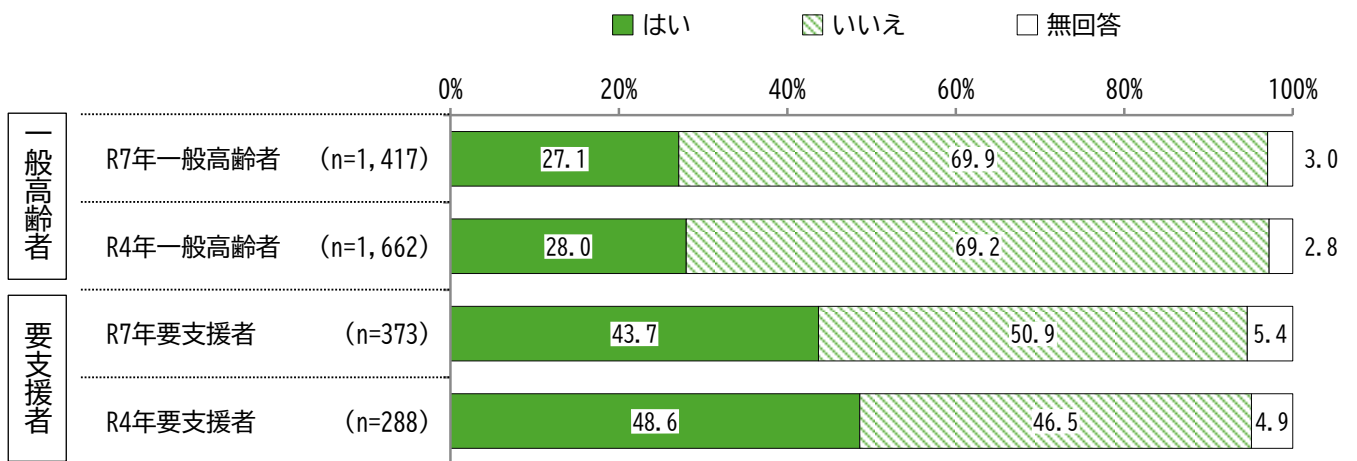
問 25. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



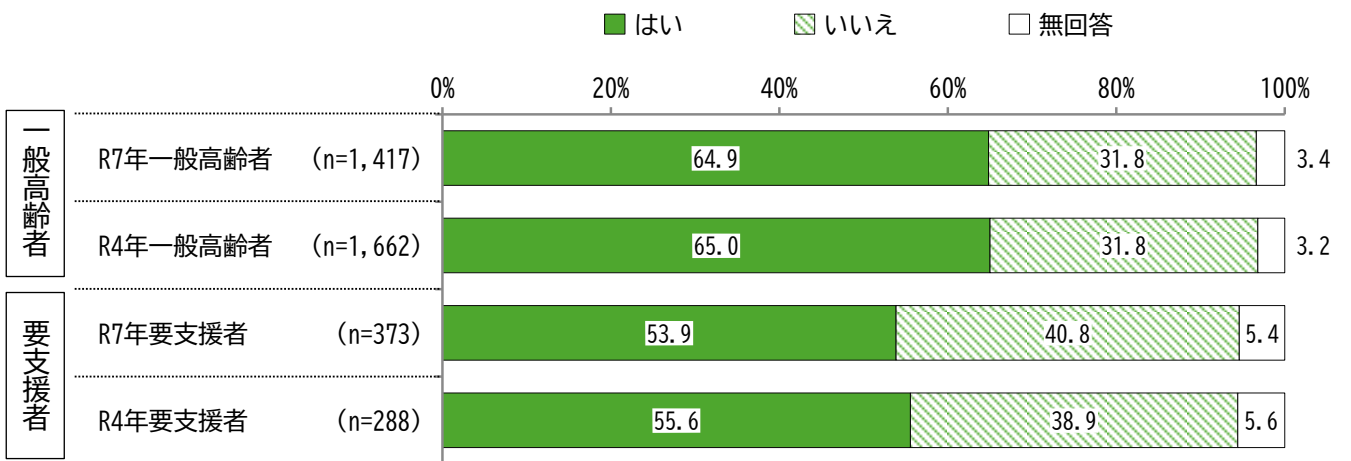
問 26. お茶や汁物などでむせることがありますか。



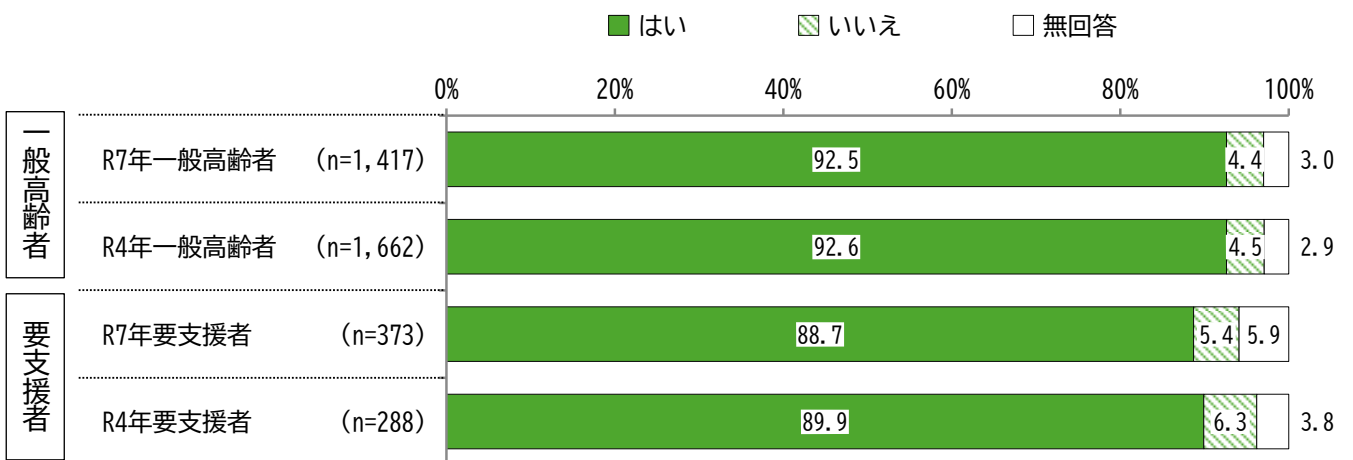
問 27. 口の渇きが気になりますか。



問 28. 噛み合わせは良いですか。



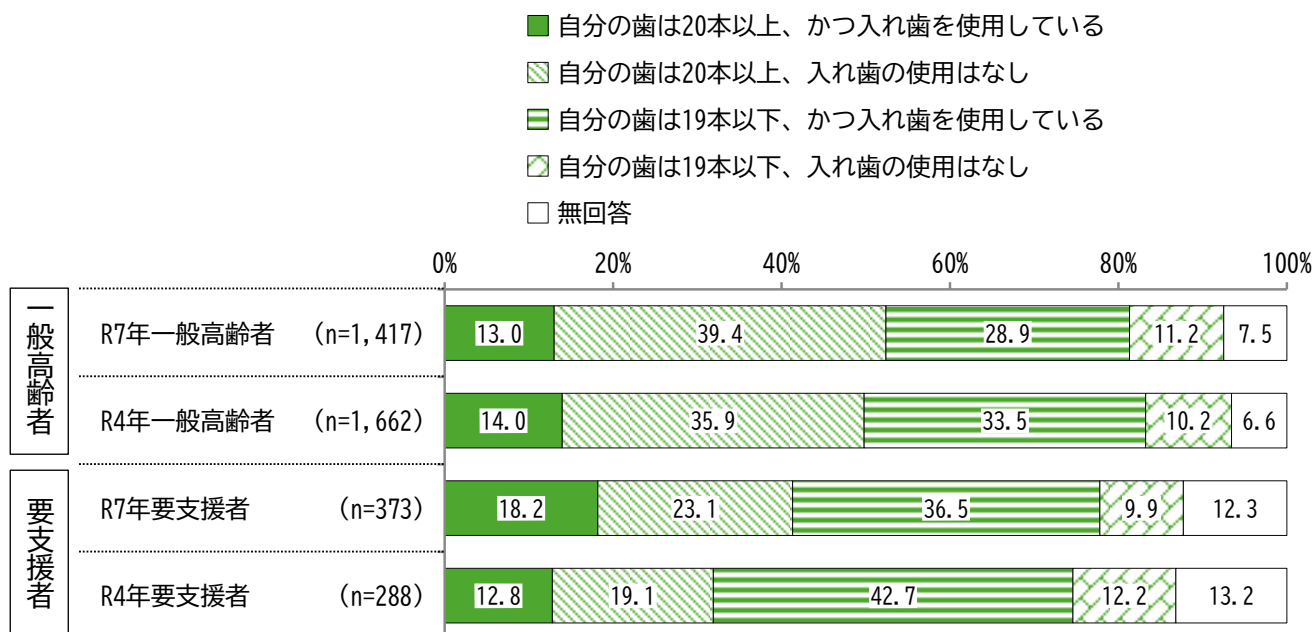
問 29. 歯磨きを毎日していますか (人にやってもらう場合も含む)。



問 30. 歯の数と入れ歯の使用状況をお教えてください。

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。

年齢別にみると、65～69 歳で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の使用はなし」(55.0%)の割合が高くなっています。また、85～89 歳、90 歳以上で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」(40.4%、41.9%)の割合が高くなっています。

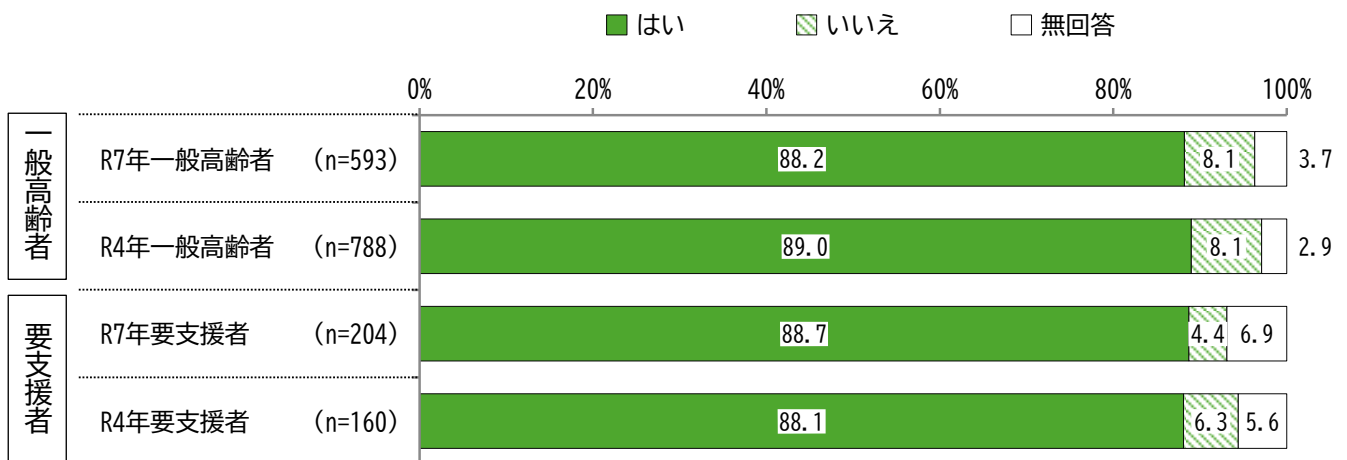


年齢別【一般高齢者】

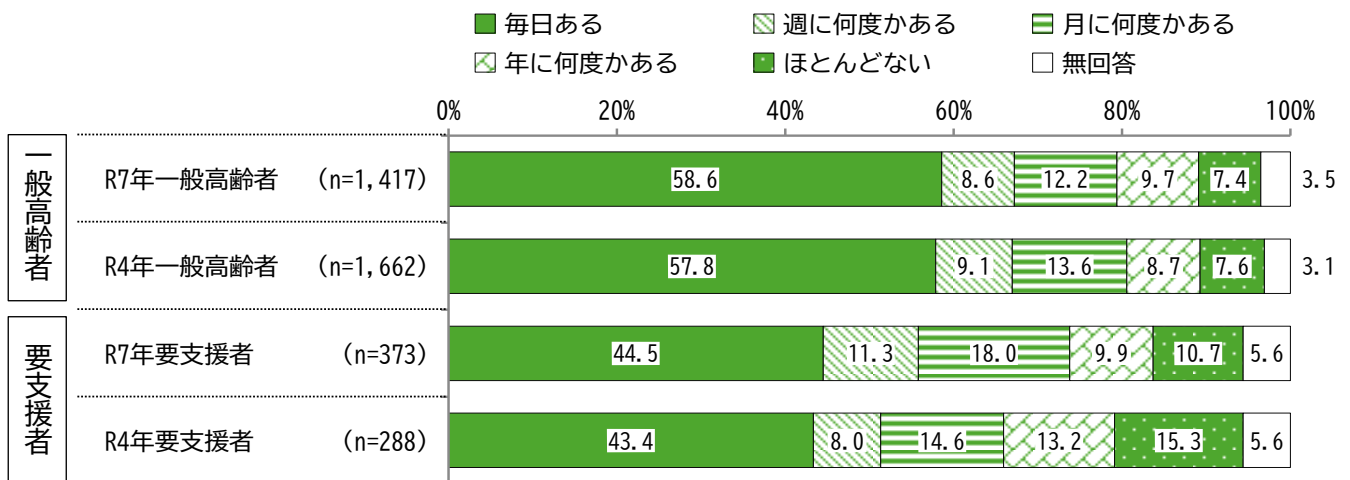
単位：%

年齢別	全体	自分の歯の数				無回答
		20以上	19以下	かつ入れ歯を使用している	かつ入れ歯を使用していない	
65～69歳	282	12.4	55.0	14.9	13.5	4.3
70～74歳	333	15.0	43.5	21.9	13.5	6.0
75～79歳	409	10.3	36.7	33.7	11.2	8.1
80～84歳	258	13.6	29.8	39.1	7.4	10.1
85～89歳	104	15.4	25.0	40.4	8.7	10.6
90歳以上	31	19.4	19.4	41.9	6.5	12.9

【問 30 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を使用している」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」と回答された（入れ歯を使用している）方にお伺いします】
 問 31. 毎日「入れ歯」の手入れをしていますか。



【ここからはすべての方にお伺いします】
 問 32. どなたかと食事をとる機会がありますか。

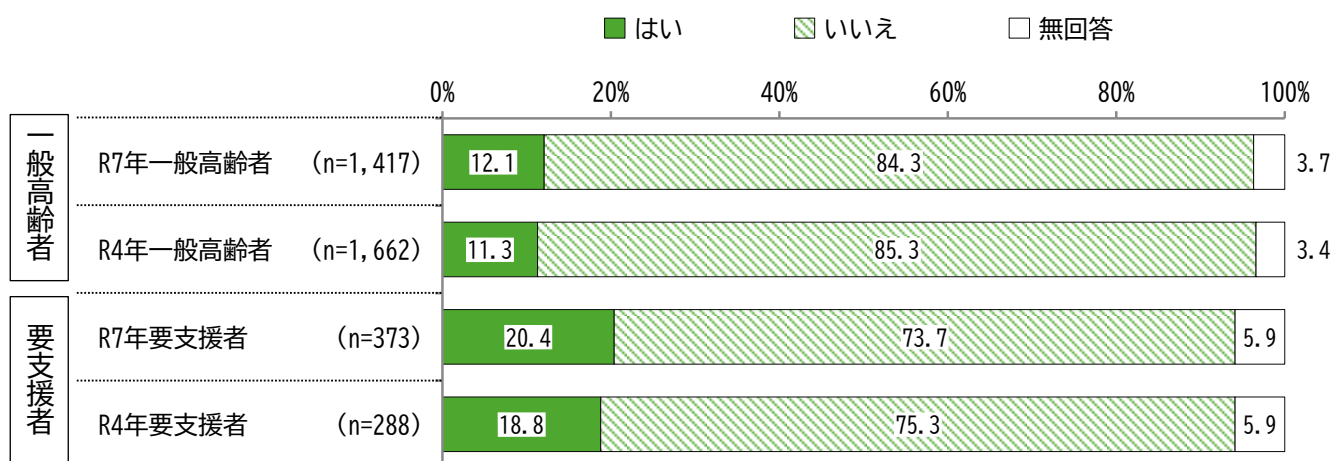


家族構成別【一般高齢者】

単位：%

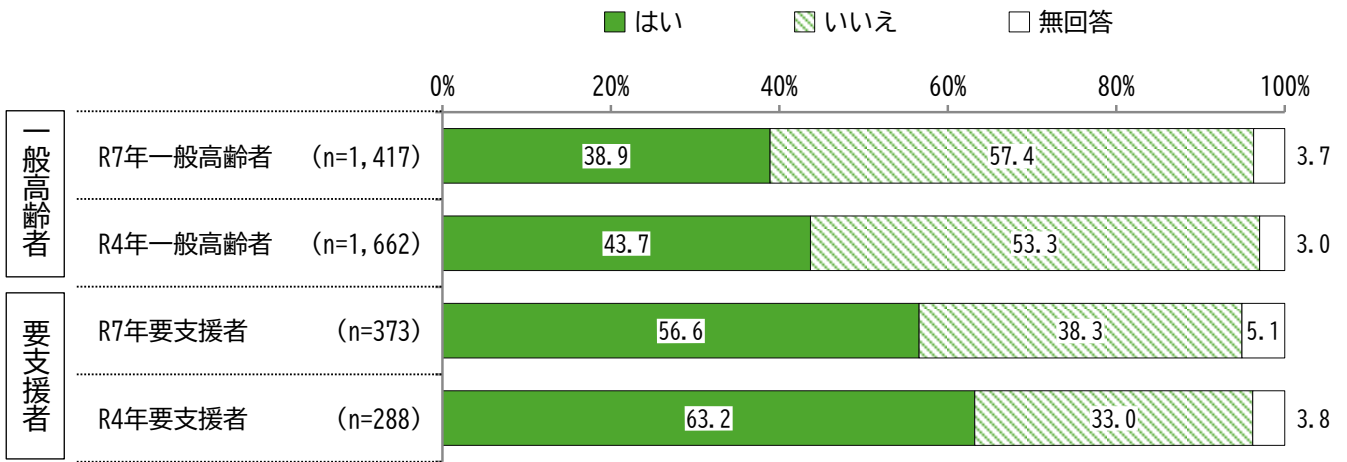
		全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
家族構成別	1人暮らし	220	3.2	18.6	33.6	23.2	17.7	3.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	662	68.1	6.0	8.9	7.7	5.6	3.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	69.1	12.7	5.5	3.6	5.5	3.6
	息子・娘との2世帯	229	71.2	6.1	7.9	7.4	3.9	3.5
	その他	211	71.6	7.1	7.1	6.2	6.6	1.4

問 33. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

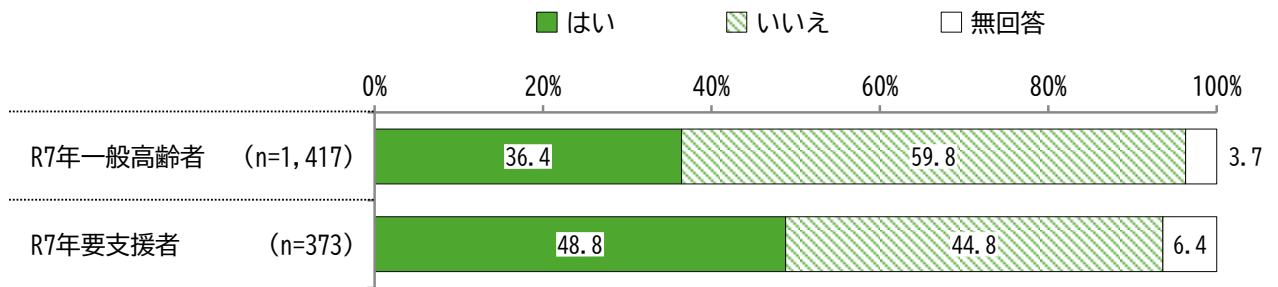


5 毎日の生活について

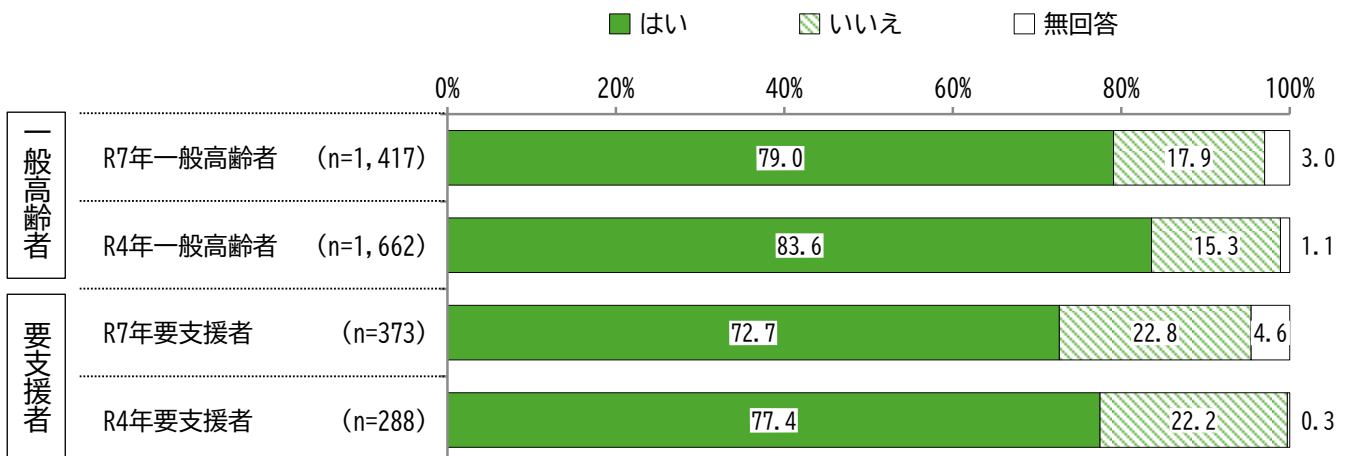
問 34. 物忘れが多いと感じますか。



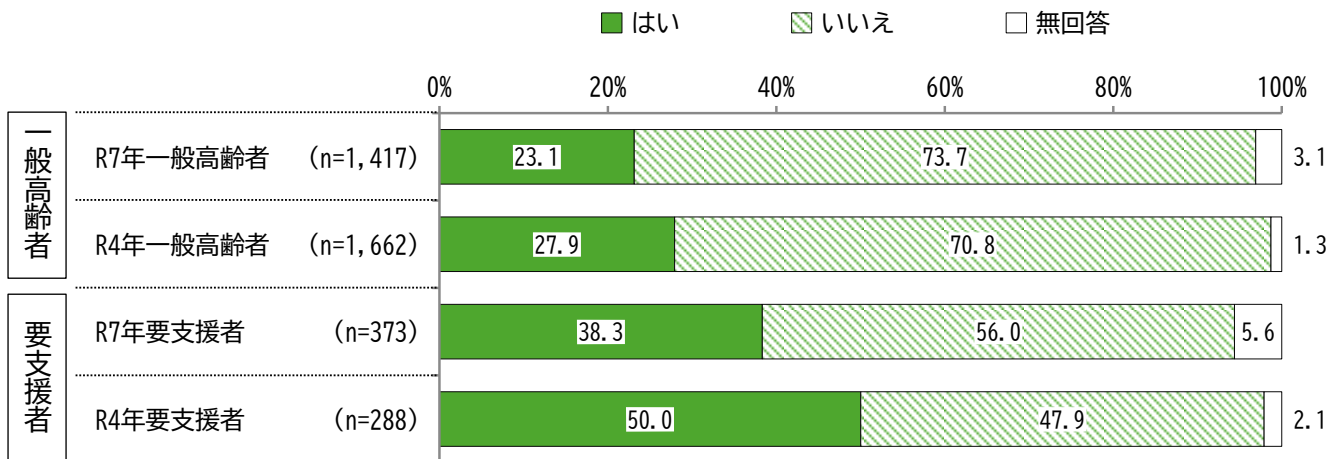
問 35. ほかにの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。



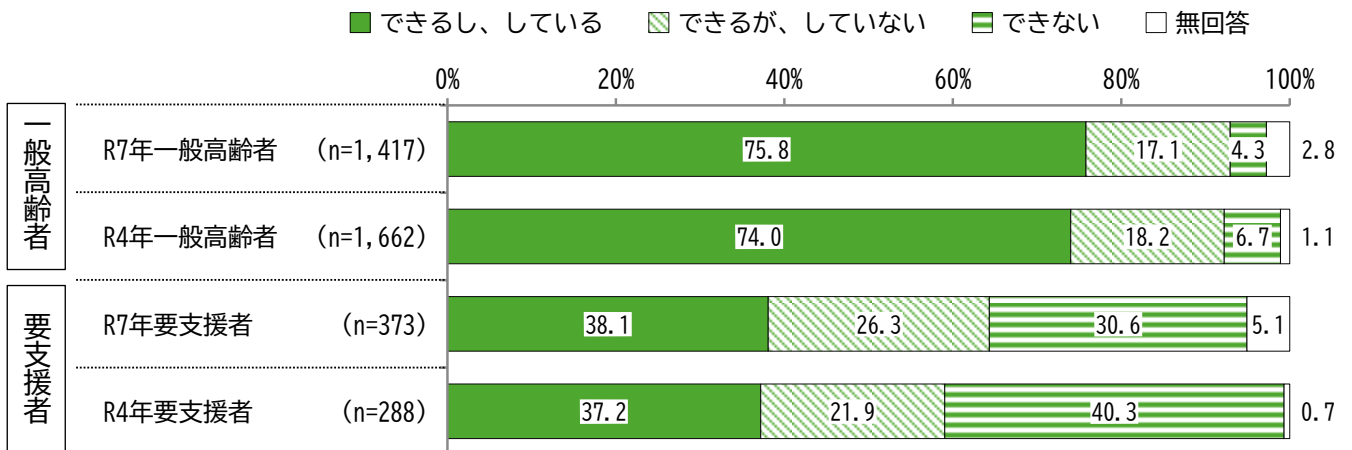
問 36. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。



問 37. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

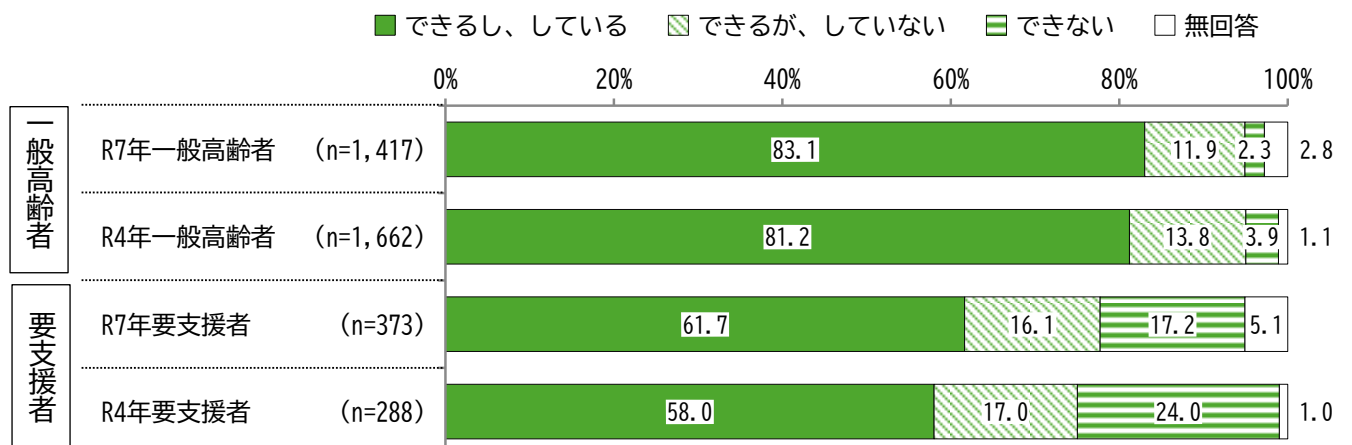


問 38. バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)



問 39. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

一般高齢者において、性別でみると、男性は女性と比べて「できるし、している」の割合が低く、「できるが、していない」の割合が高くなっています。



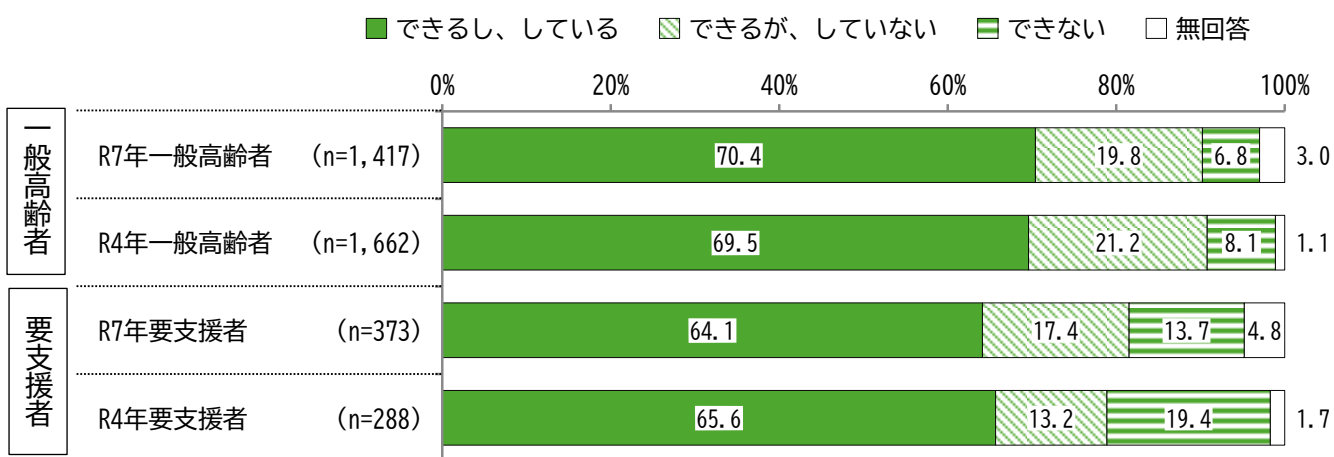
性別【一般高齢者】

単位：％

		全体	しているし、 できる	しているが、 できない	できない	無回答
性別	男性	648	73.0	20.8	2.6	3.5
	女性	769	91.5	4.3	2.0	2.2

問 40. 自分で食事の用意をしていますか。

一般高齢者において、性別で見ると、男性は女性と比べて「できるし、している」の割合が低く、「できるが、していない」「できない」の割合が高くなっています。



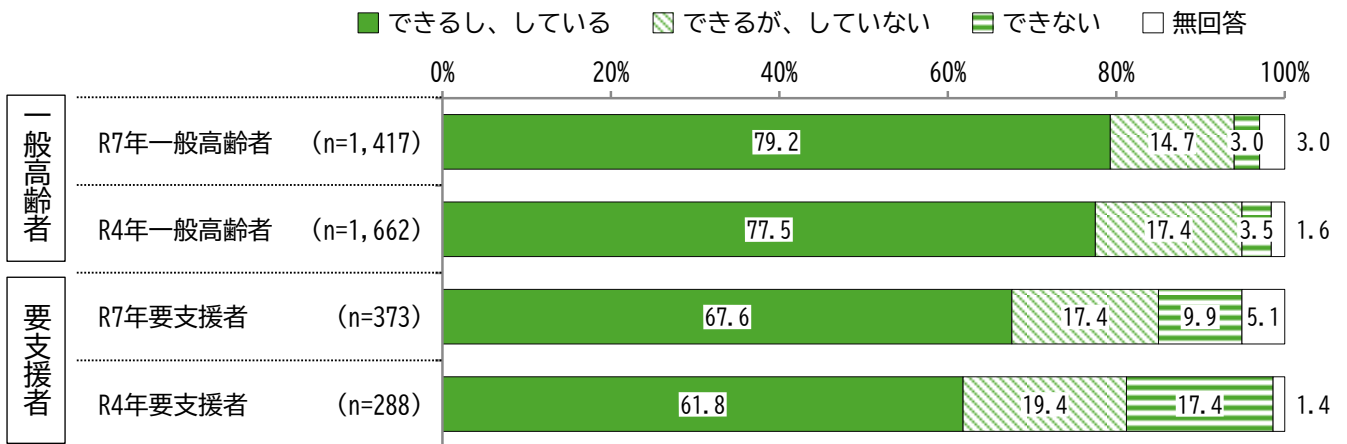
性別【一般高齢者】

単位：％

		全体	しているし、 できる	しているが、 できない	できない	無回答
性別	男性	648	44.1	39.4	13.0	3.5
	女性	769	92.6	3.4	1.6	2.5

問 41. 自分で請求書の支払いをしていますか。

一般高齢者において、性別でみると、男性は女性と比べて「できるし、している」の割合が低く、「できるが、していない」「できない」の割合が高くなっています。

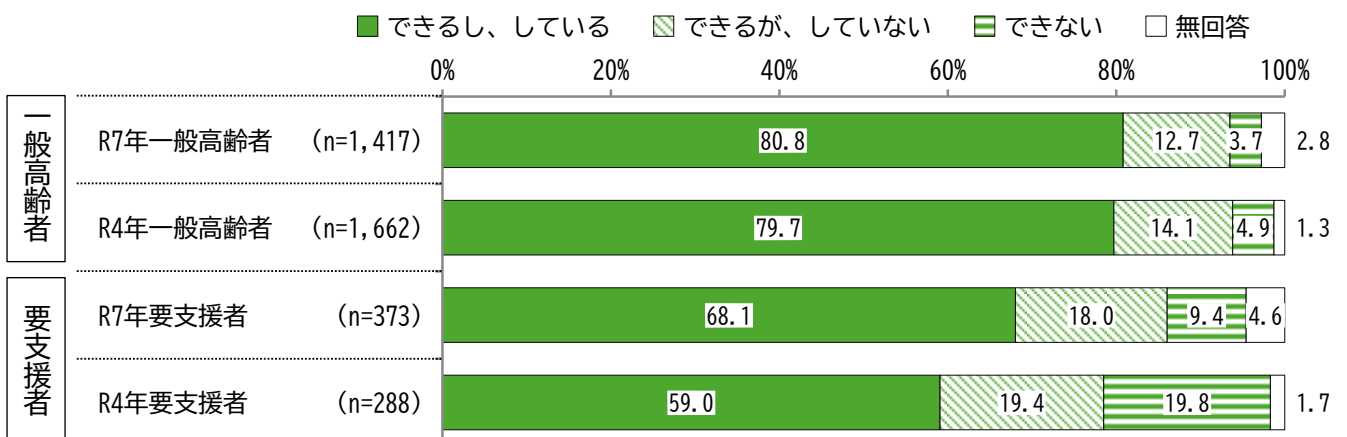


性別【一般高齢者】

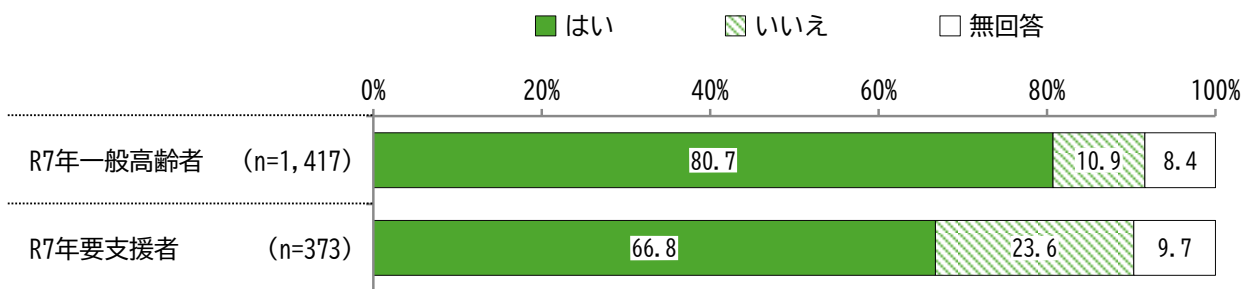
単位：%

		全体	できるし、している	できるが、していない	できない	無回答
性別	男性	648	66.2	26.4	3.9	3.5
	女性	769	90.1	4.9	2.3	2.6

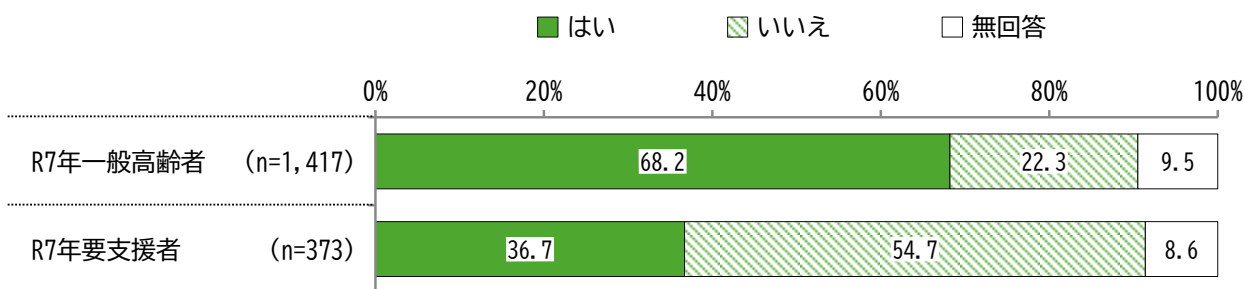
問 42. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。



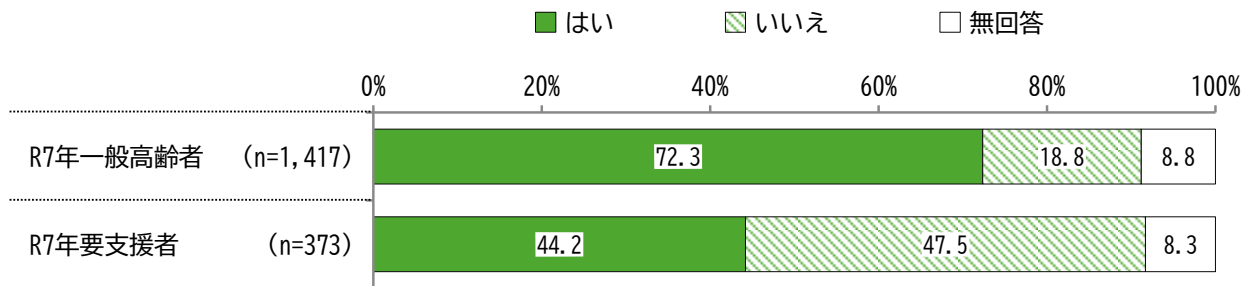
問 43. ATM を使うことができますか。



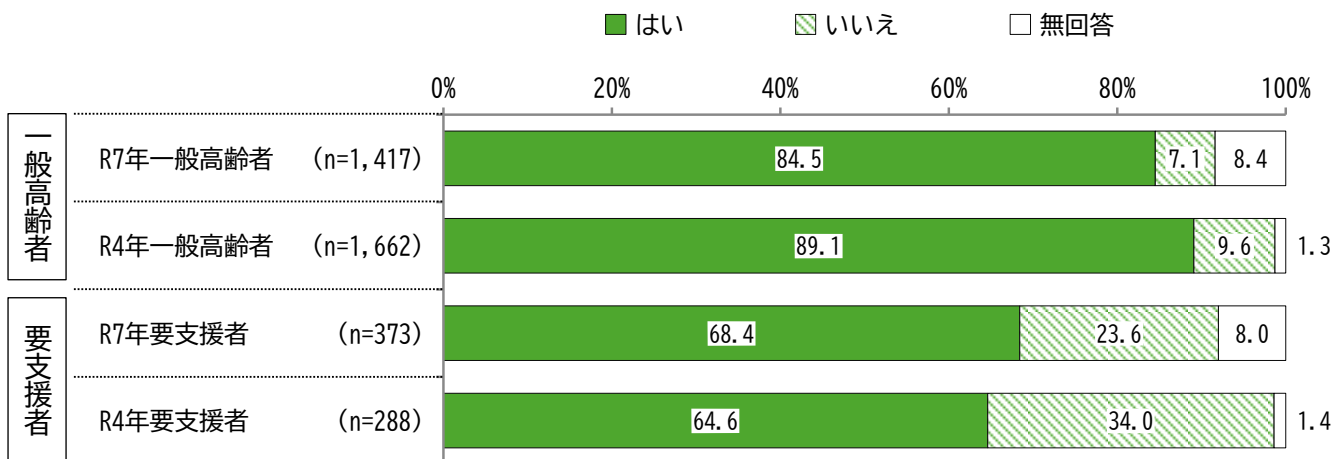
問 44. ビデオや DVD プレーヤーの操作ができますか。



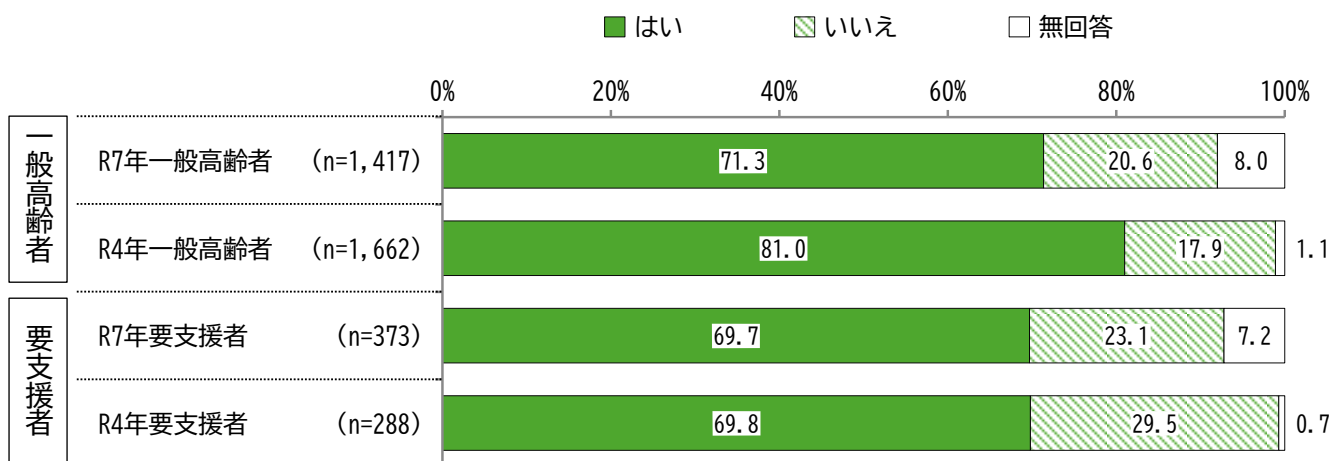
問 45. 携帯電話やパソコンのメールができますか。



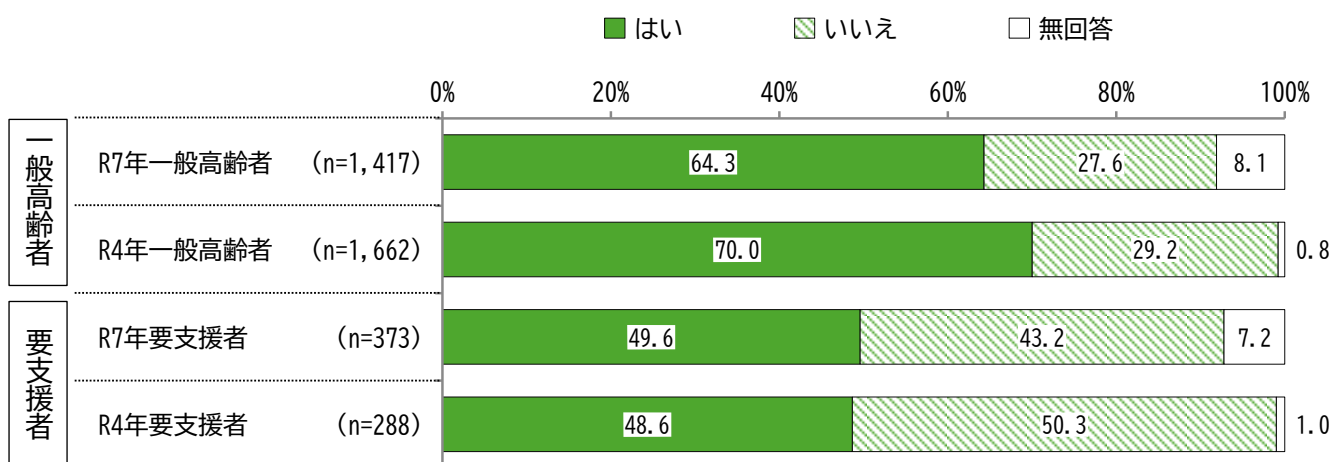
問 46. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。



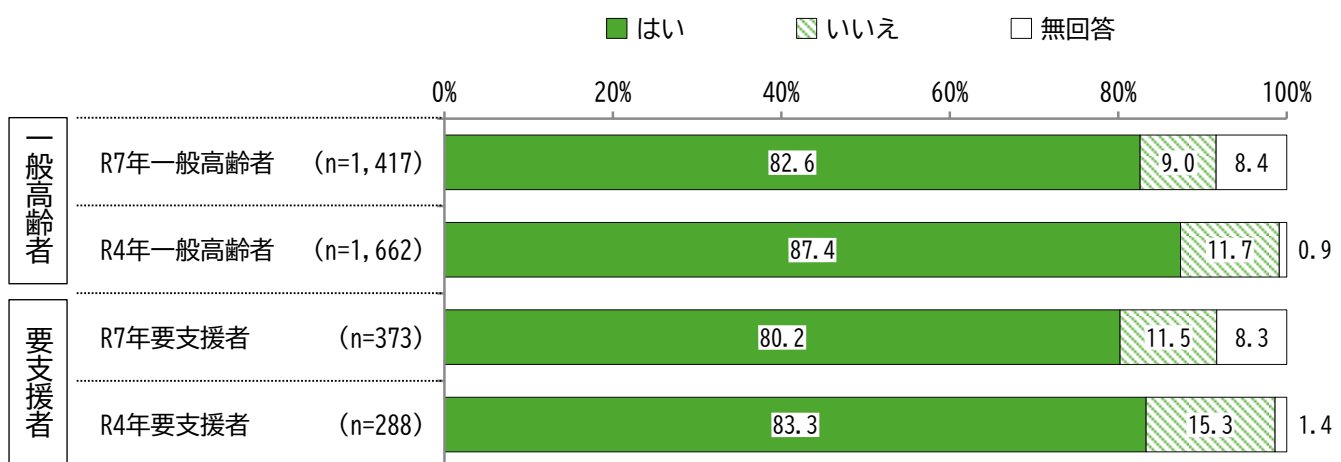
問 47. 新聞を読んでいますか。



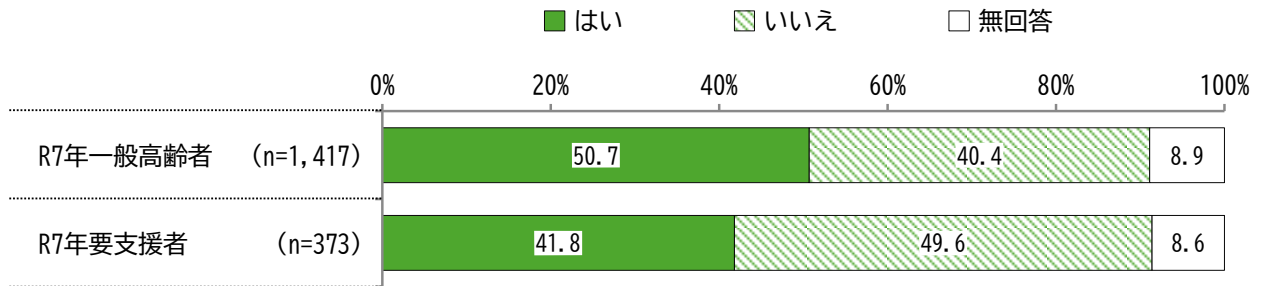
問 48. 本や雑誌を読んでいますか。



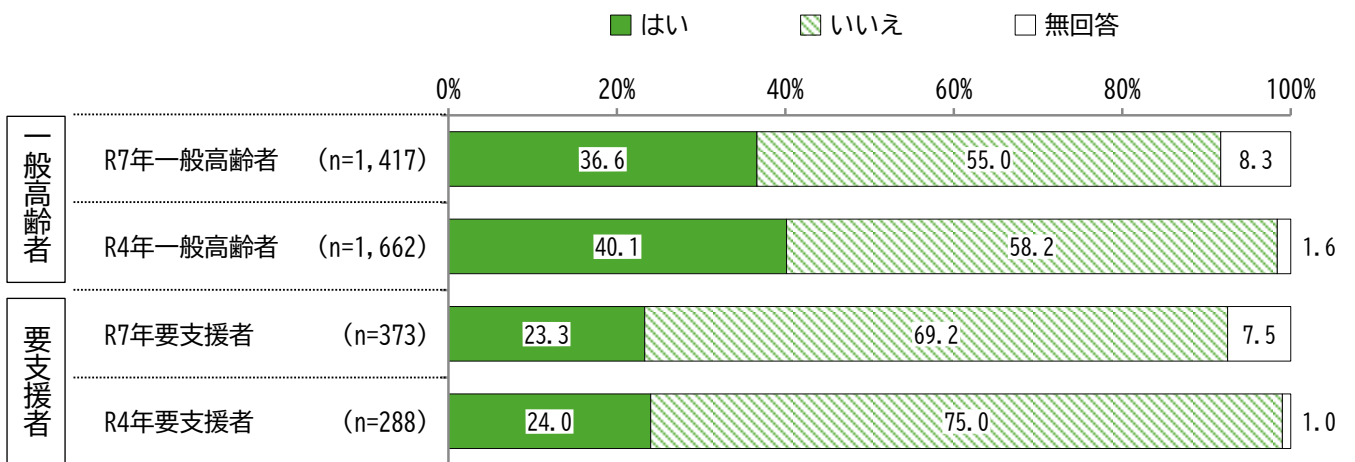
問 49. 健康についての記事や番組に関心がありますか。



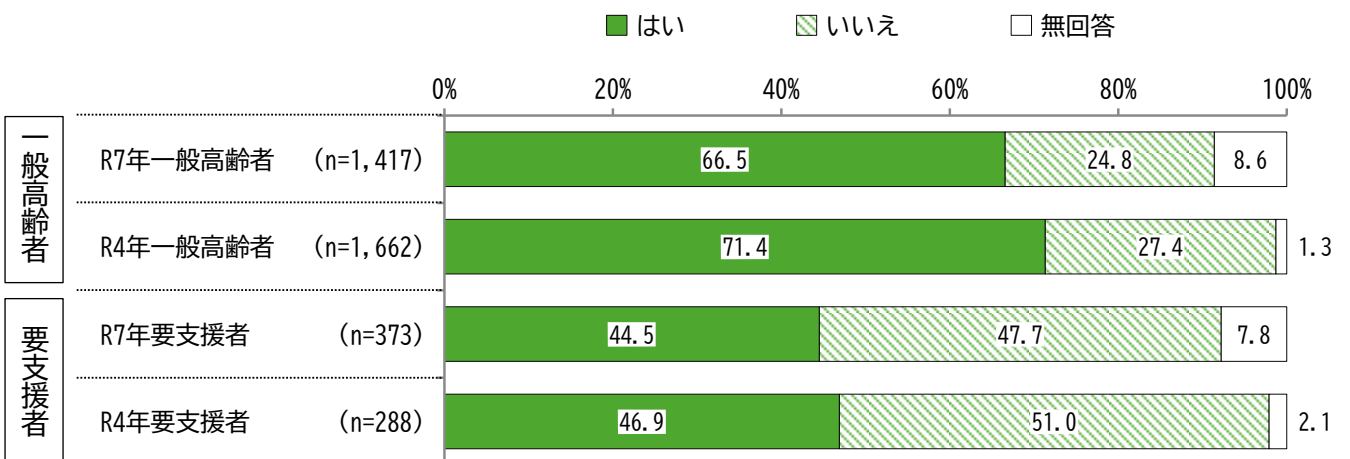
問 50. 教育・教養番組を視聴していますか。



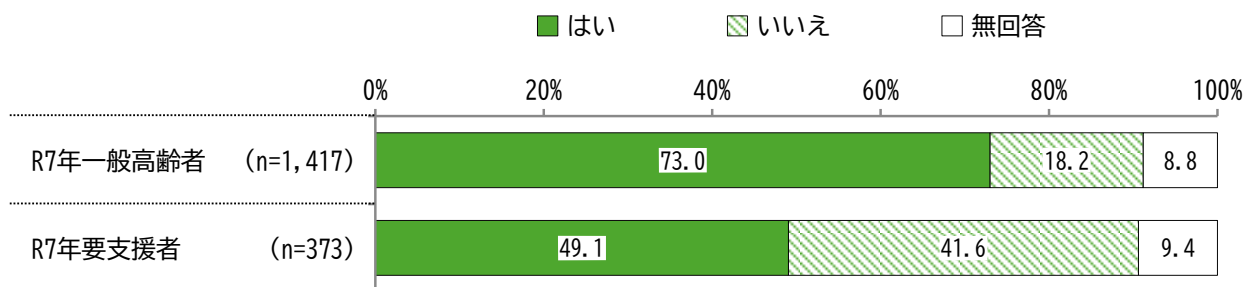
問 51. 友人の家を訪ねていますか。



問 52. 家族や友人の相談にのっていますか。

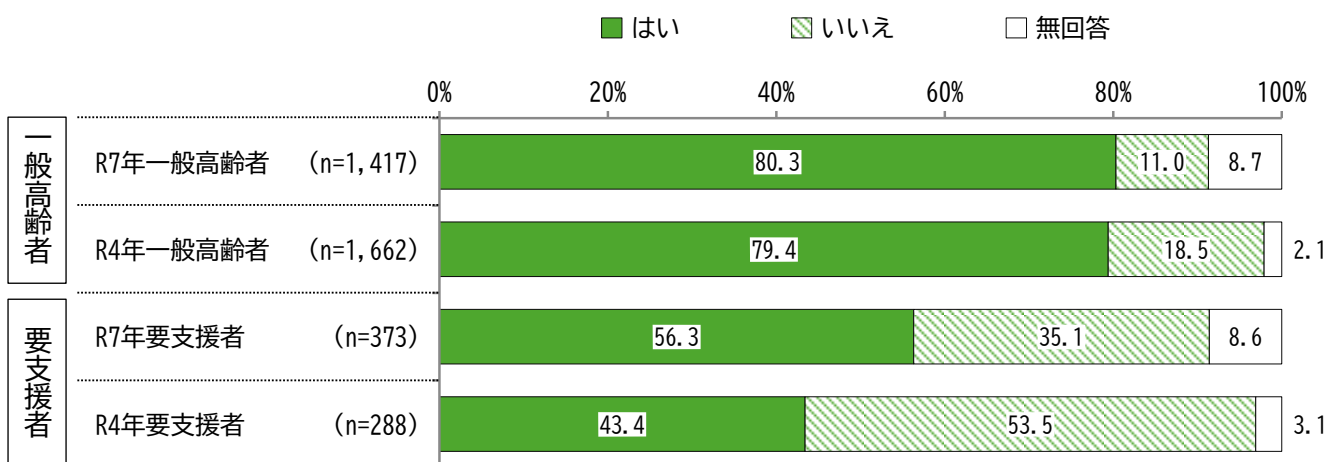


問 53. 家族や友人の役に立っていると思いますか。

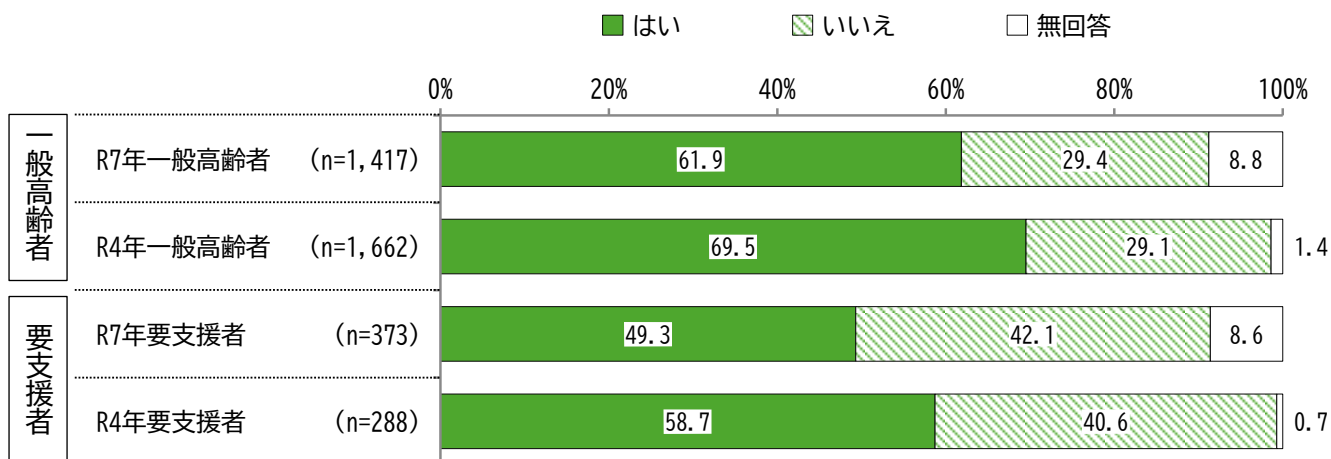


問 54. 病人を見舞うことができますか。

前回調査と比較すると、要支援者では、「はい」が 12.9 ポイント高く、「いいえ」が 18.4 ポイント低くなっています。

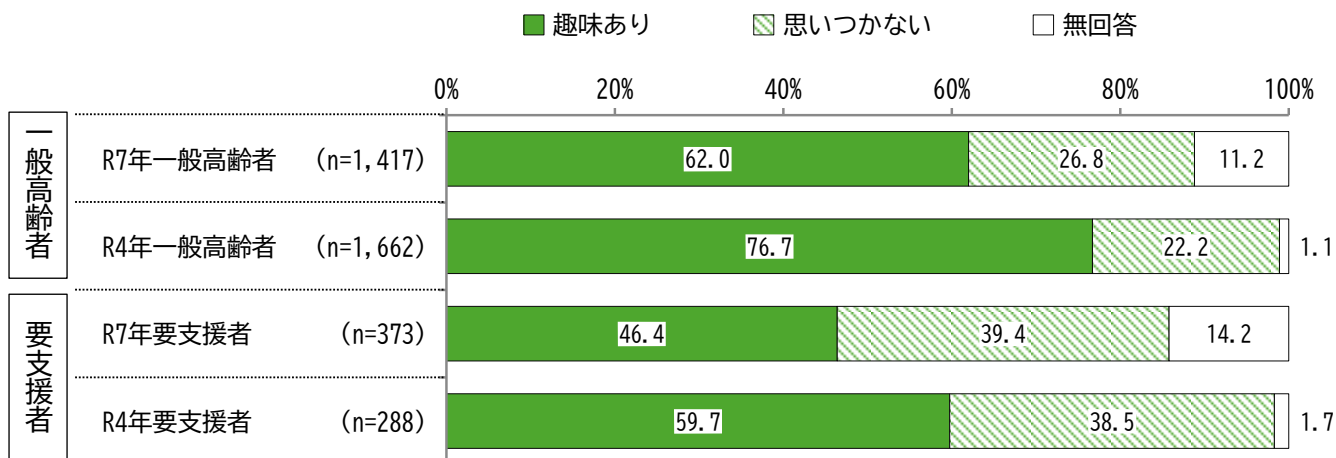


問 55. 若い人に自分から話しかけることがありますか。



問 56. 趣味はありますか。

一般高齢者において、年齢別にみると、高齢になるにつれて「趣味あり」の割合が低くなっています。



年齢別【一般高齢者】

単位：%

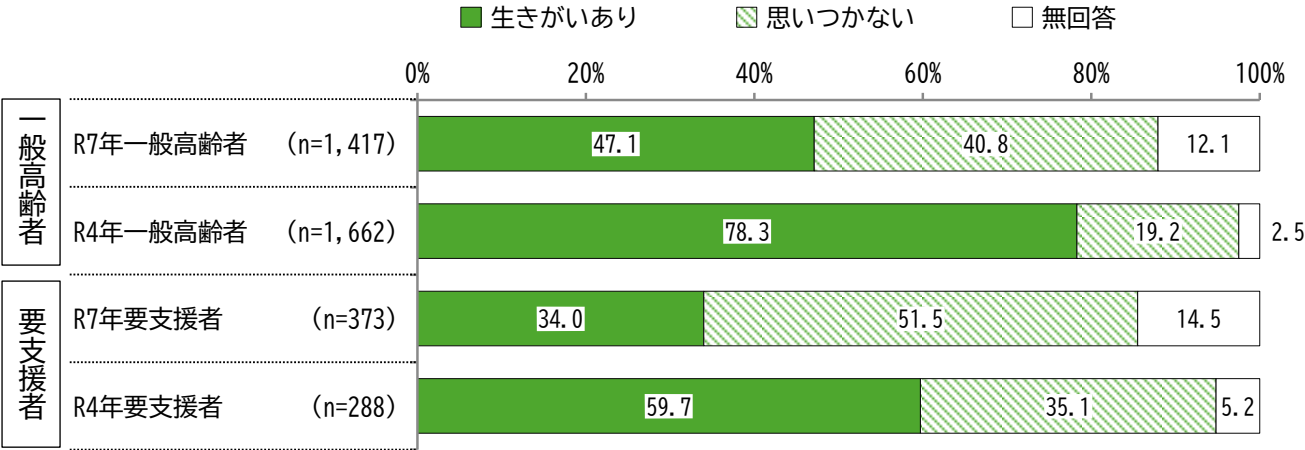
		全体	趣味あり	思いつかない	無回答
年齢別	65～69歳	282	66.0	26.6	7.4
	70～74歳	333	66.7	24.3	9.0
	75～79歳	409	58.7	29.3	12.0
	80～84歳	258	65.1	21.7	13.2
	85～89歳	104	47.1	33.7	19.2
	90歳以上	31	41.9	41.9	16.1

問 57. 生きがいがありますか。

前回調査と比較すると、一般高齢者では、「生きがいあり」が 31.2 ポイント低くなっています。

要支援者では、「生きがいあり」が 25.7 ポイント低くなっています。

一般高齢者において、年齢別にみると、65～69 歳、70～74 歳で「生きがいあり」(55.3%、50.2%)の割合が高くなっています。



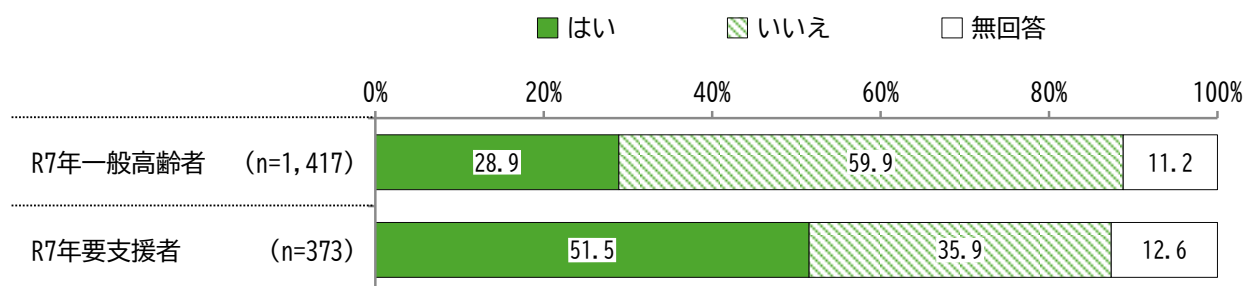
年齢別【一般高齢者】

単位：%

		全体	生きがいあり	思いつかない	無回答
年齢別	65～69歳	282	55.3	37.6	7.1
	70～74歳	333	50.2	38.4	11.4
	75～79歳	409	43.5	42.8	13.7
	80～84歳	258	45.3	41.9	12.8
	85～89歳	104	34.6	45.2	20.2
	90歳以上	31	41.9	45.2	12.9

問 58. これまでやってきたことや興味があったことの多くを、最近やめてしまいましたか。

年齢別でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高い傾向がみられます。



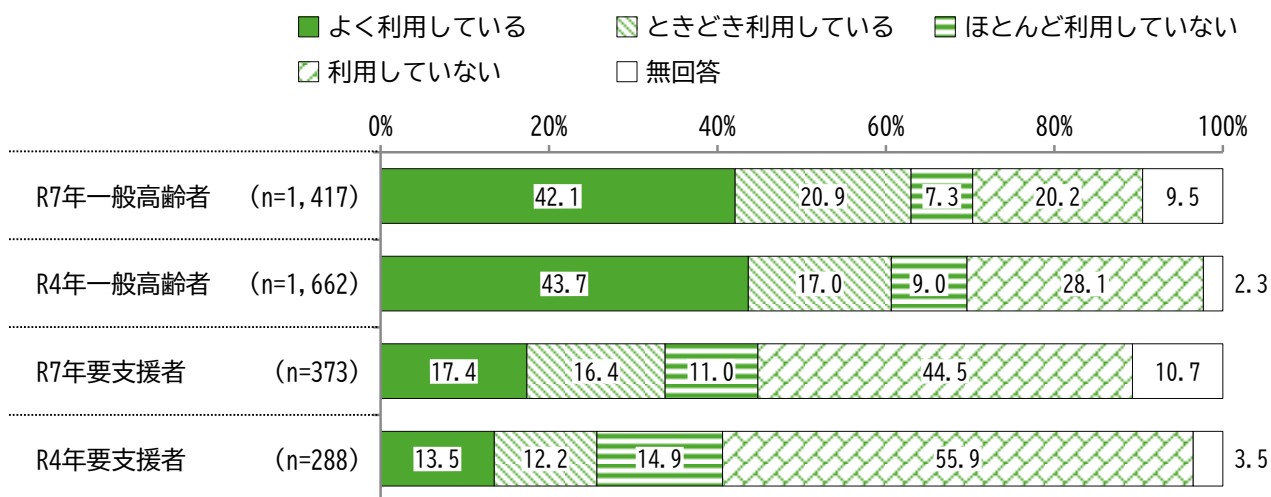
年齢別【一般高齢者】

単位：%

		全体	はい	いいえ	無回答
年齢別	65～69歳	282	19.5	73.0	7.4
	70～74歳	333	22.8	68.5	8.7
	75～79歳	409	26.9	59.4	13.7
	80～84歳	258	40.7	48.1	11.2
	85～89歳	104	49.0	35.6	15.4
	90歳以上	31	41.9	35.5	22.6

問 59. パソコン、スマートフォンやタブレット端末などの情報通信機器を利用していますか。

一般高齢者において、年齢別にみると、高齢になるにつれて「よく利用している」の割合が低く、「利用していない」の割合が高くなっています。



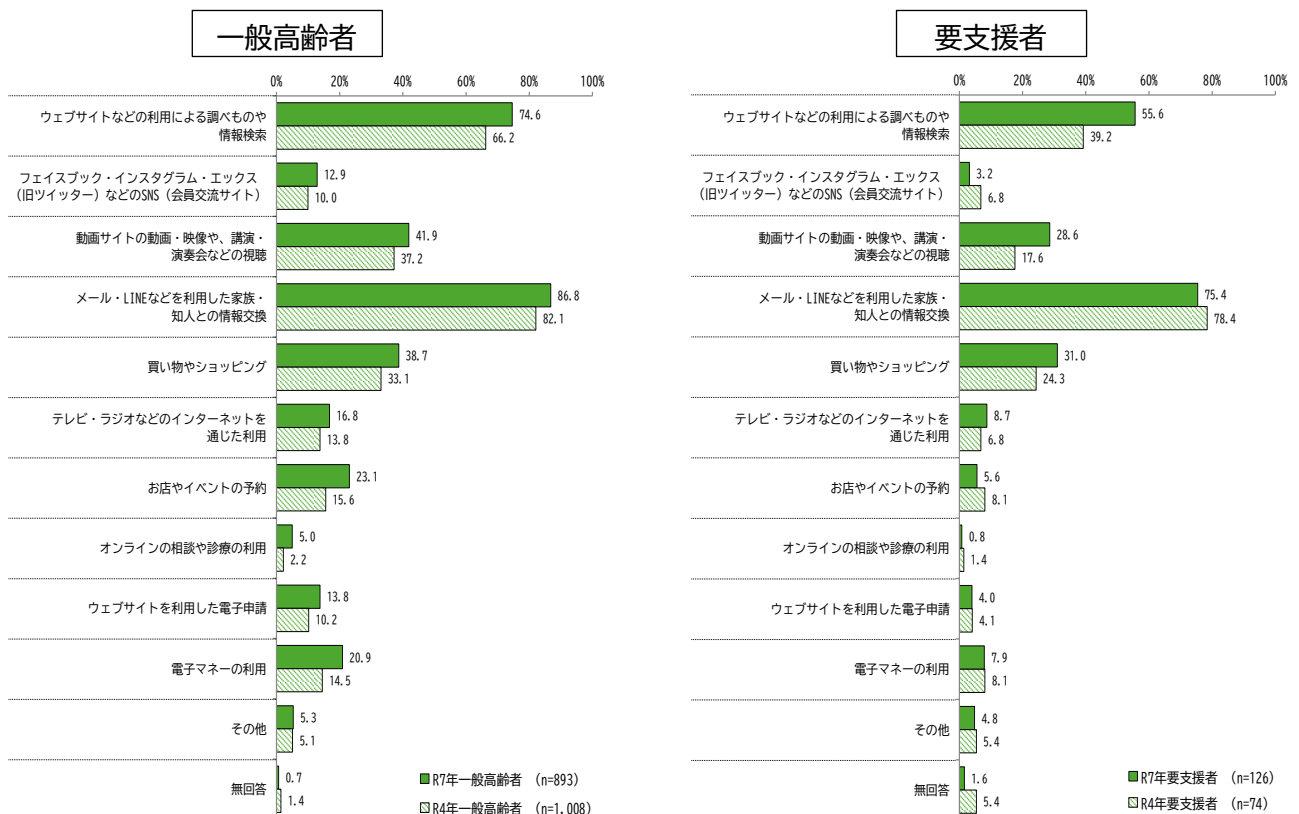
年齢別【一般高齢者】

単位：％

		全体	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用していない	利用していない	無回答
年齢別	65～69歳	282	65.2	19.5	4.3	4.6	6.4
	70～74歳	333	57.4	21.9	4.2	9.6	6.9
	75～79歳	409	34.2	22.5	8.6	23.5	11.2
	80～84歳	258	25.2	22.1	8.1	34.1	10.5
	85～89歳	104	12.5	15.4	18.3	38.5	15.4
	90歳以上	31	12.9	9.7	9.7	54.8	12.9

【問 59 で「よく利用している」「ときどき利用している」と回答された方にお伺いします】
 問 60. パソコン、スマートフォンやタブレット端末などの情報通信機器を利用している目的は何ですか。(複数回答)

一般高齢者において、年齢別にみると、65～69歳で「メール・LINE などを利用した家族・知人との情報交換」(92.5%)の割合が高くなっています。



年齢別【一般高齢者】

単位：%

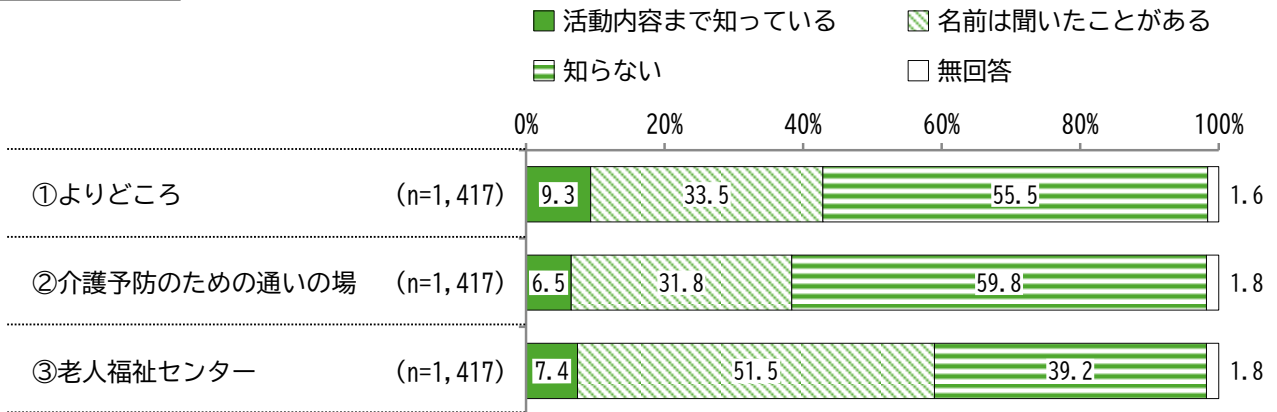
	全体	報 用 ウ エ 旧 タ イ ツ タ ー ） な ど の 情 利	ス タ グ ラ ム ブ ツ ・ エ ッ ク イ ン ス ン	フ エ イ ス ブ ツ ・ エ ッ ク イ ン ス ン	ど の 視 聴	像 や 講 演 の 動 画 ・ 映	動 画 サ イ ト の 動 画 ・ 映	と の 情 報 交 換	メ ー ル ・ L I N E な ど	買 い 物 や シ ョ ッ ピ ン グ	テ レ ビ ・ ラ ジ オ な ど の 通 じ	お 店 や イ ベ ン ト の 予 約	療 の 利 用	オ ン ラ イ ン の 相 談 や 診	ウ エ ブ サ イ ト を 利 用 し	電 子 マ ネ ー の 利 用	そ の 他	無 回 答
年 齢 別	65～69歳	239	87.0	21.3	54.8	92.5	54.0	20.1	36.8	7.5	21.8	34.3	5.9	0.0				
	70～74歳	264	77.7	13.6	45.5	88.3	39.0	20.8	23.5	7.2	17.0	23.5	5.7	0.8				
	75～79歳	232	71.1	6.0	31.0	84.1	33.6	9.9	15.5	1.3	6.0	13.4	5.6	0.4				
	80～84歳	122	56.6	9.8	33.6	82.0	21.3	13.9	12.3	3.3	8.2	6.6	3.3	1.6				
	85～89歳	29	58.6	6.9	24.1	75.9	31.0	20.7	13.8	0.0	3.4	10.3	0.0	3.4				
	90歳以上	7	28.6	0.0	42.9	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0				

6 地域での活動について

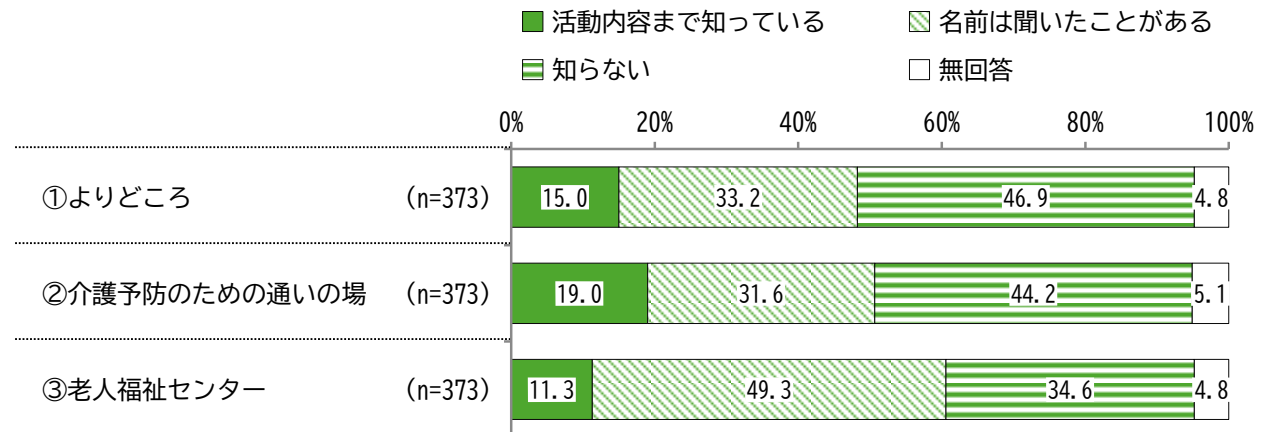
【ここからはすべての方にお伺いします】

問 61. 以下のような高齢者の集いの場を知っていますか。

一般高齢者



要支援者



問 62. 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

一般高齢者では、⑩収入のある仕事で「週4回以上」(16.7%)、⑨町内会・自治会で「年に数回」(25.9%)の割合が高くなっています。

要支援者では、⑥介護予防のための通いの場で「週2～3回」(13.7%)、「週1回」(18.2%)、⑨町内会・自治会で「年に数回」(10.2%)の割合が高くなっています。

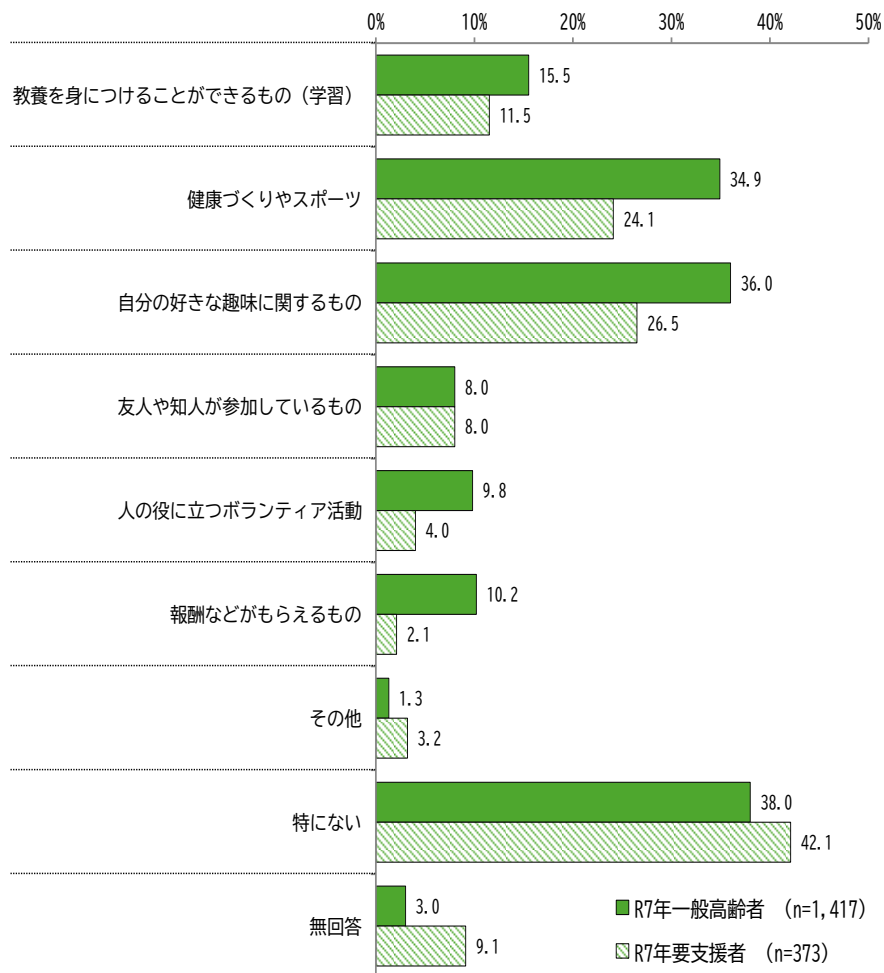
一般高齢者

項目	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ (n=1,417)	0.3	1.2	1.0	3.7	4.9	86.5	2.5
②スポーツ関係のグループやクラブ (n=1,417)	4.3	7.6	6.1	3.5	2.3	73.9	2.3
③趣味関係のグループ (n=1,417)	1.8	4.4	5.3	8.6	5.9	71.9	2.1
④学習・教養サークル (n=1,417)	0.1	0.2	1.6	3.0	2.8	89.6	2.8
⑤よりどころ (n=1,417)	0.9	2.0	1.9	2.7	3.0	86.5	3.0
⑥介護予防のための通いの場 (n=1,417)	0.2	0.6	0.4	0.6	1.1	94.9	2.3
⑦老人福祉センター (n=1,417)	0.0	0.1	0.1	0.5	0.6	96.5	2.2
⑧老人クラブ (n=1,417)	0.1	0.6	0.2	0.8	1.4	94.9	2.0
⑨町内会・自治会 (n=1,417)	0.0	0.2	0.6	5.9	25.9	65.0	2.4
⑩収入のある仕事 (n=1,417)	16.7	7.7	2.3	1.7	1.3	68.2	2.2

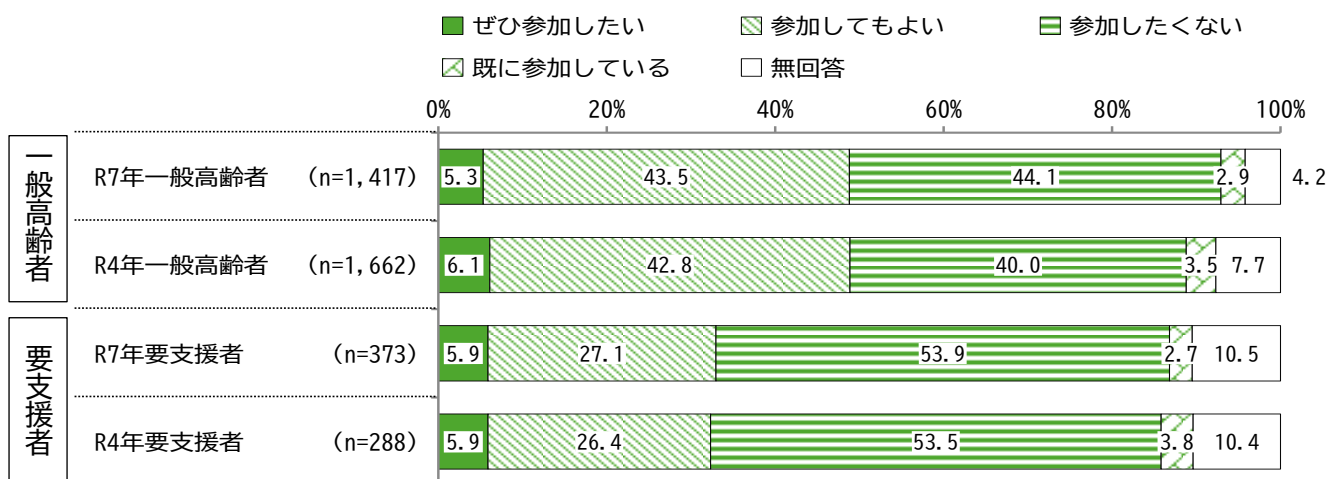
要支援者

項目	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ (n=373)	0.3	1.6	2.9	2.9	2.1	83.9	6.2
②スポーツ関係のグループやクラブ (n=373)	1.6	5.1	4.6	1.3	0.8	79.4	7.2
③趣味関係のグループ (n=373)	0.8	2.9	4.8	4.8	4.3	75.9	6.4
④学習・教養サークル (n=373)	0.5	0.3	2.4	1.3	3.2	85.8	6.4
⑤よりどころ (n=373)	0.5	2.7	4.6	2.4	2.7	79.6	7.5
⑥介護予防のための通いの場 (n=373)	1.9	13.7	18.2	0.8	1.3	58.7	5.4
⑦老人福祉センター (n=373)	0.0	3.2	2.9	0.3	0.8	86.6	6.2
⑧老人クラブ (n=373)	0.3	1.1	1.1	1.3	3.5	86.9	5.9
⑨町内会・自治会 (n=373)	0.0	1.1	0.5	2.4	10.2	79.9	5.9
⑩収入のある仕事 (n=373)	0.5	1.3	0.8	0.3	1.3	89.3	6.4

問 63. どのような活動に参加したいですか。(複数回答)

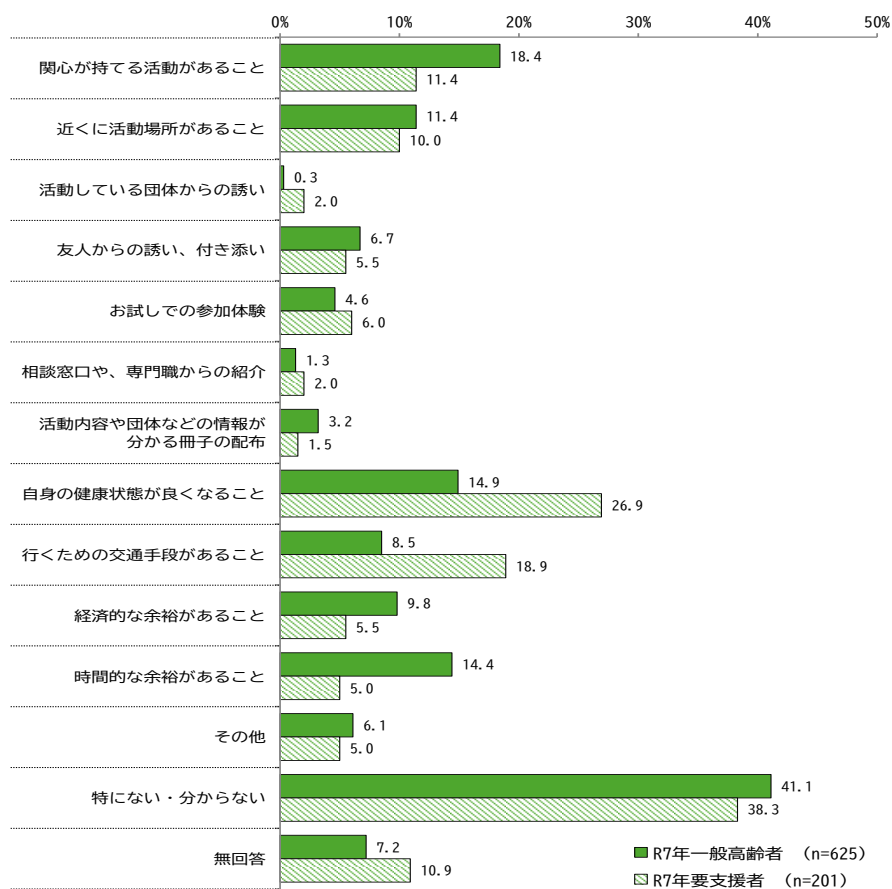


問 64. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



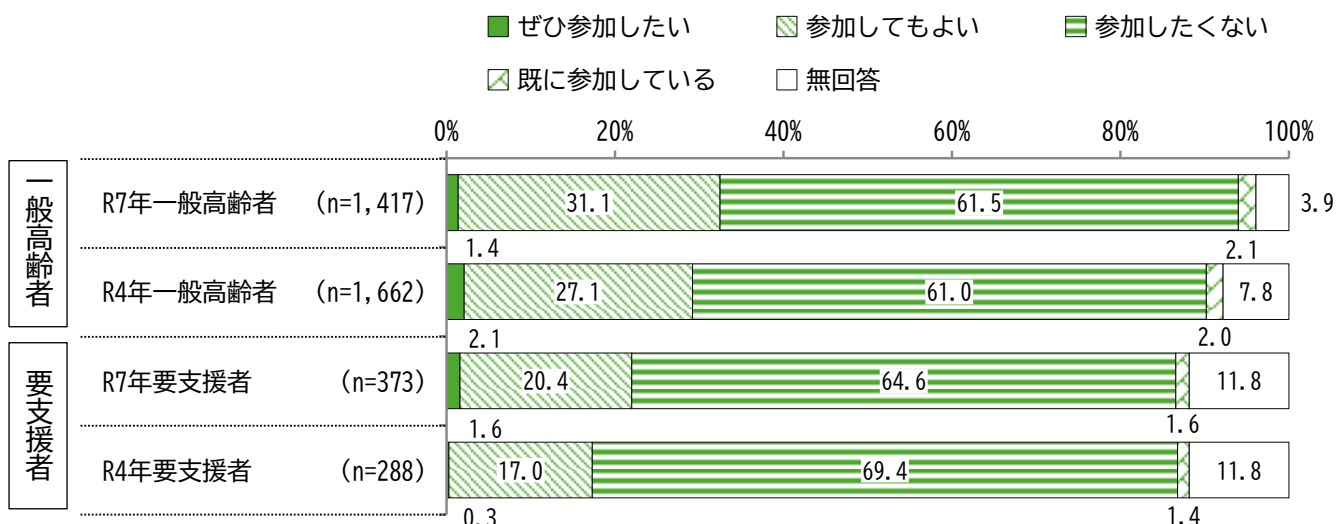
問 64 で「参加したくない」と回答された方にお伺いします

問 65. どのようなきっかけがあれば、健康づくり活動や趣味などのグループ活動に参加してみたいと思いますか。(複数回答)



【ここからはすべての方にお伺いします】

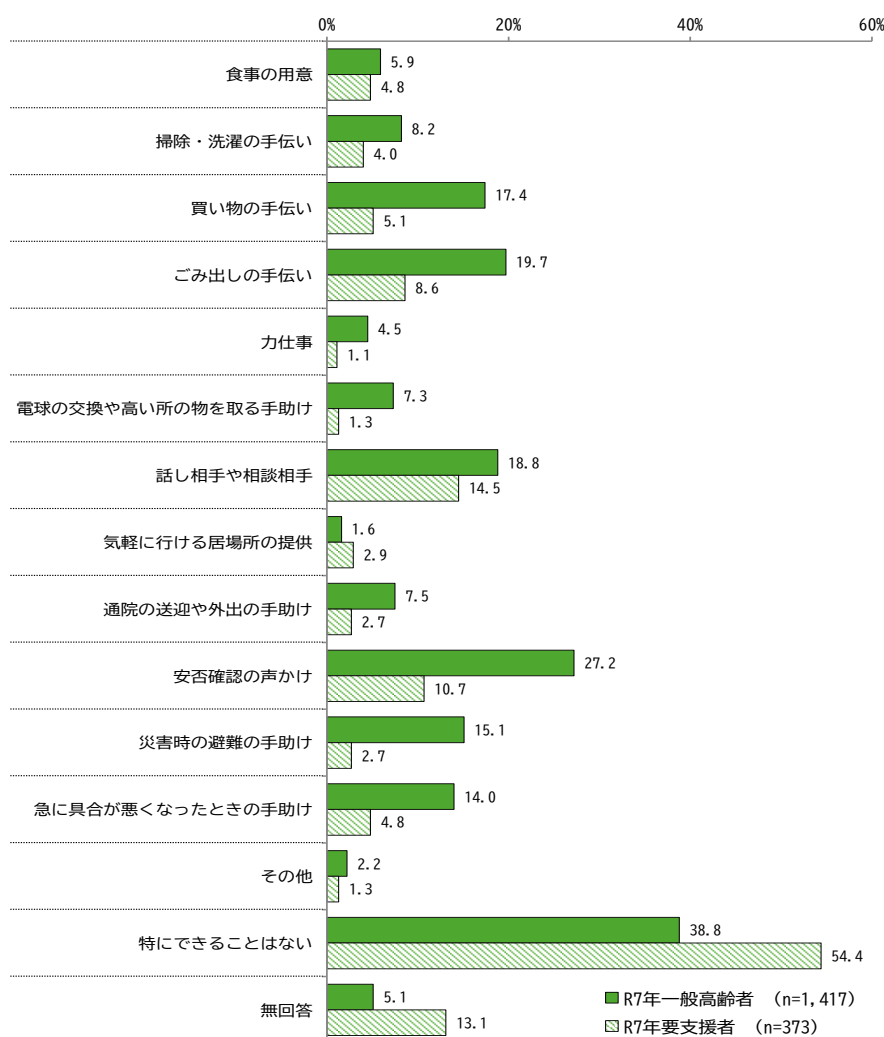
問 66. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。



問 67. 地域で、生活に不便を感じている人のために、あなたができそうな活動はありますか。(複数回答)

一般高齢者において、年齢別で見ると、65～69歳で「通院の送迎や外出の手助け」(14.5%)、「安否確認の声かけ」(37.9%)、「災害時の避難の手助け」(26.2%)の割合が高くなっています。

圏域別で見ると、北部地域で「掃除・洗濯の手伝い」(12.2%)、「話し相手や相談相手」(22.3%)、「急に具合が悪くなったときの手助け」(20.3%)の割合が高くなっています。



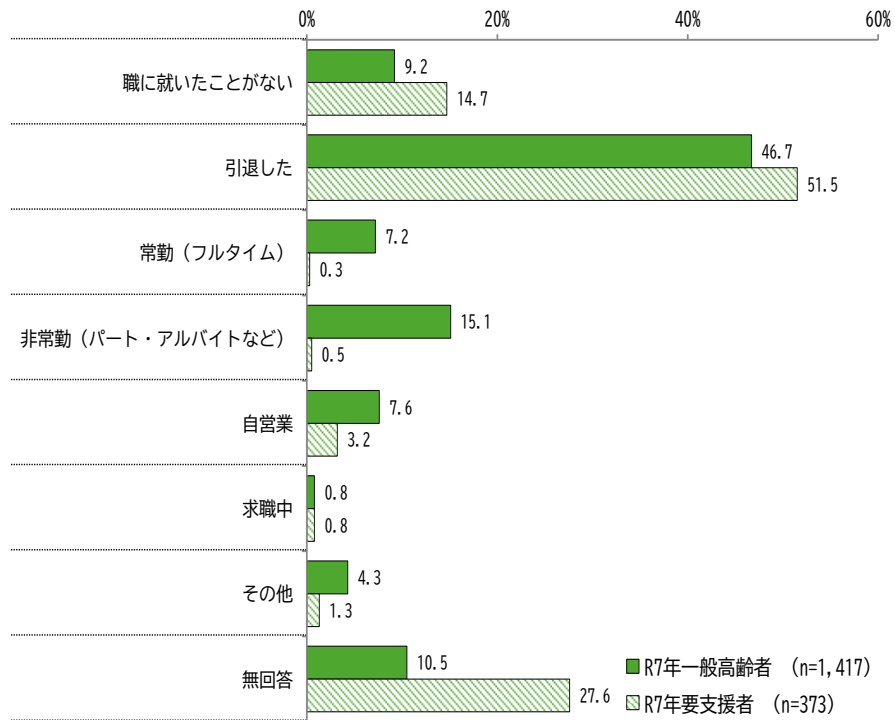
年齢別・圏域別【一般高齢者】

単位：%

		全体	食事の用意	掃除・洗濯の手伝い	買い物の手伝い	ごみ出しの手伝い	力仕事	電球の交換や高い所の物を取る手助け	話し相手や相談相手	気軽に行ける居場所の提供	通院の送迎や外出の手助け	安否確認の声かけ	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなったときの手助け	その他	特にできることはない	無回答
年齢別	65～69歳	282	9.2	10.6	23.4	23.0	6.7	12.4	23.8	1.8	14.5	37.9	26.2	16.7	2.1	31.9	1.8
	70～74歳	333	7.5	7.8	23.1	20.1	3.0	8.1	20.4	1.5	7.2	31.5	17.1	16.8	2.7	32.7	2.7
	75～79歳	409	5.4	9.3	17.1	21.5	4.4	5.6	19.6	2.0	6.4	26.9	13.2	13.4	0.5	40.8	5.9
	80～84歳	258	2.7	6.2	8.9	15.9	4.3	4.7	13.6	0.8	3.9	16.3	9.3	11.2	3.1	44.2	8.1
	85～89歳	104	1.9	5.8	9.6	14.4	5.8	4.8	12.5	1.9	4.8	17.3	4.8	9.6	2.9	50.0	9.6
	90歳以上	31	3.2	0.0	3.2	9.7	0.0	3.2	12.9	0.0	0.0	9.7	0.0	6.5	9.7	58.1	9.7
圏域別	北部地域	197	6.6	12.2	17.8	25.4	4.1	9.1	22.3	3.0	8.1	29.9	15.7	20.3	1.0	33.0	4.1
	東部地域	153	6.5	7.2	18.3	17.0	7.2	7.2	17.0	1.3	5.9	26.1	16.3	12.4	0.7	45.8	3.3
	中央地域東	231	6.5	6.9	17.7	16.9	3.0	6.9	19.5	0.9	9.1	24.7	12.6	13.4	0.9	36.8	7.4
	中央地域西	378	4.5	6.1	15.3	16.9	4.8	7.1	18.5	0.8	6.3	26.5	14.0	11.4	3.4	42.3	5.8
	南部地域	458	6.1	9.2	18.6	21.8	4.4	6.8	17.9	2.0	7.9	28.2	16.6	14.4	2.8	37.1	4.4

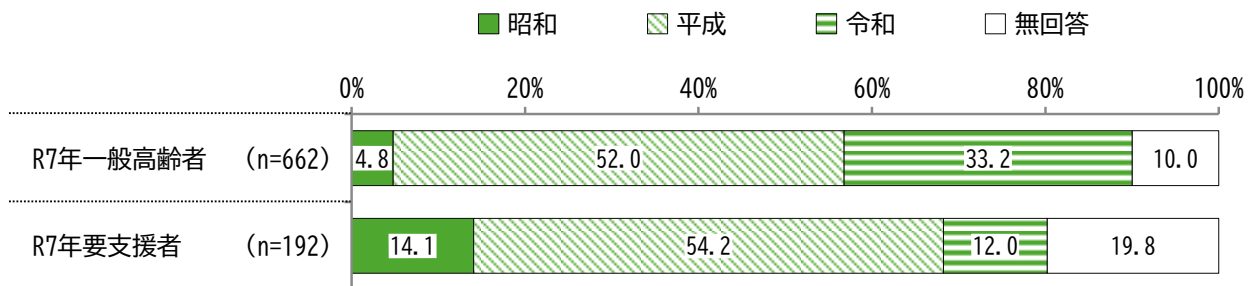
7 就労について

問 68. 現在のあなたの就労状態はどれですか。(複数回答)

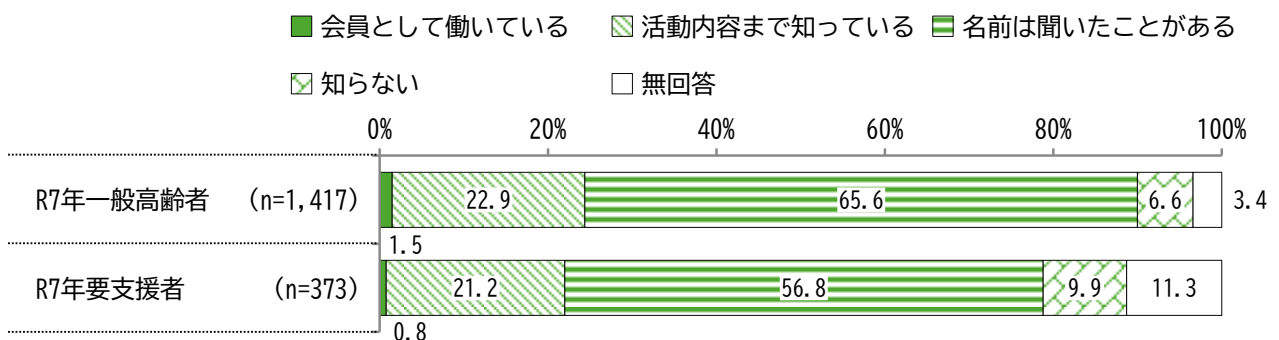


【問 68 で「引退した」と回答された方にお伺いします】

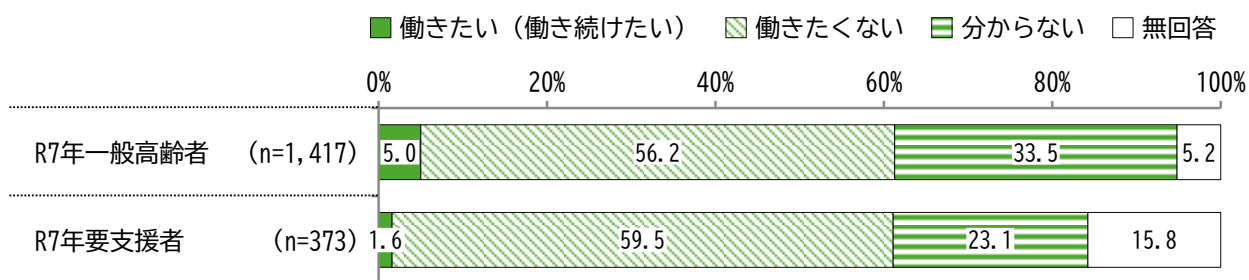
問 69. あなたはいつ引退しましたか。



問 70. シルバー人材センターを知っていますか。

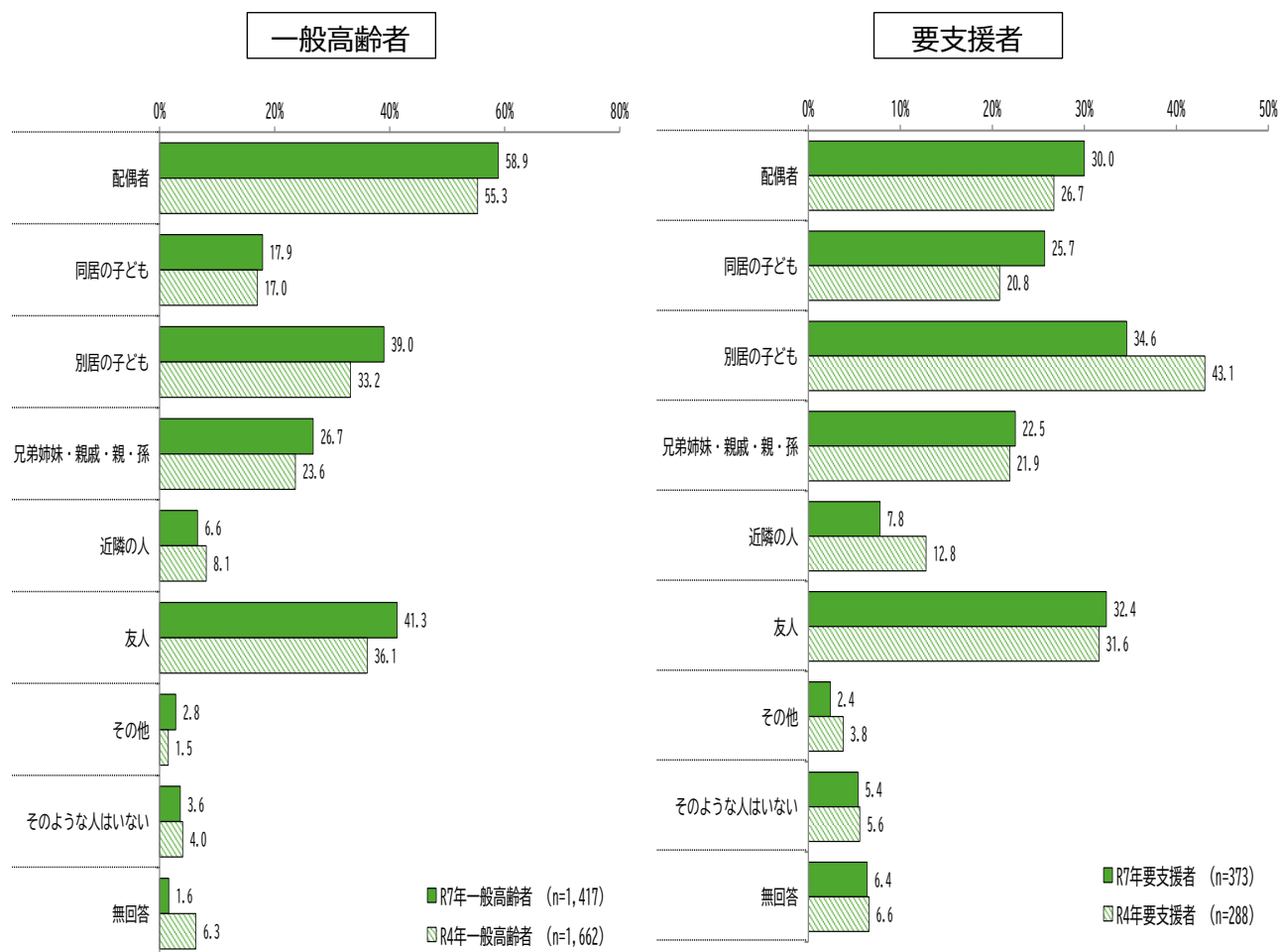


問 71. シルバー人材センターで入会して働きたい（働き続けたい）ですか。



8 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 72. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。(複数回答)

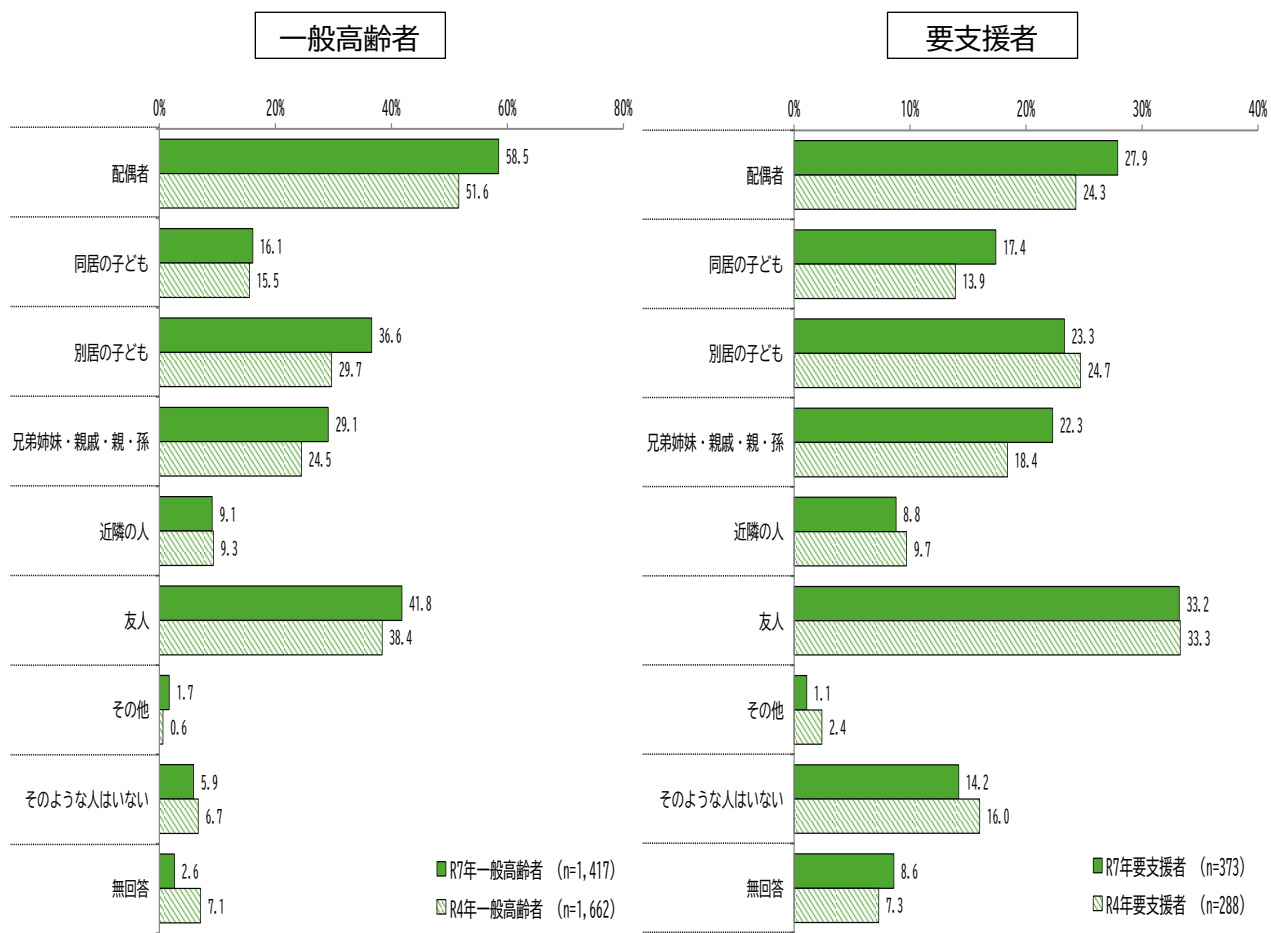


家族構成別【一般高齢者】

単位：%

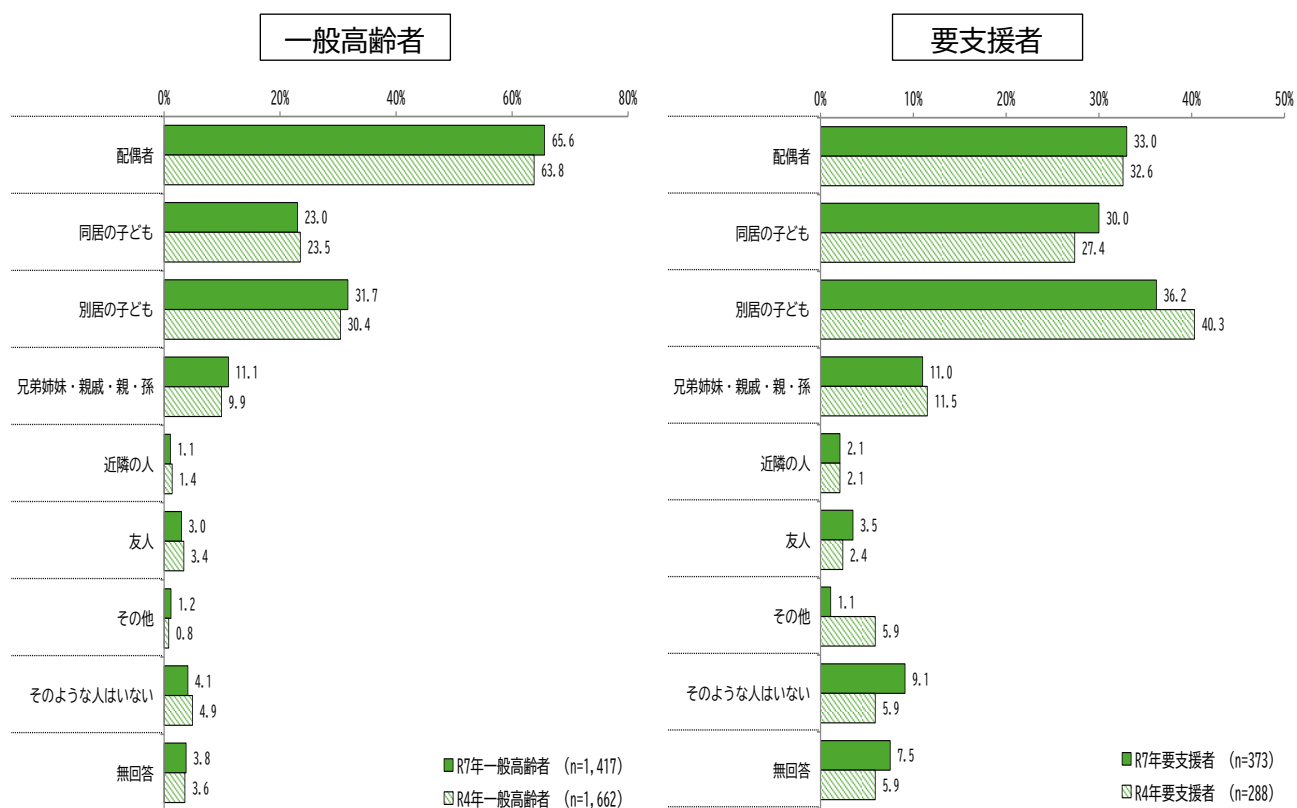
		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣の人	友人	その他	い な い そ の よ う な 人 は	無 回 答
家族 構 成 別	1人暮らし	220	0.5	0.5	50.0	33.2	13.6	49.5	4.1	9.1	1.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	662	79.5	2.9	43.4	22.8	4.8	40.3	1.5	2.4	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	87.3	7.3	36.4	21.8	3.6	36.4	3.6	5.5	0.0
	息子・娘との2世帯	229	52.8	55.9	29.7	26.2	5.7	40.6	3.1	1.3	1.3
	その他	211	53.6	43.6	28.4	31.8	6.2	38.4	4.3	4.3	0.9

問 73. 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。(複数回答)



問 74. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(複数回答)

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上及び配偶者64歳以下)で「配偶者」(89.0%、94.5%)、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」(73.8%)、1人暮らしで「別居の子ども」(55.0%)の割合が高くなっています。

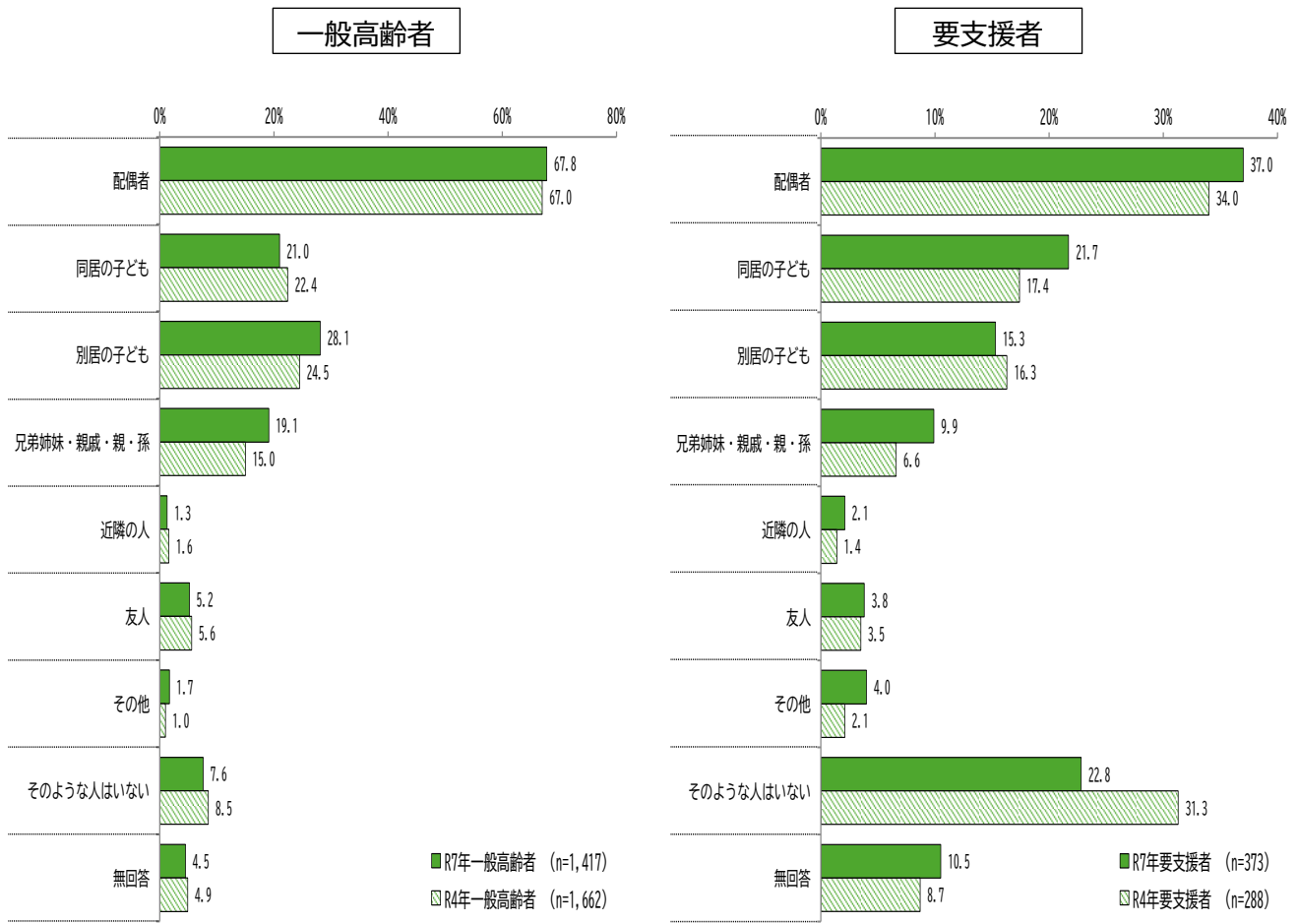


家族構成別【一般高齢者】

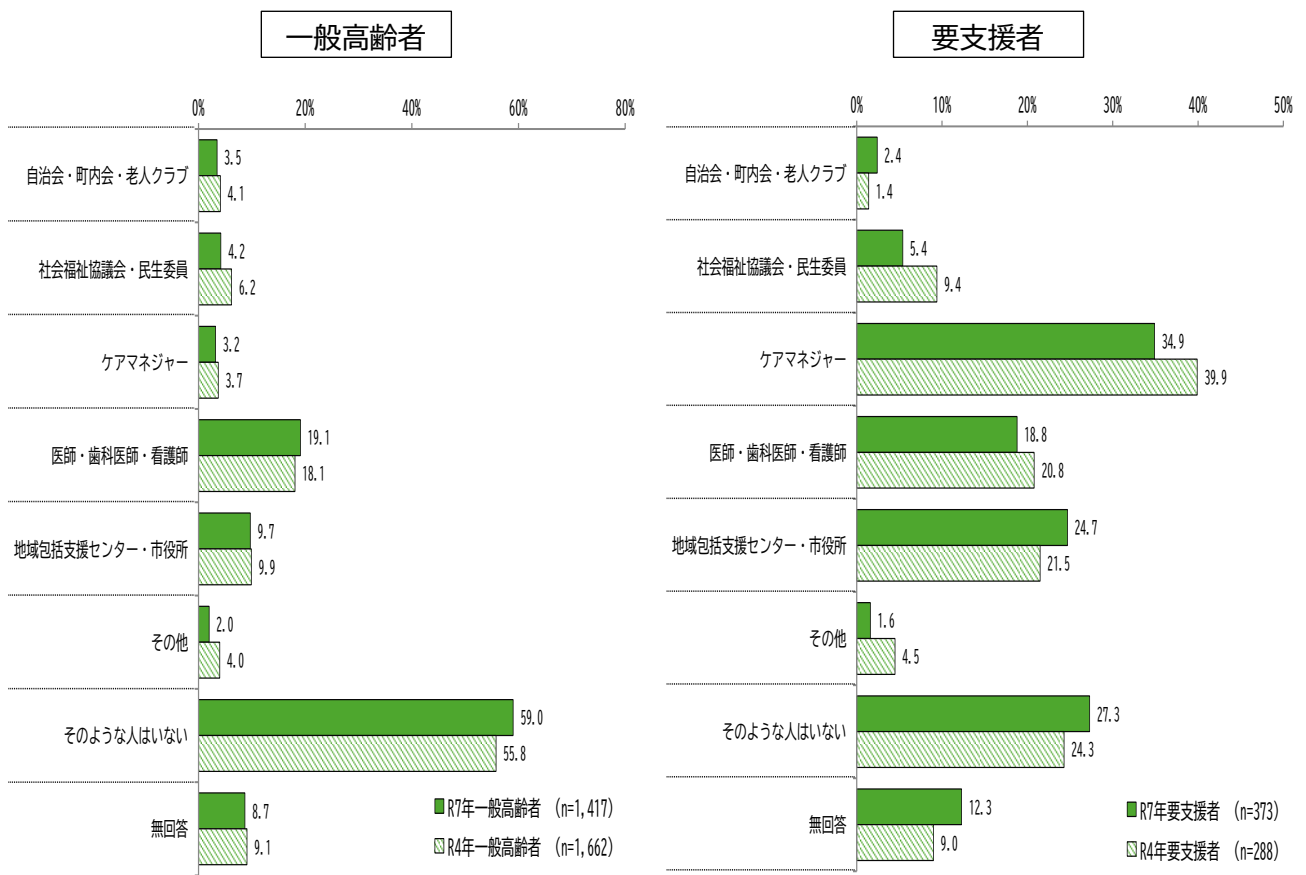
単位：%

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	いない そのような人は	無回答
家族構成別	1人暮らし	220	1.8	1.4	55.0	25.9	2.7	10.5	3.6	15.9	5.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	662	89.0	3.0	33.1	6.8	0.9	1.4	0.6	1.5	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	94.5	10.9	21.8	9.1	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6
	息子・娘との2世帯	229	59.8	73.8	19.2	7.0	0.4	0.9	0.4	2.6	2.6
	その他	211	57.3	56.4	21.3	14.2	0.9	2.8	1.4	3.3	4.3

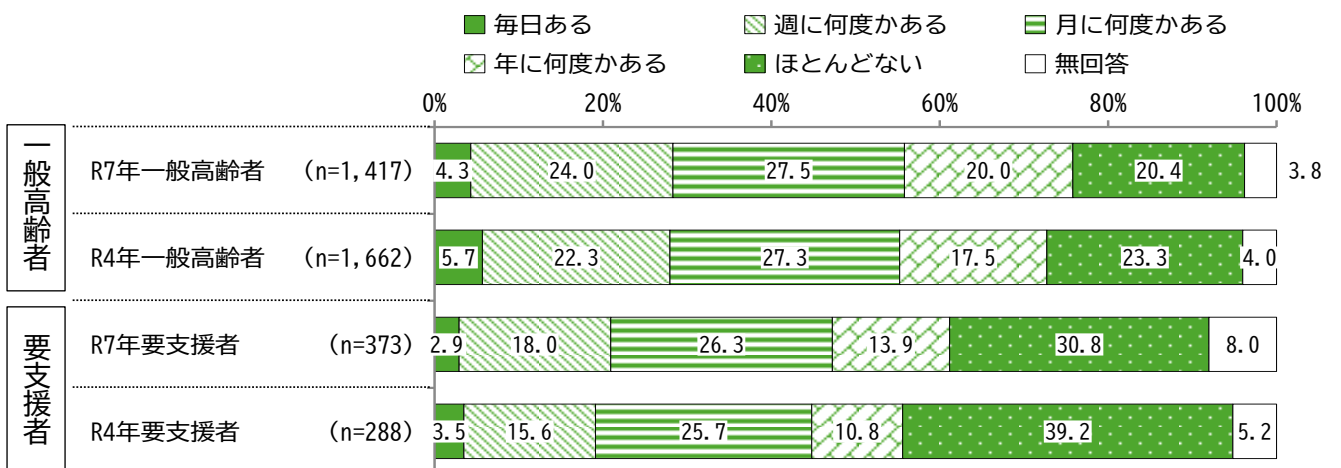
問 75. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(複数回答)



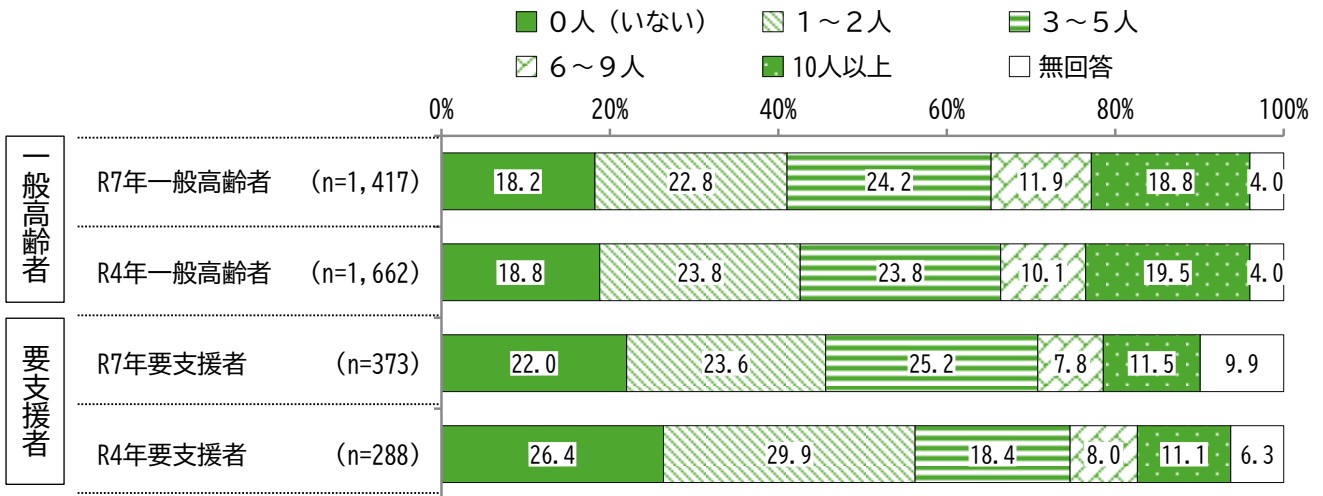
問 76. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか。(複数回答)



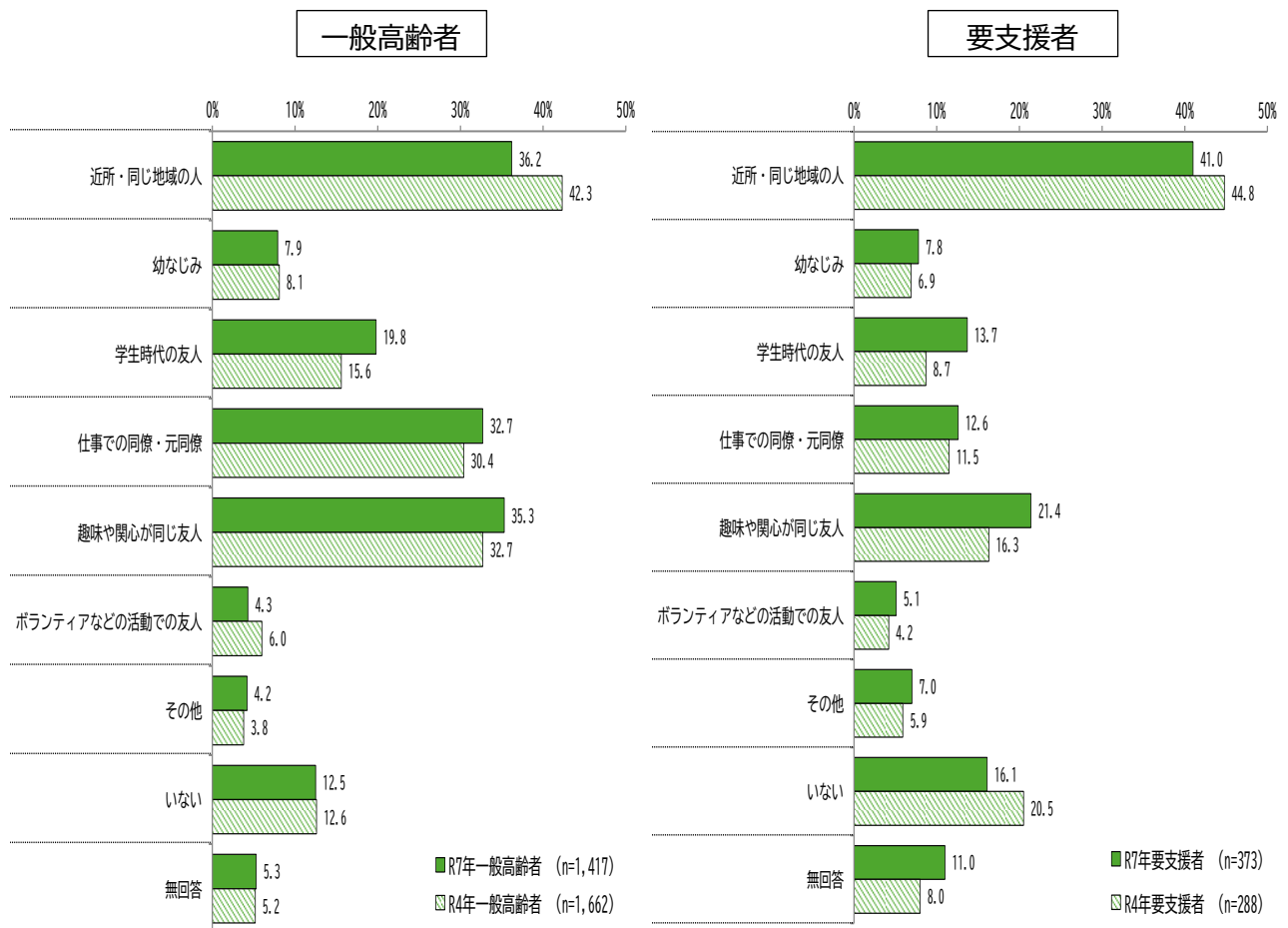
問 77. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



問 78. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 ※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

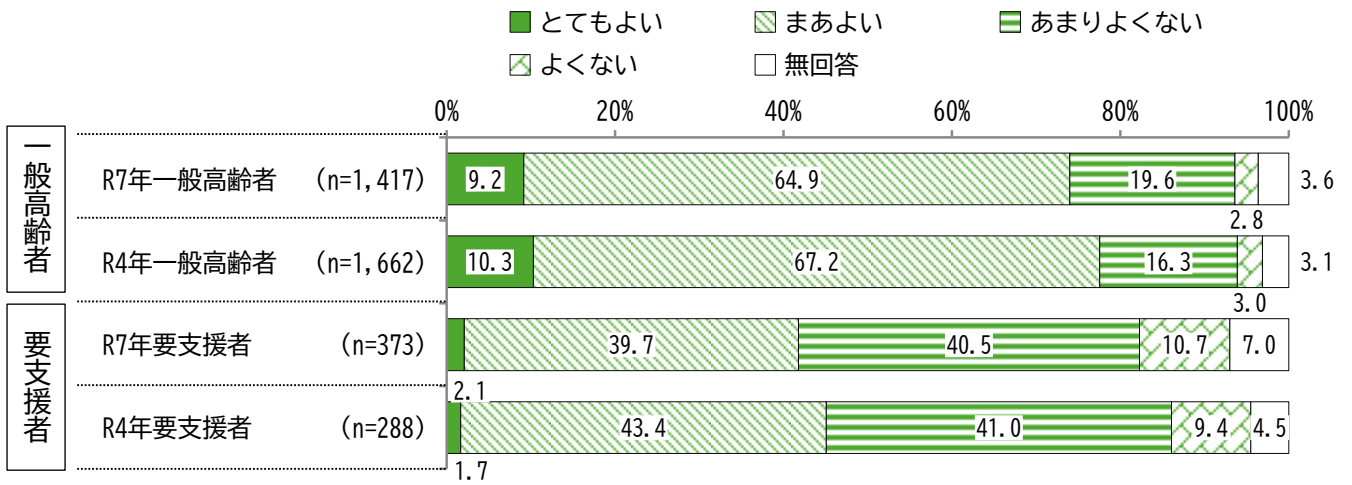


問 79. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数回答)

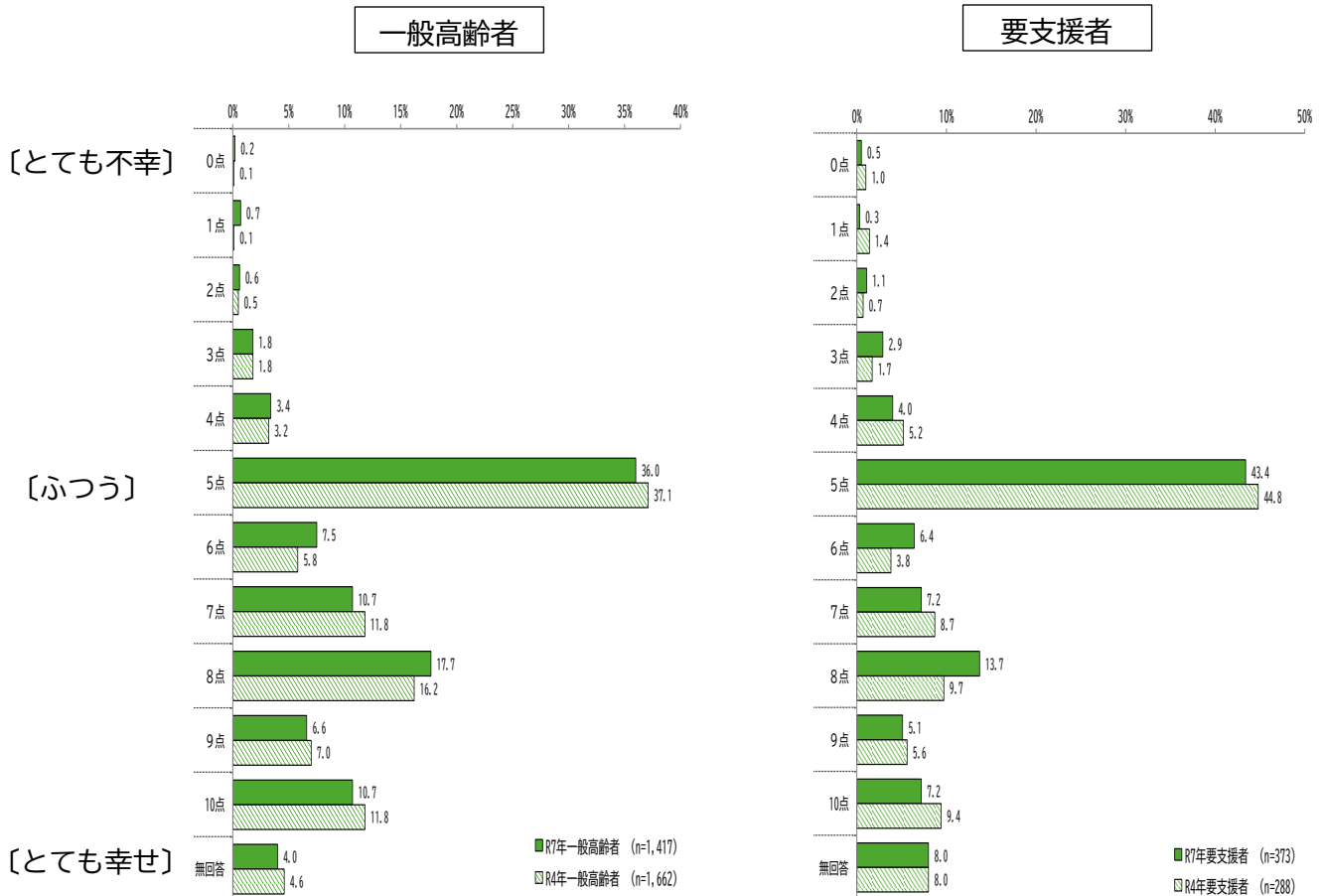


9 健康について

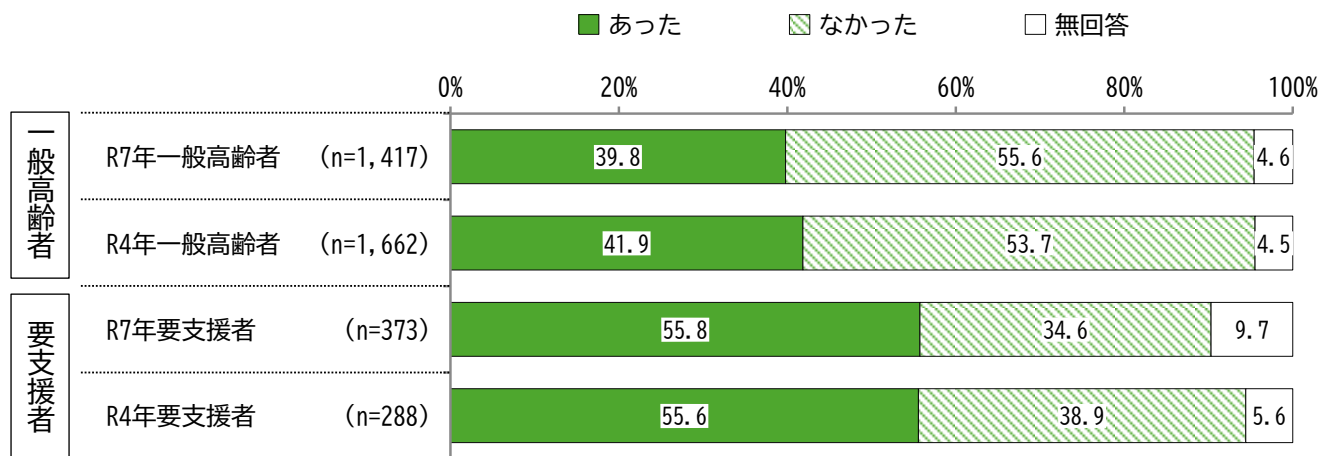
問 80. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。



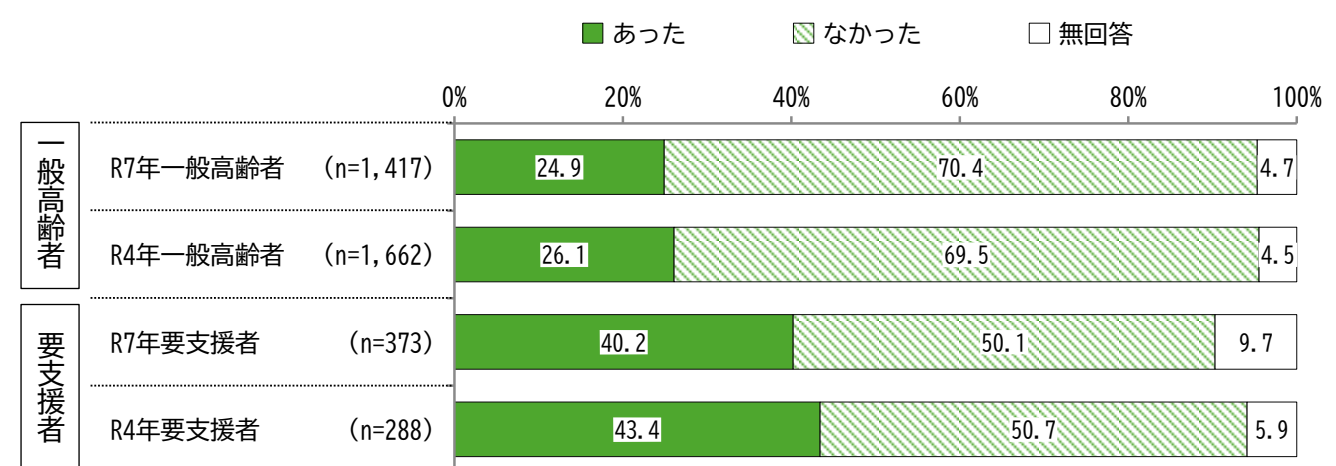
問 81. あなたは、現在どの程度幸せですか。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください)



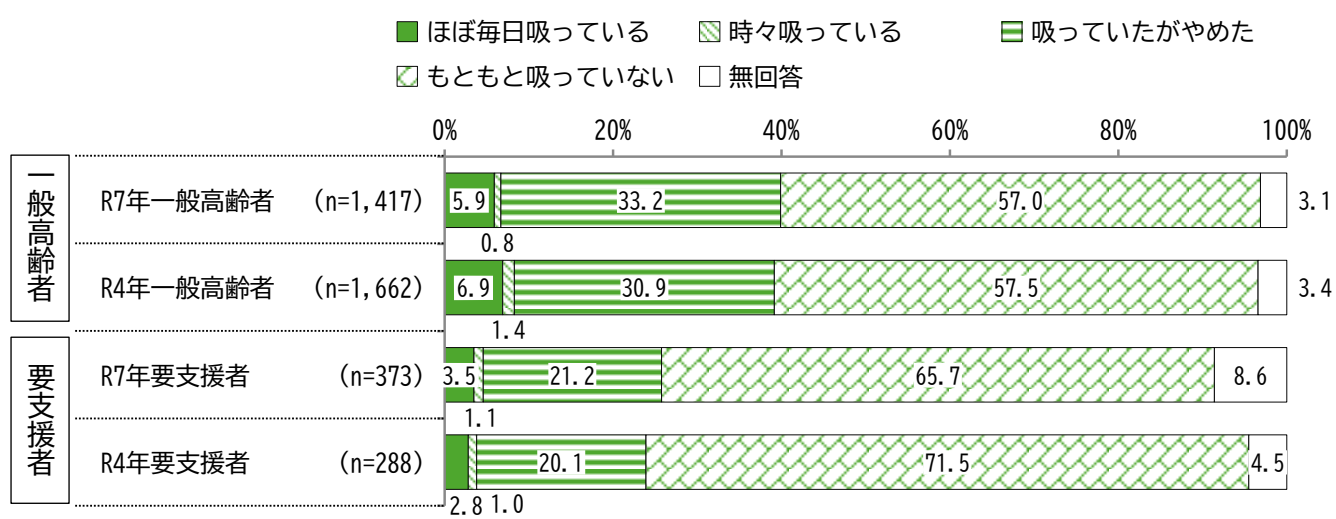
問 82. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



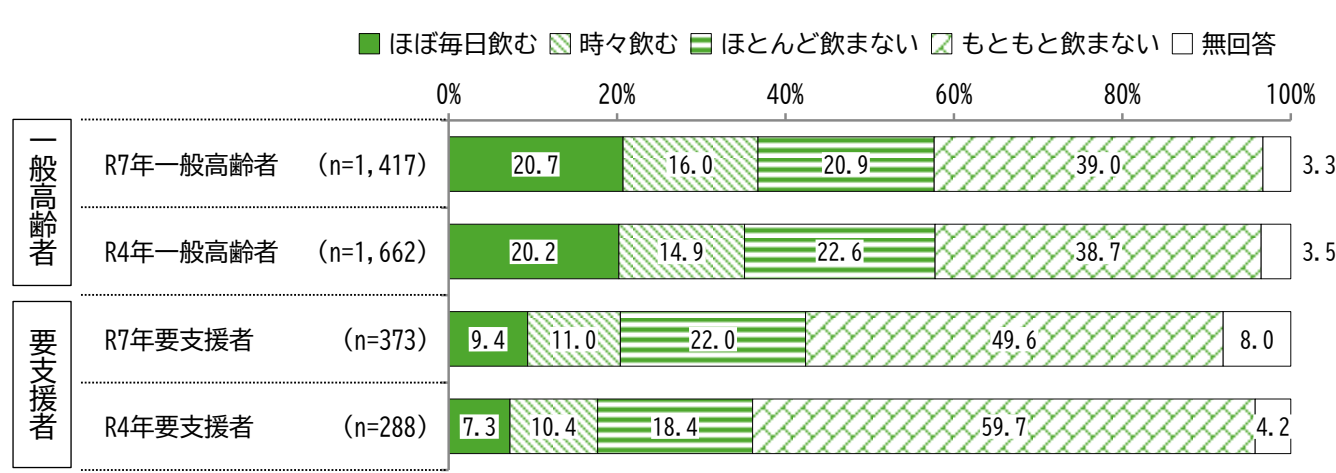
問 83. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



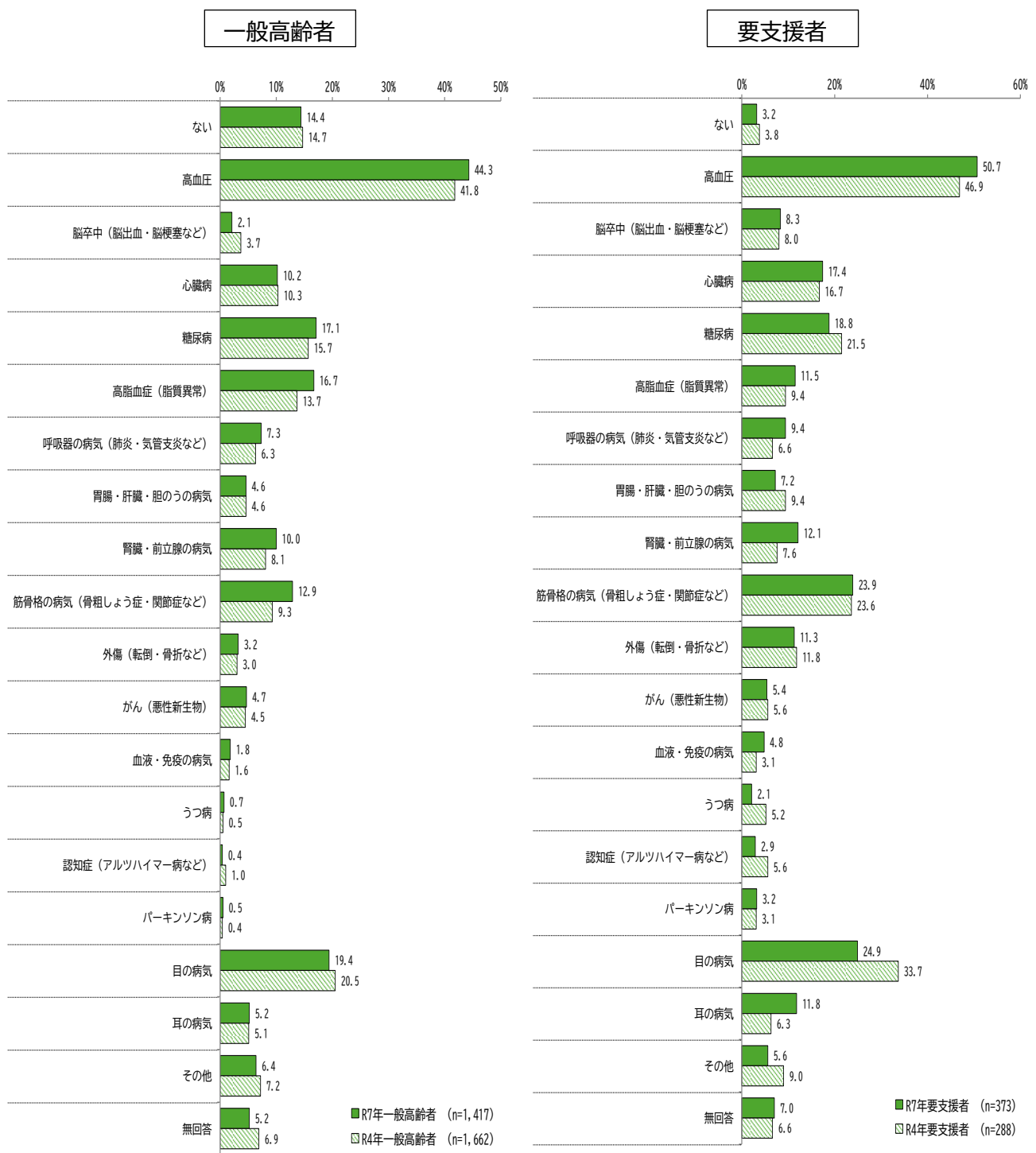
問 84. タバコは吸っていますか。



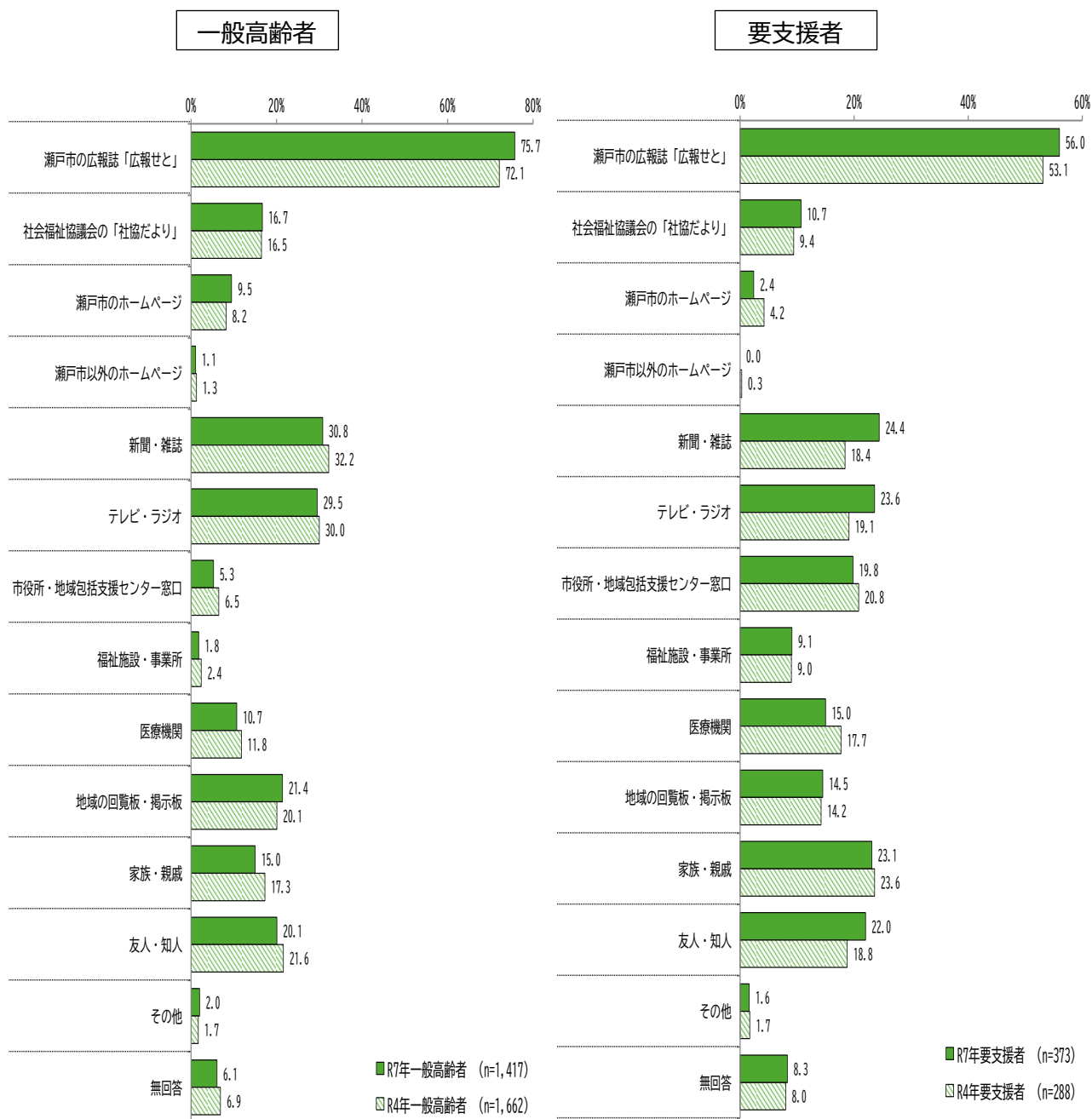
問 85. お酒は飲みますか。



問 86. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)



問 87. 福祉や介護に関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

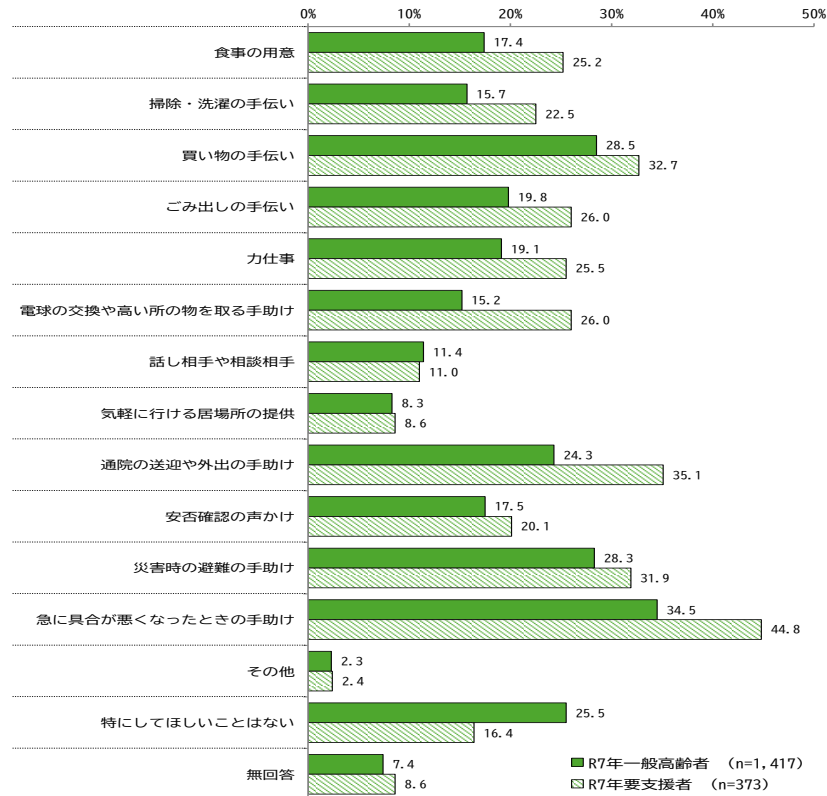


10 今後の生活について

問 88. 日常生活を送る上で不自由な状態になった時に、地域の人に手助けしてほしいことは何ですか。(複数回答)

年齢別で見ると、すべての年齢で「急に具合が悪くなった時の手助け」の割合が最も高くなっています。

圏域別で見ると、東部地域で「買い物の手伝い」(30.7%)の割合が高くなっています。また、東部地域を除くすべての圏域で「急に具合が悪くなった時の手助け」の割合が最も高くなっています。



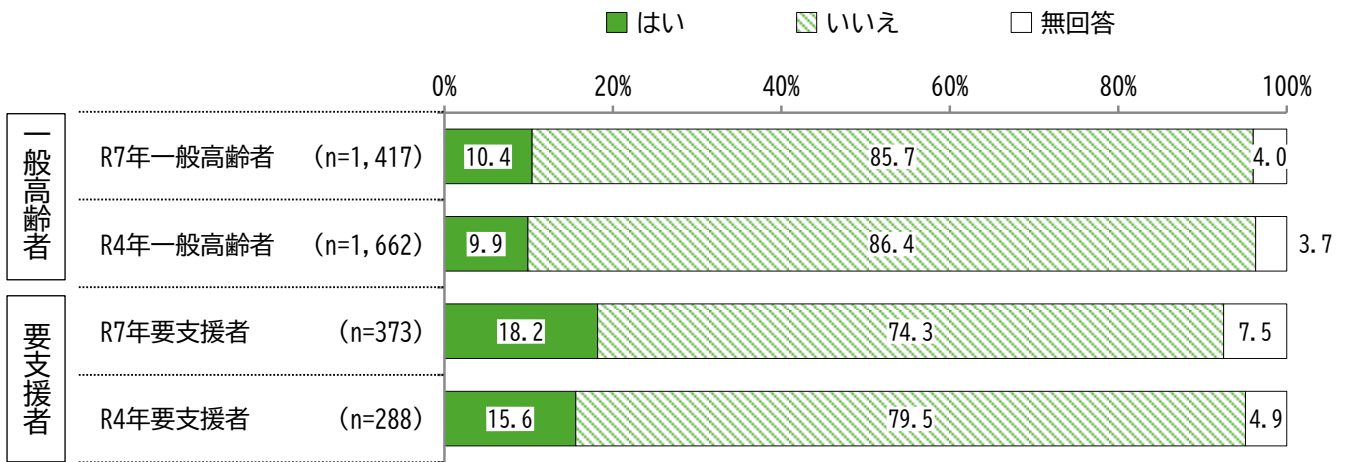
年齢別、圏域別【一般高齢者】

単位：%

	全体	食事の用意	掃除・洗濯の手伝い	買い物の手伝い	ごみ出しの手伝い	力仕事	電球の交換や高い所の物を取る手助け	話し相手や相談相手	気軽に行ける居場所の提供	通院の送迎や外出の手助け	安否確認の声かけ	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他	特にしてほしいことはない	無回答	
年齢別	65～69歳	282	18.1	18.8	30.9	21.6	23.0	16.7	12.8	8.2	29.8	27.7	36.9	2.8	22.7	4.6	
	70～74歳	333	18.0	13.8	27.3	18.6	16.8	15.0	9.6	8.4	21.3	16.5	26.1	33.9	1.8	28.5	5.4
	75～79歳	409	16.6	16.1	28.4	21.8	20.0	15.2	11.7	8.3	23.0	14.2	25.2	34.2	3.2	24.7	9.0
	80～84歳	258	15.1	12.0	27.1	18.6	16.3	13.2	10.9	8.1	24.0	15.1	27.5	32.9	1.9	27.1	8.5
	85～89歳	104	22.1	18.3	28.8	15.4	16.3	17.3	11.5	9.6	23.1	11.5	29.8	34.6	1.0	26.0	11.5
	90歳以上	31	16.1	25.8	32.3	16.1	25.8	16.1	19.4	6.5	29.0	19.4	19.4	35.5	0.0	16.1	9.7
圏域別	北部地域	197	14.2	13.2	27.4	19.3	17.3	11.7	9.6	7.1	19.8	15.2	27.4	35.0	3.0	29.4	7.1
	東部地域	153	18.3	15.0	30.7	17.0	20.3	14.4	10.5	7.8	26.8	16.3	24.2	28.8	2.0	24.8	9.2
	中央地域東	231	16.9	16.9	29.0	19.0	16.0	14.7	10.4	6.9	21.2	17.7	27.7	31.2	1.3	26.0	6.5
	中央地域西	378	18.8	16.1	28.6	19.3	19.0	15.1	11.6	8.7	27.2	20.1	27.5	37.0	2.9	25.1	8.2
	南部地域	458	17.5	16.2	27.9	21.8	21.0	17.5	12.9	9.4	24.5	16.6	31.0	35.8	2.2	24.2	6.8

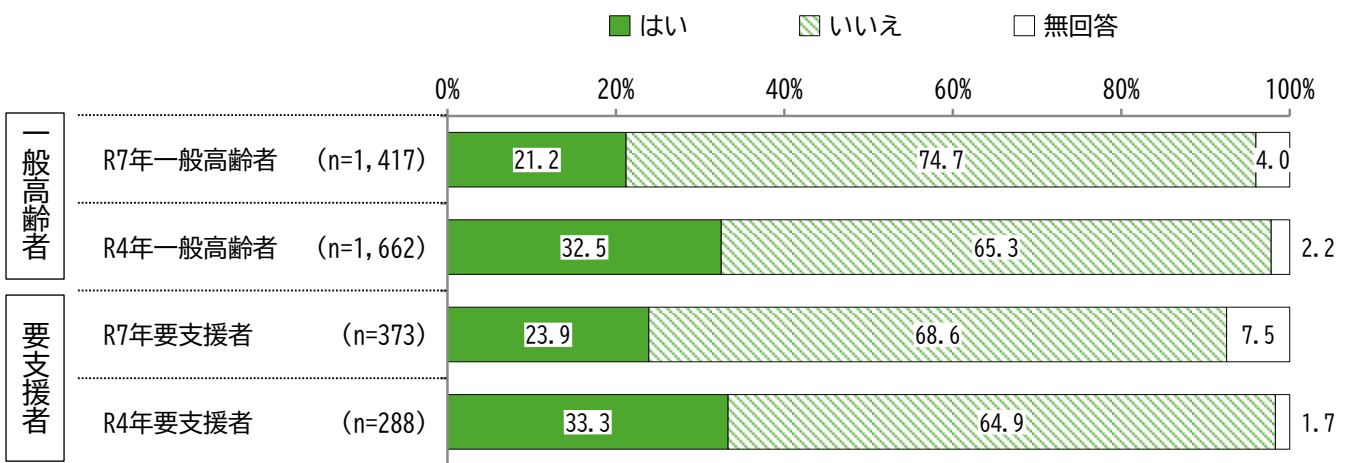
11 認知症について

問 89. 自分または家族に、認知症の症状がある人がいますか。

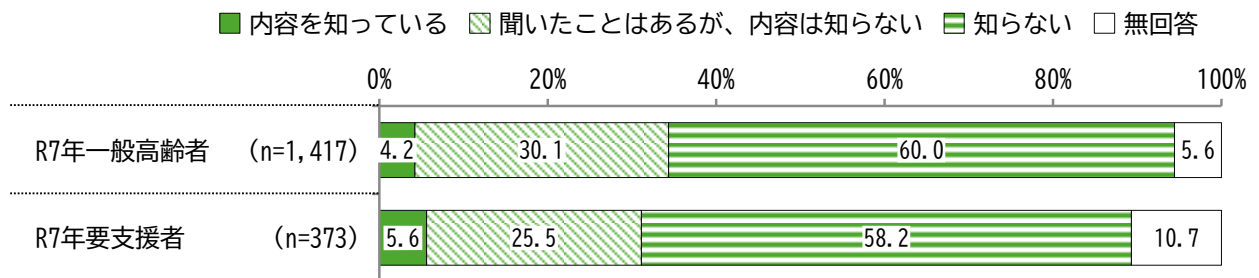


問 90. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

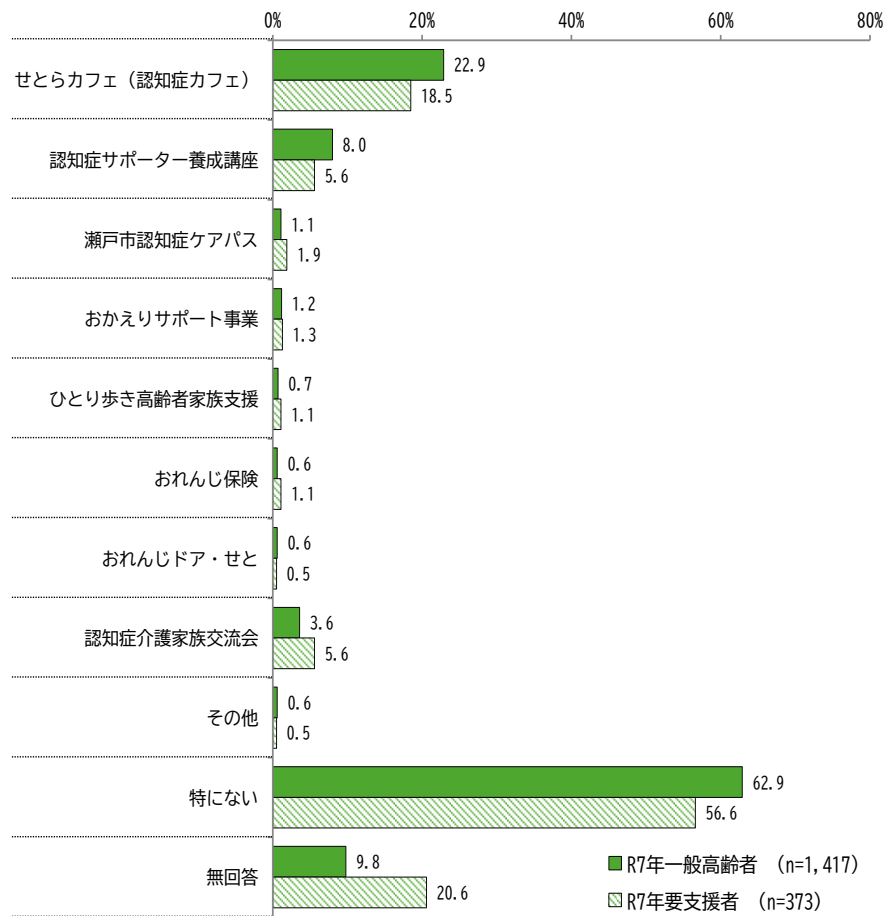
前回調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が 11.3 ポイント低くなっています。



問 91. 認知症サポーターを知っていますか。



問 92. 瀬戸市では、認知症施策として以下のような取り組みを行っていますが、あなたが知っているものは何ですか。(複数回答)



12 要介護リスクの状況について（一般高齢者）

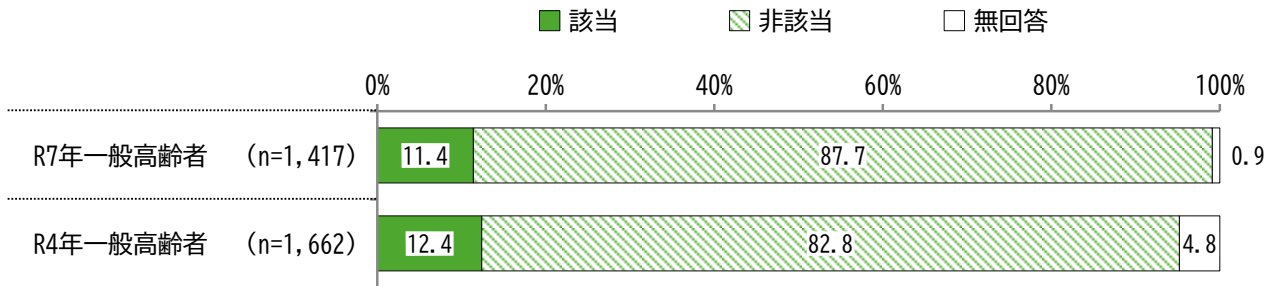
本調査は、設問の回答状況の組み合わせにより、各種の要介護リスクの判定に用いることができます。これを活用して、一般高齢者について要介護リスクのある人の割合を算出します。

（1）運動器の機能低下リスク

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

年齢別にみると、高齢になるにつれてリスク該当者は増加しています。

設問	判定条件	
	選択肢	リスク該当者
問9. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	左記の5つの設問において、3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合。
問10. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		
問11. 15分くらい続けて歩いていますか。		
問13. 過去1年間に転んだ経験がありますか。		
問14. 転倒に対する不安は大きいですか。		



年齢別【一般高齢者】

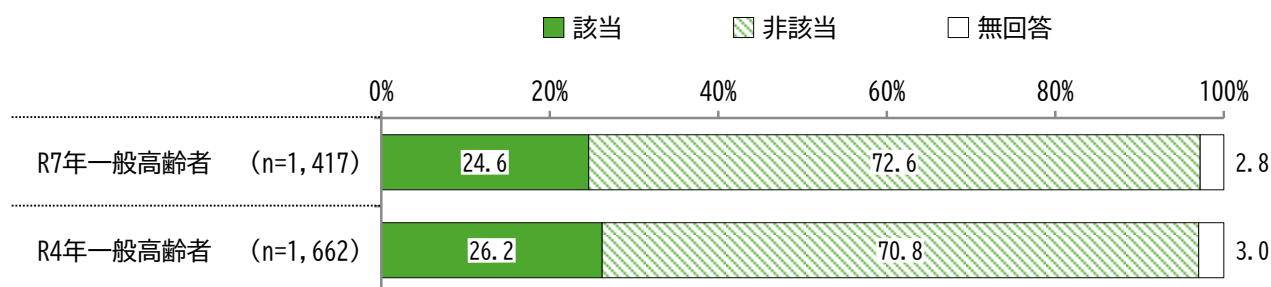
単位：%

		全体	該当	非該当	無回答
年齢別	65～69歳	282	3.5	95.4	1.1
	70～74歳	333	8.1	91.0	0.9
	75～79歳	409	11.2	88.0	0.7
	80～84歳	258	14.3	85.3	0.4
	85～89歳	104	26.9	71.2	1.9
	90歳以上	31	41.9	54.8	3.2

(2) 口腔機能の低下リスク

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

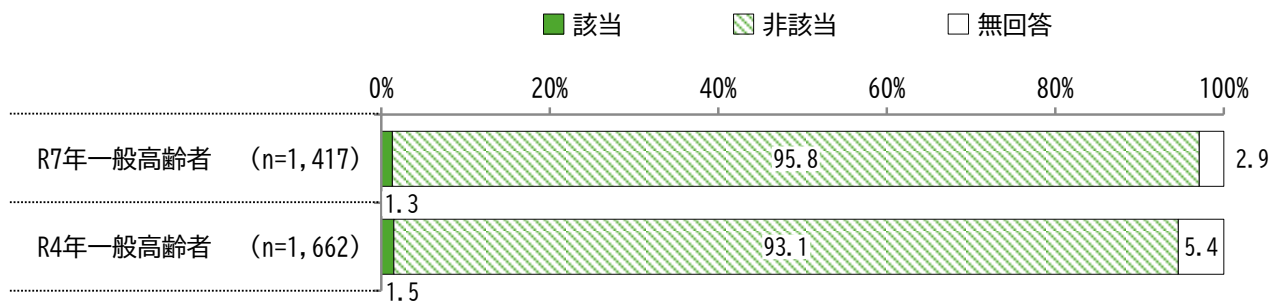
判定条件		
設問	選択肢	リスク該当者
問 25. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい 2. いいえ	左記の3つの設問において、2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合。
問 26. お茶や汁物等でむせることがありますか。		
問 27. 口の渇きが気になりますか。		



(3) 低栄養のリスク

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

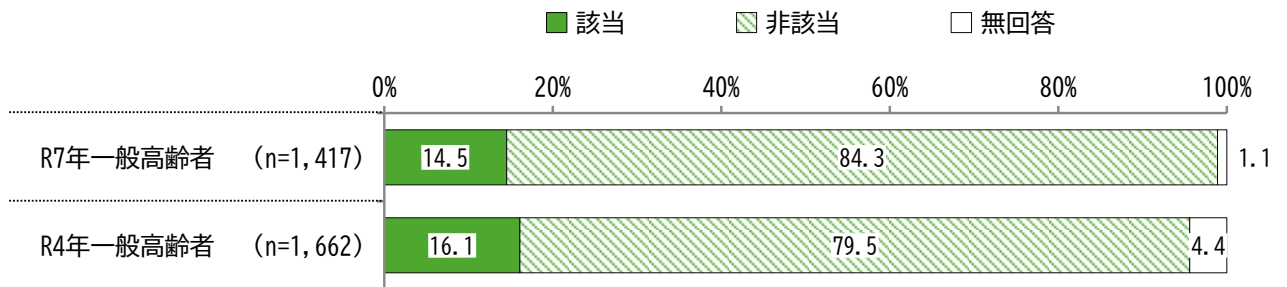
判定条件		
設問	選択肢	リスク該当者
問 24. 身長・体重を教えてください。	身長・体重から算出されたBMI指数が18.5未満	左記の2つの設問のいずれの条件にも該当した場合。
問 33. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。		



(4) 閉じこもり傾向のリスク

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

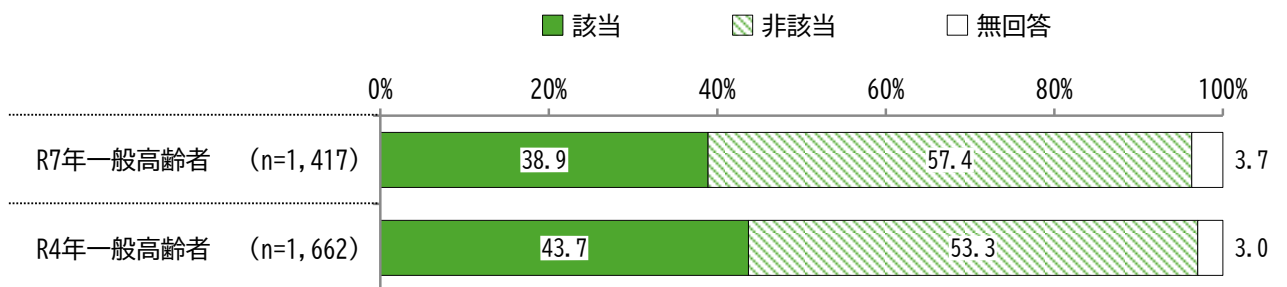
判定条件		
設問	選択肢	リスク該当者
問 16. 週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合。



(5) 物忘れのリスク

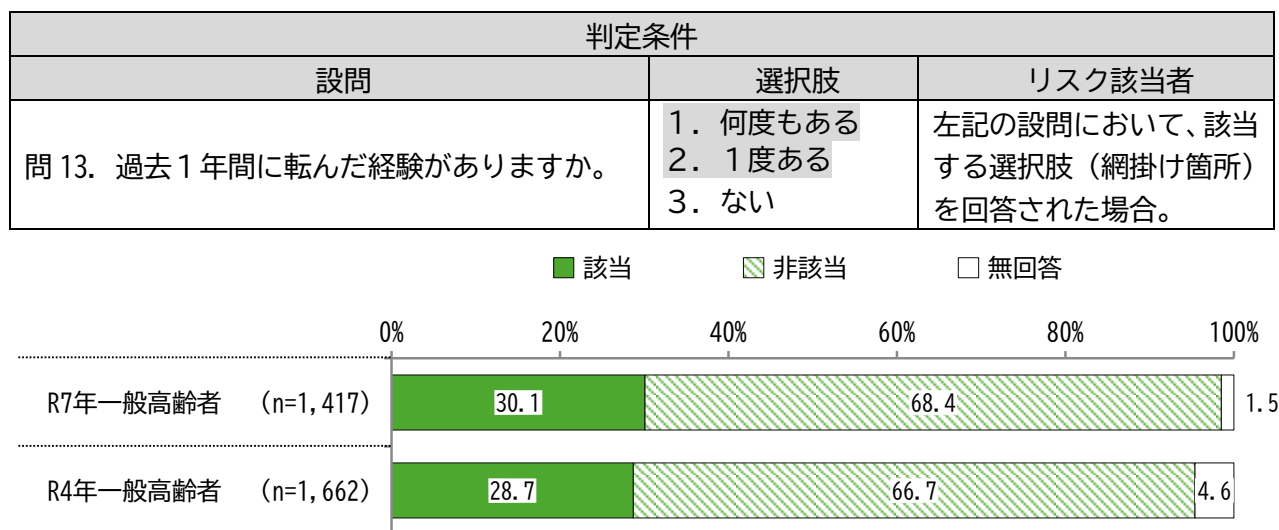
前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

判定条件		
設問	選択肢	リスク該当者
問 34. 物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合。



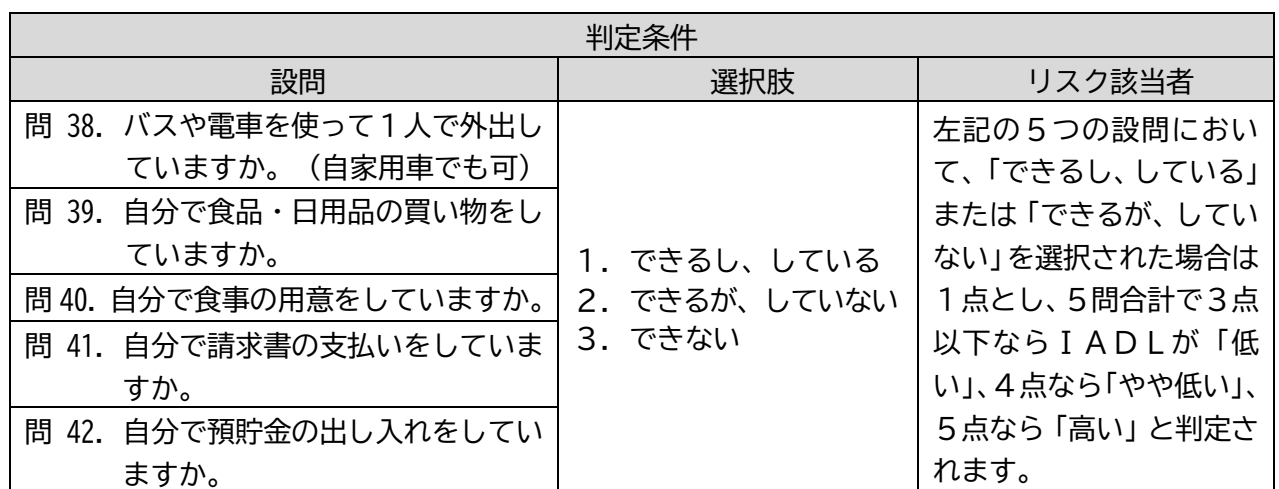
(6) 転倒のリスク

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや高くなっています。

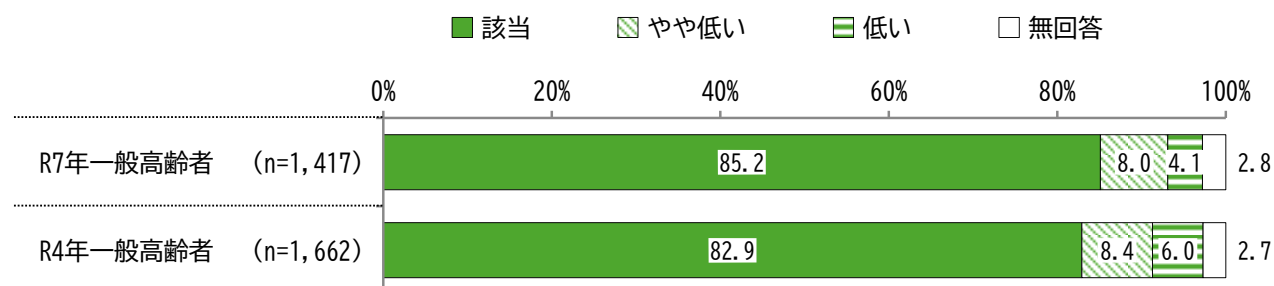


(7) IADL (手段的自立度) のリスク※低下

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや増加しています。



※「IADL」とは、「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、「手段的日常生活動作」と訳されます。例えば、掃除・料理・洗濯・買い物などの家事やコミュニケーション、交通機関の利用、自分の薬の管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う力を意味します。高齢者の自立度を評価する指標として活用されています。



(8) 虚弱のリスク

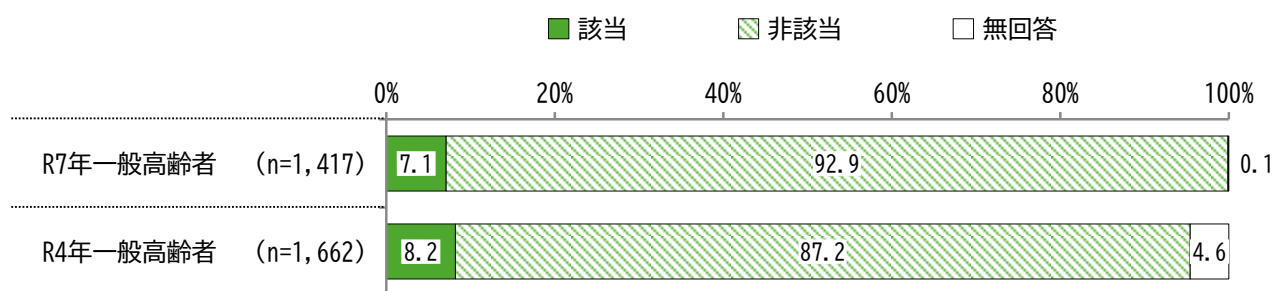
判定条件	
設問	選択肢
問9. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない
問10. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問11. 15分くらい続けて歩いていますか。	
問13. 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問14. 転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
問17. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
問16. 週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
問24. 身長・体重を教えてください。	BMI 指数 < 18.5
問33. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい 2. いいえ
問25. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	
問26. お茶や汁物等でむせることがありますか。	
問27. 口の渇きが気になりますか。	
問34. 物忘れが多いと感じますか。	
問38. バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない
問39. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。	
問42. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	
問36. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい 2. いいえ
問37. 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい 2. いいえ
問51. 友人の家を訪ねていますか。	1. はい 2. いいえ
問52. 家族や友人の相談にのっていますか。	

<リスク該当者>

上記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答されると1点として数え、合計10点以上となる場合。

前回調査と比較すると、リスク該当者はやや減少しています。

年齢別にみると、高齢になるにつれてリスク該当者は増加しています。



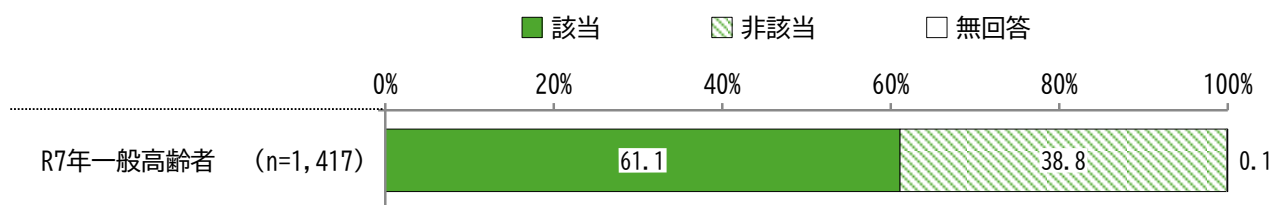
単位：%

		全体	該当	非該当	無回答
年齢別	65～69歳	282	2.5	97.5	0.0
	70～74歳	333	3.9	96.1	0.0
	75～79歳	409	7.6	92.4	0.0
	80～84歳	258	8.9	91.1	0.0
	85～89歳	104	16.3	83.7	0.0
	90歳以上	31	29.0	67.7	3.2

(9) コグニチェックリスト（認知機能低下のリスク）

判定条件			
設問	選択肢	リスク該当者	
問 13. 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を2つ以上回答された場合。	
問 12. 軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。			
問 33. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。			
問 50. 教育・教養番組を視聴していますか。			
問 35. ほかにの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。			
問 44. ビデオやDVDプレーヤーの操作ができますか。			1. はい 2. いいえ
問 45. 携帯電話やパソコンのメールができますか。			
問 58. これまでやってきたことや興味のあることの多くを、最近やめてしまいましたか。			
問 43. ATMを使うことができますか。			
問 53. 家族や友人の役に立っていると思いますか。			

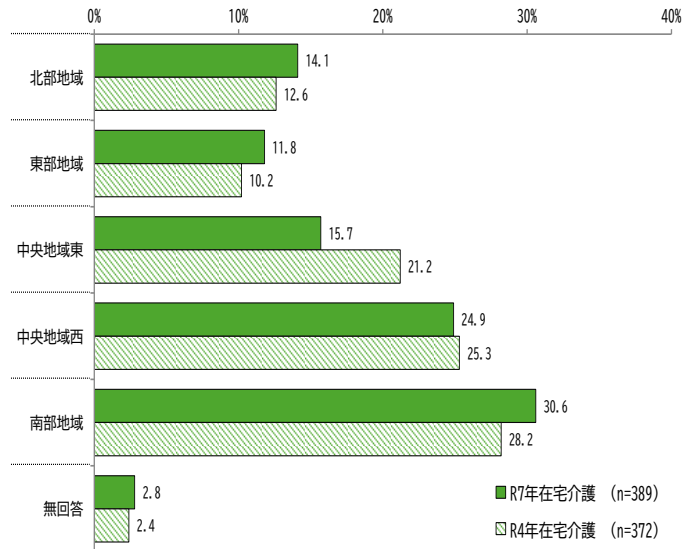
※コグニチェックリストとは、高齢者の方が普段の行動について10個の質問に回答することにより、その方の普段の行動が、認知機能の維持にどの程度望ましい状態であるかを判定するものです。



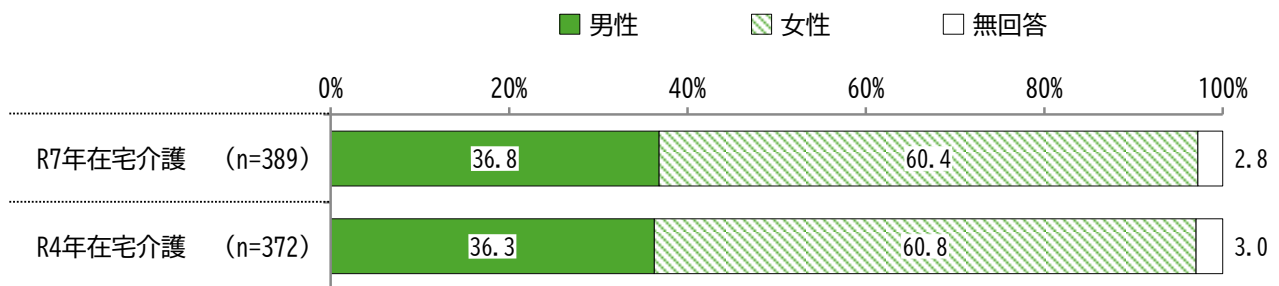
Ⅲ 在宅介護実態調査の結果

令和4年度は認定調査時の聞き取り調査、令和7年度はアンケート送付による調査であるため、調査方法が異なり比較はできないが、参考として併記しています。

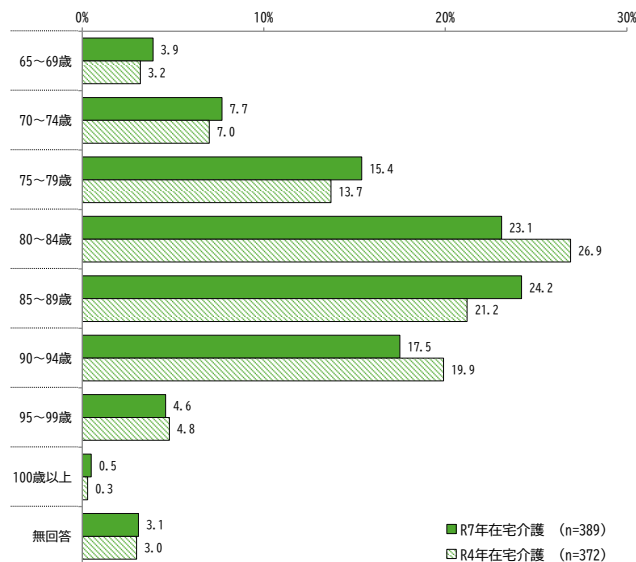
①圏域



②性別

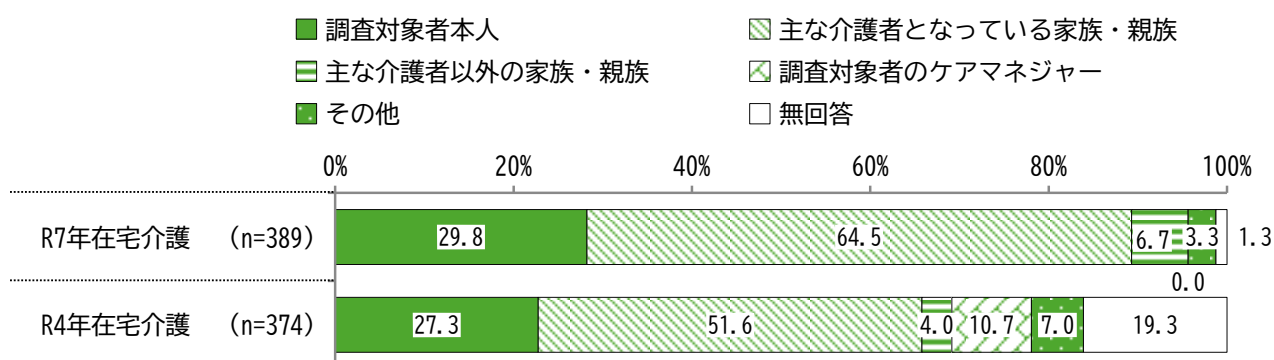


③年齢



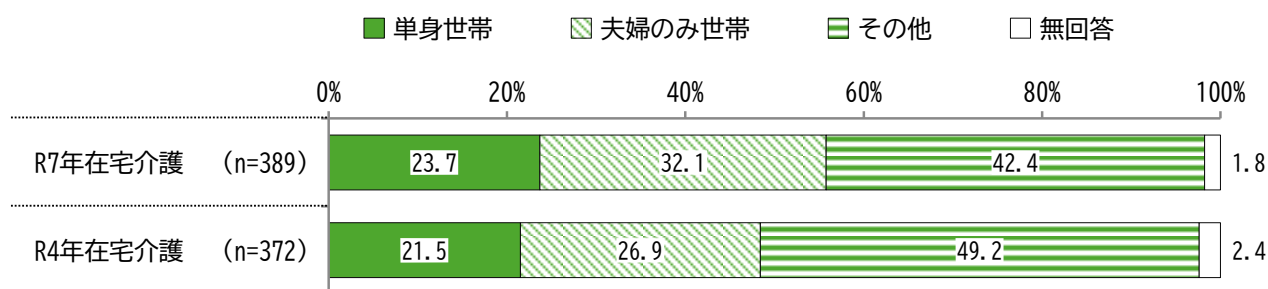
A票 調査対象者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答）

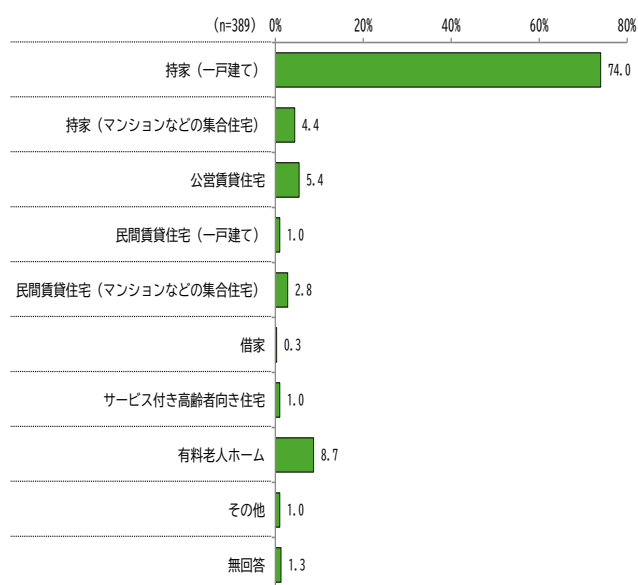


※「調査対象者のケアマネジャー」は令和4年調査のみの選択肢です。

問2 世帯類型について、ご回答ください

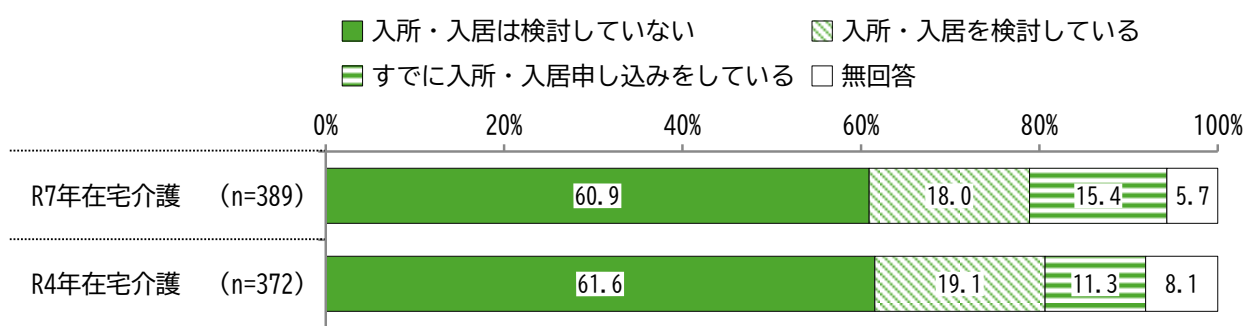


問3 現在のお住まいはどちらですか



問4 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、ご回答ください

要介護度別にみると、要介護1で「入所・入居は検討していない」(75.0%)、要介護4で「すでに入所・入居申し込みをしている」(44.7%)の割合が高くなっています。

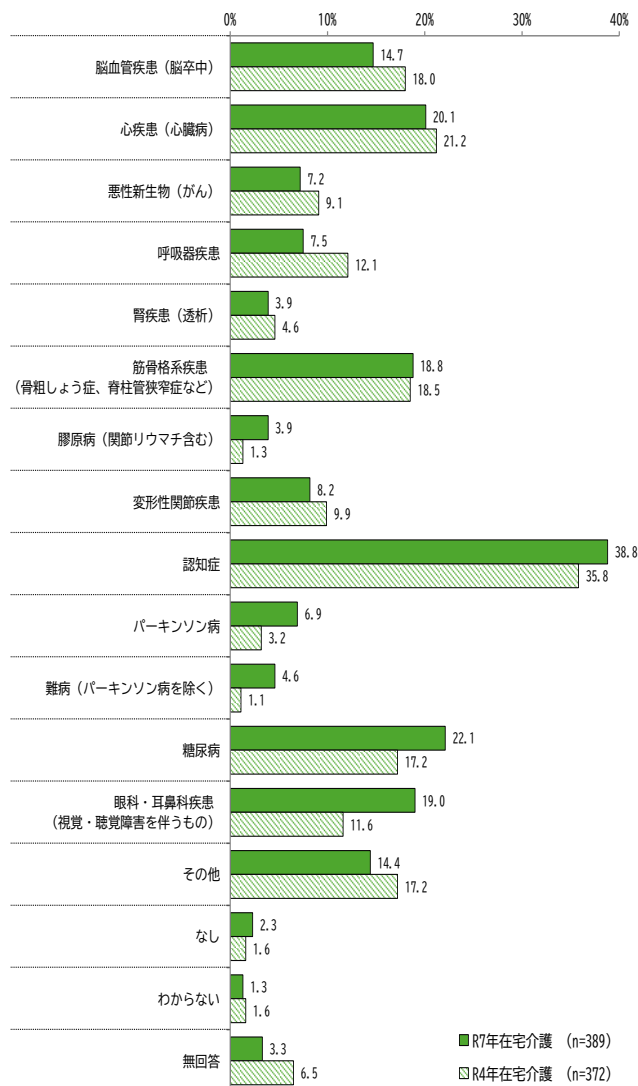


要介護度別

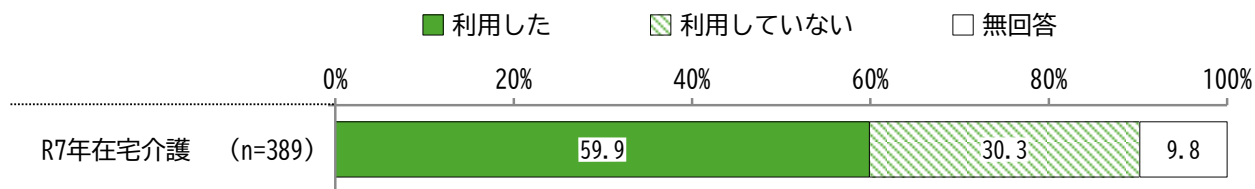
単位：%

		全体	て入 い 所 な い 入 居 は 検 討 し	て入 い る 入 所 ・ 入 居 を 検 討 し	しす 込 み に 入 所 ・ 入 居 申	無 回 答
要 介 護 度 別	要介護1	148	75.0	16.9	5.4	2.7
	要介護2	110	64.5	18.2	12.7	4.5
	要介護3	47	34.0	25.5	27.7	12.8
	要介護4	38	28.9	15.8	44.7	10.5
	要介護5	35	57.1	14.3	20.0	8.6

問5 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択）

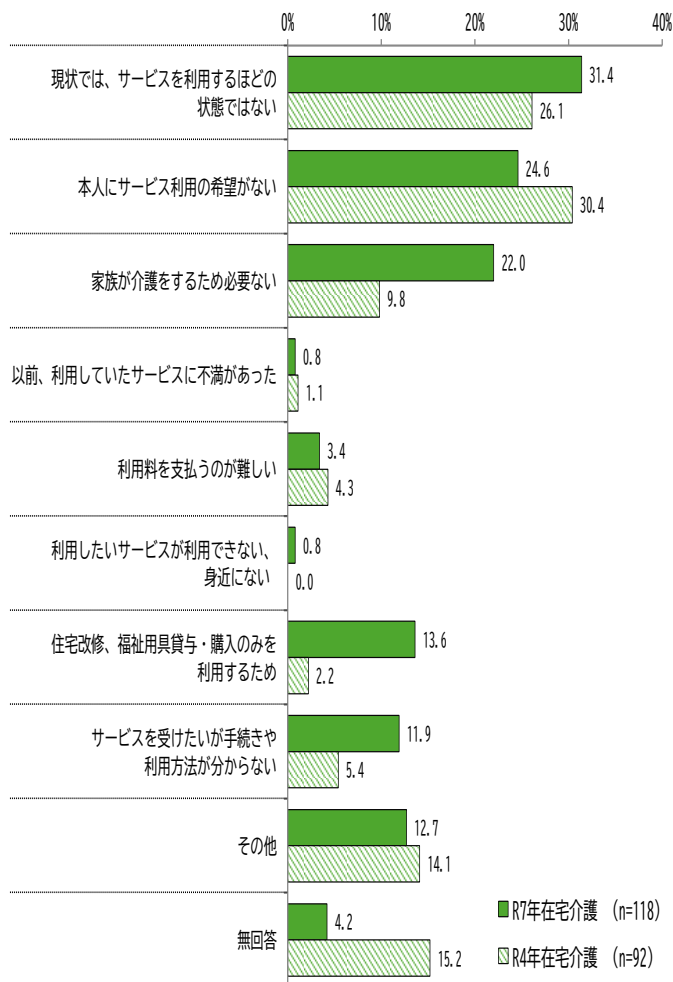


問6 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか



問7 問6で「利用していない」と回答した方にお伺いします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

前回調査と比較すると、「家族が介護をするため必要ない」が12.2ポイント、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が11.4ポイント高くなっています。



介護保険サービスの利用状況

通所介護(デイサービス)で「14回以下」(36.2%)、訪問介護(ホームヘルプ)で「15回以上」(13.6%)の割合が高くなっています。

訪問介護(ホームヘルプ)では、自宅で「利用なし」(85.0%)の割合が高くなっています。また、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅で「15回以上」(77.1%、75.0%)の割合が高くなっており、利用者数が多くなっています。

単位：％

項目	14回以下	15回以上	利用なし	データなし
訪問介護(ホームヘルプ) (n=389)	9.3	13.6	74.3	2.8
訪問入浴介護 (n=389)	2.6	0.0	94.6	2.8
訪問看護 (n=389)	14.7	0.5	82.0	2.8
訪問リハビリテーション (n=389)	7.5	0.5	89.2	2.8
居宅療養管理指導 (n=389)	5.4	0.0	91.8	2.8
通所介護(デイサービス) (n=389)	36.2	9.8	51.2	2.8
通所リハビリテーション (n=389)	6.9	1.3	88.9	2.8
短期入所生活介護(ショートステイ) (n=389)	7.5	0.8	88.9	2.8
短期入所療養介護 (n=389)	0.3	0.0	96.9	2.8
小規模多機能型居宅介護 (n=389)	0.0	0.5	96.7	2.8
看護小規模多機能型居宅介護 (n=389)	0.0	0.3	96.9	2.8

単位：％

	自宅				有料老人ホーム				サービス付き高齢者向け住宅			
	全体	14回以下	15回以上	利用なし	全体	14回以下	15回以上	利用なし	全体	14回以下	15回以上	利用なし
訪問介護(ホームヘルプ)	334	9.0	6.0	85.0	35	8.6	77.1	14.3	8	25.0	75.0	0.0

要介護度別の介護保険サービスの利用状況

訪問介護(ホームヘルプ)で「要介護3～5」(38.3%)、訪問看護で「要介護3～5」(23.3%)、通所介護(デイサービス)で「要介護2」(53.6%)、「要介護3～5」(55.0%)、通所リハビリテーションで「要介護3～5」(14.2%)の割合が高くなっています。

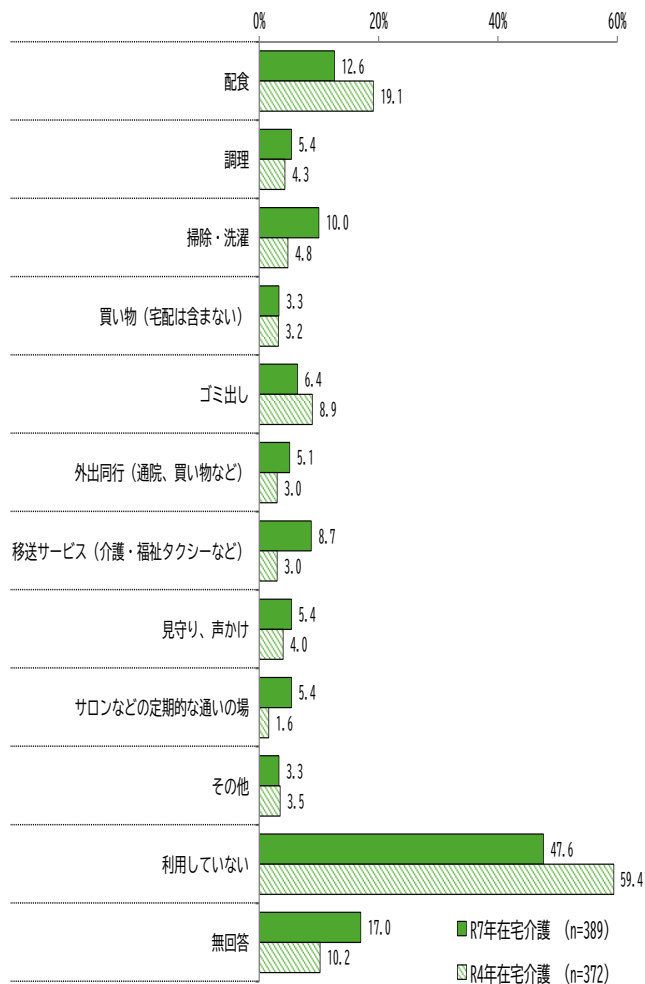
単位：%

項目	要介護1	要介護2	要介護3～5
訪問介護(ホームヘルプ) (n=389)	12.8	21.8	38.3
訪問入浴介護 (n=389)	0.0	0.0	8.3
訪問看護 (n=389)	11.5	12.7	23.3
訪問リハビリテーション (n=389)	2.7	10.9	12.5
居宅療養管理指導 (n=389)	1.4	1.8	14.2
通所介護(デイサービス) (n=389)	36.5	53.6	55.0
通所リハビリテーション (n=389)	6.8	4.5	14.2
短期入所生活介護(ショートステイ) (n=389)	2.0	10.0	15.0
短期入所療養介護 (n=389)	0.0	0.0	0.8
小規模多機能型居宅介護 (n=389)	0.0	0.9	0.8
看護小規模多機能型居宅介護 (n=389)	0.0	0.0	0.8

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

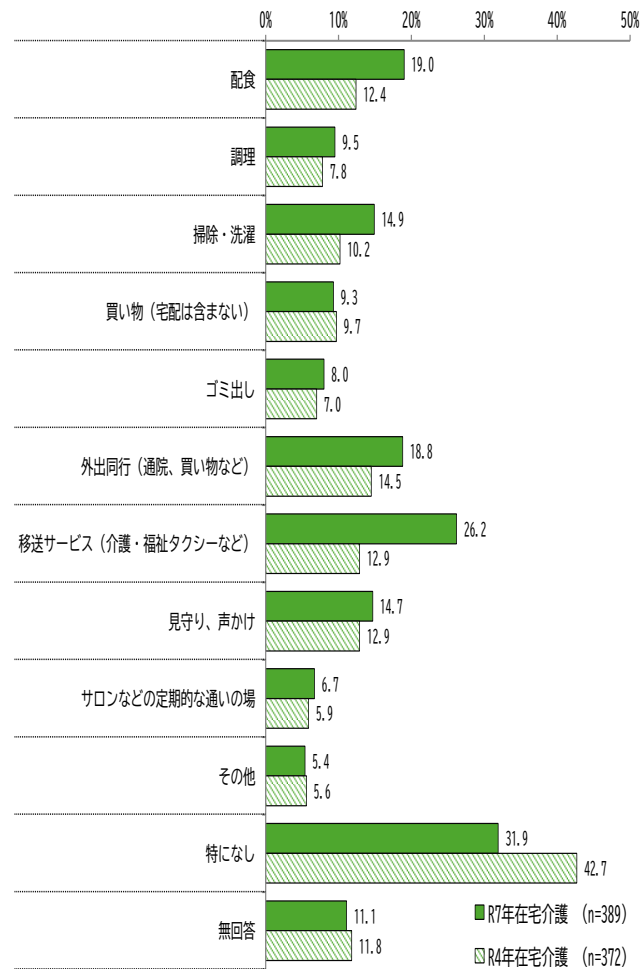
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択）

前回調査と比較すると、「利用していない」が11.8ポイント低くなっています。



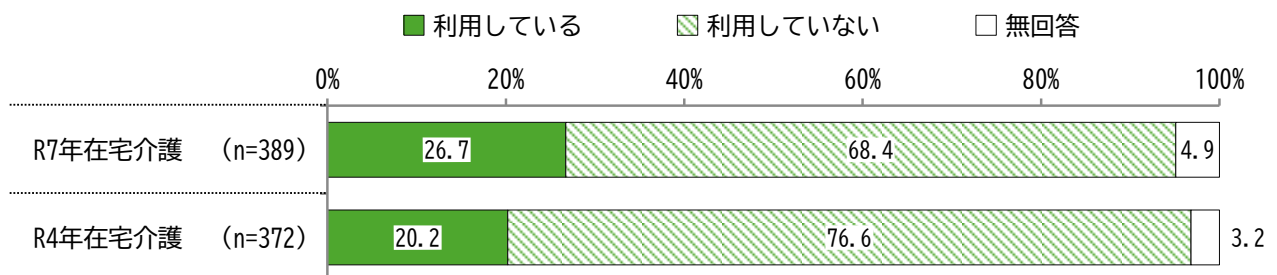
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください
（複数選択）

前回調査と比較すると、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が 13.3 ポイント高くなっています。また、「特になし」が 10.8 ポイント低くなっています。



※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか



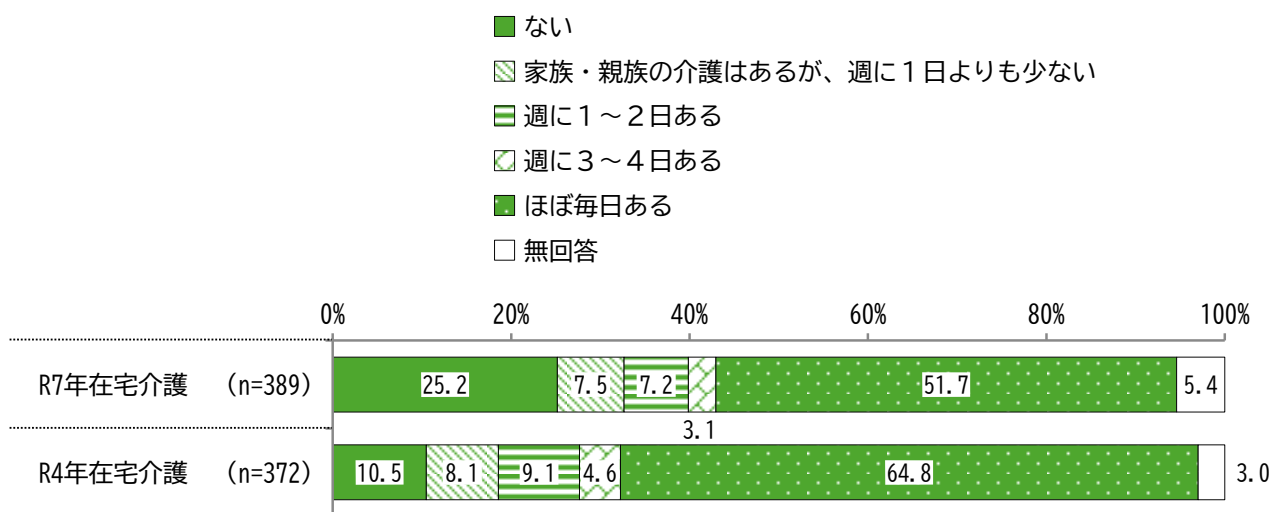
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導などは含みません。

問 11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族などからの介護を含む）

前回調査と比較すると、「ない」が 14.7 ポイント高く、「ほぼ毎日ある」が 13.1 ポイント低くなっています。

要介護度別にみると、すべての介護度で「ほぼ毎日ある」が最も高く、次いで「ない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、東部地域で「ない」(34.8%)、南部地域で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(11.8%)、中央地域東で「週に1～2日ある」(13.1%)の割合が高くなっています。



要介護度・圏域別

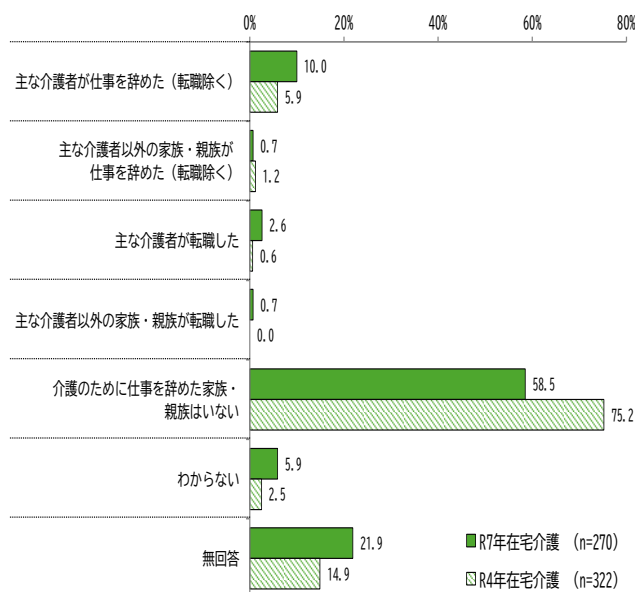
単位：%

		全体	ない	りあ も 少 な い 週 に 1 日 よ は	家 族 ・ 親 族 の 介 護 は あ る が 、 週 に 1 日 よ り も 少 な い	週 に 1 ～ 2 日 あ る	週 に 3 ～ 4 日 あ る	ほ ぼ 毎 日 あ る	無 回 答
要 介 護 度 別	要介護1	148	25.7	8.8	9.5	4.7	46.6	4.7	
	要介護2	110	18.2	7.3	6.4	2.7	58.2	7.3	
	要介護3	47	29.8	6.4	2.1	2.1	57.4	2.1	
	要介護4	38	36.8	7.9	2.6	0.0	44.7	7.9	
	要介護5	35	28.6	2.9	8.6	2.9	54.3	2.9	
圏 域 別	北部地域	55	25.5	0.0	1.8	7.3	58.2	7.3	
	東部地域	46	34.8	6.5	0.0	4.3	52.2	2.2	
	中央地域東	61	16.4	8.2	13.1	1.6	54.1	6.6	
	中央地域西	97	27.8	6.2	8.2	2.1	49.5	6.2	
	南部地域	119	24.4	11.8	7.6	2.5	49.6	4.2	

B票 主な介護者の方について

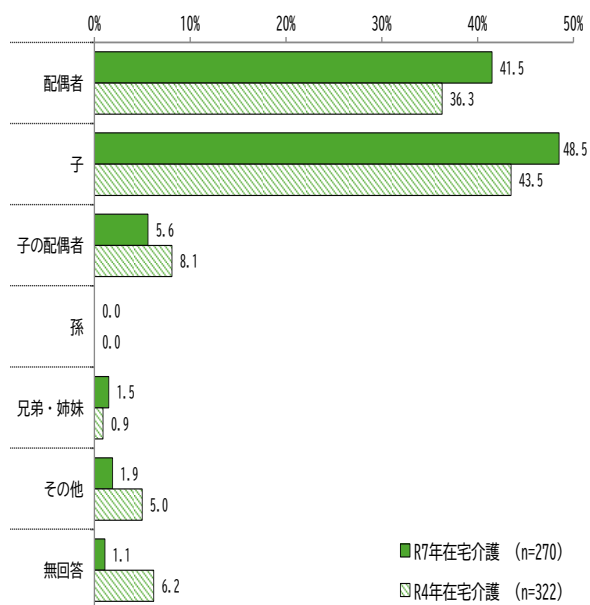
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択）

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が16.7ポイント低くなっています。

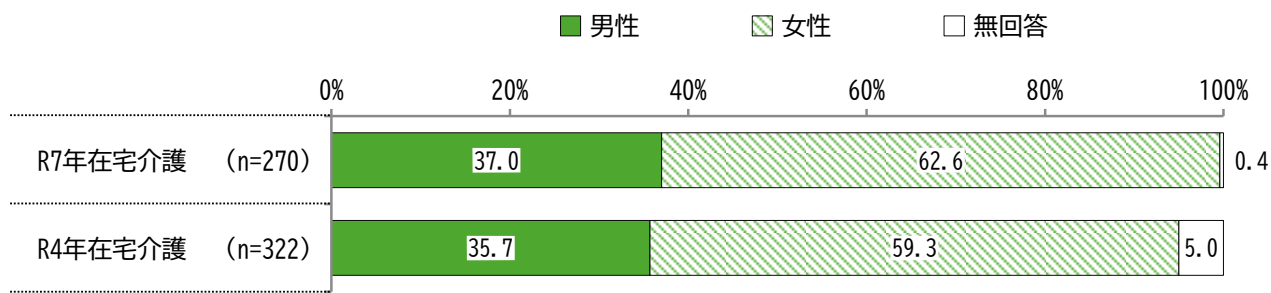


※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか

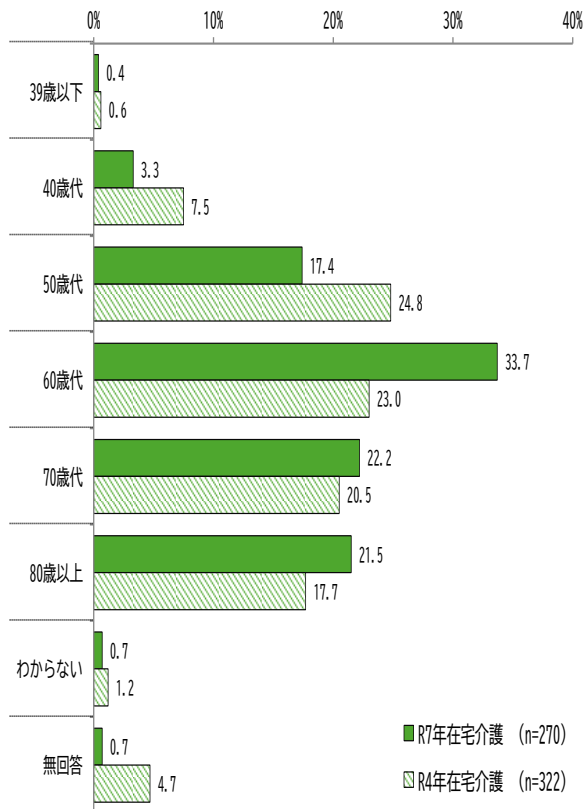


問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください



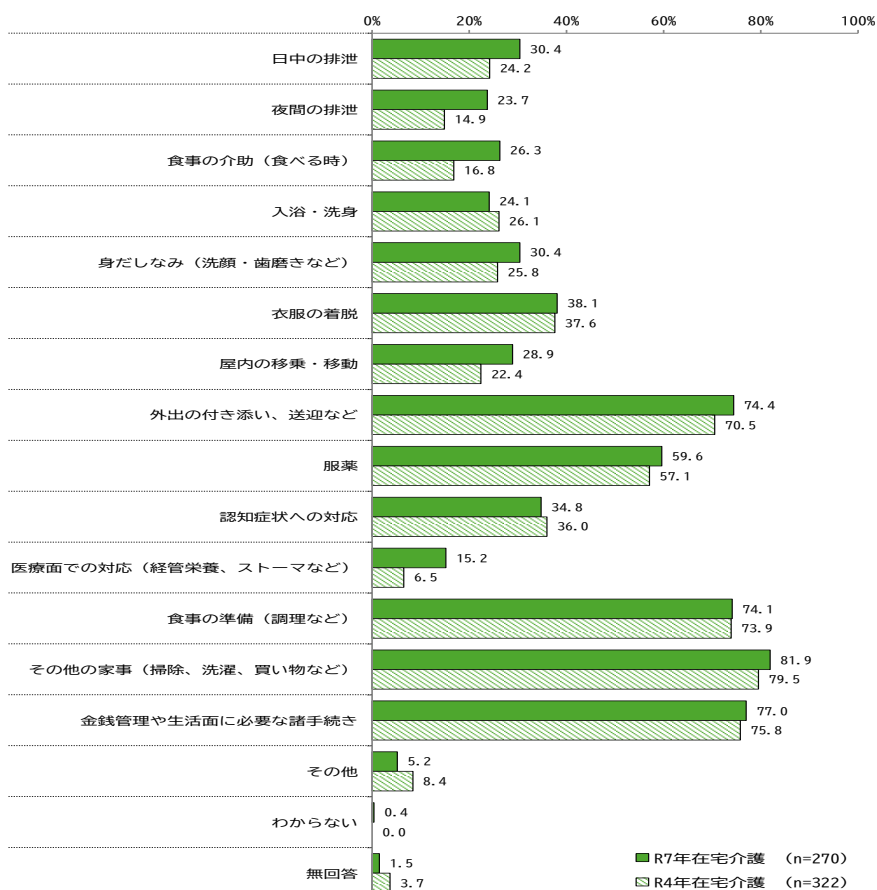
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

前回調査と比較すると、「60歳代」が10.7ポイント高くなっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください
(複数選択)

要介護度別にみると、要介護5で「服薬」(91.7%)、要介護3で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(87.5%)の割合が高くなっています。



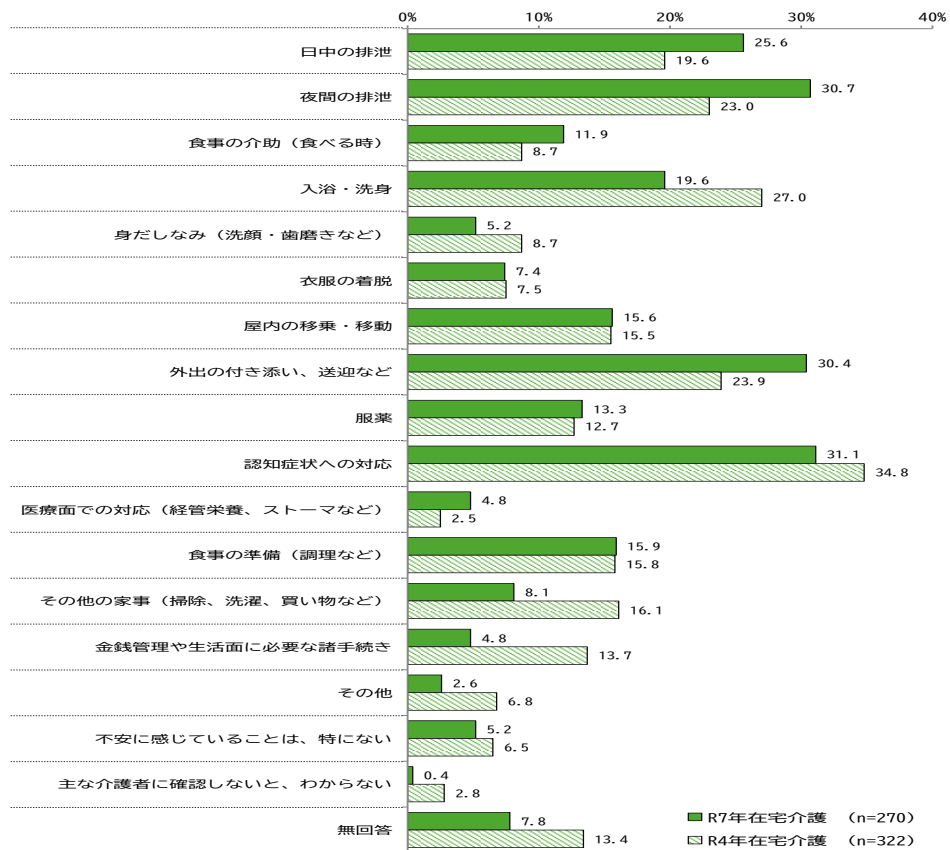
要介護度別

単位：%

	全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨きなど)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎外出の付き添い、送	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマなど)	食事の準備(調理など)	除、洗濯、買い物など	その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
要介護1	103	6.8	8.7	14.6	19.4	17.5	13.6	10.7	83.5	50.5	35.0	13.6	72.8	83.5	80.6	6.8	0.0	1.9	
要介護2	82	25.6	24.4	19.5	26.8	26.8	36.6	29.3	78.0	61.0	31.7	9.8	78.0	85.4	73.2	4.9	0.0	0.0	
要介護3	32	56.3	34.4	37.5	40.6	37.5	59.4	43.8	65.6	65.6	43.8	15.6	81.3	87.5	87.5	6.3	3.1	0.0	
要介護4	21	52.4	42.9	47.6	9.5	38.1	61.9	57.1	61.9	66.7	28.6	9.5	61.9	61.9	76.2	4.8	0.0	4.8	
要介護5	24	83.3	54.2	58.3	12.5	79.2	87.5	62.5	50.0	91.7	41.7	41.7	70.8	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などについて、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択）

要介護度別にみると、要介護5で「日中の排泄」(45.8%)、要介護2、要介護4で「夜間の排泄」(40.2%、47.6%)の割合が高くなっています。



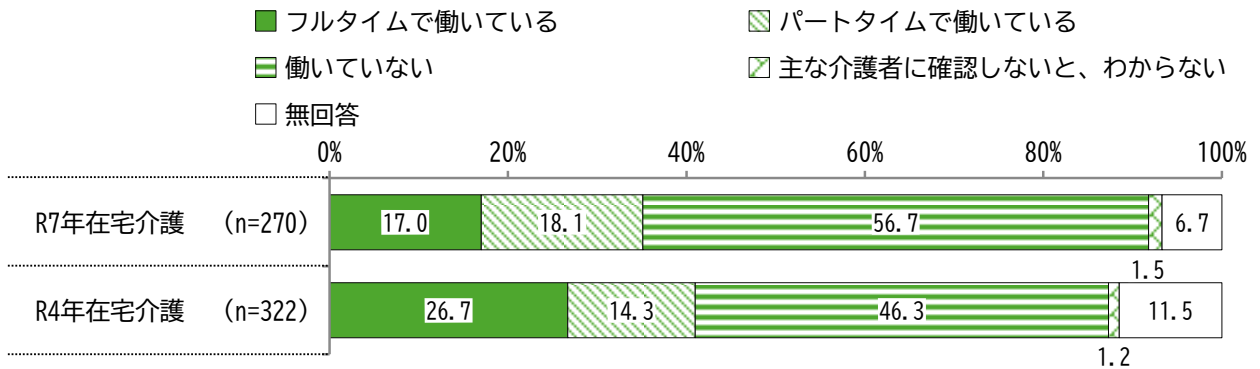
要介護度別

単位：%

	全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎送	外出の付き添い、送迎など	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安を感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護1	103	15.5	19.4	9.7	19.4	3.9	5.8	10.7	37.9	16.5	37.9	5.8	22.3	13.6	2.9	1.0	7.8	0.0	0.0	6.8
要介護2	82	20.7	40.2	8.5	23.2	4.9	8.5	15.9	34.1	14.6	29.3	3.7	19.5	7.3	7.3	6.1	2.4	0.0	0.0	4.9
要介護3	32	37.5	31.3	15.6	18.8	3.1	3.1	21.9	12.5	12.5	34.4	6.3	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	18.8
要介護4	21	38.1	47.6	9.5	14.3	14.3	14.3	23.8	14.3	14.3	23.8	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
要介護5	24	45.8	25.0	25.0	12.5	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	12.5	4.2	4.2	

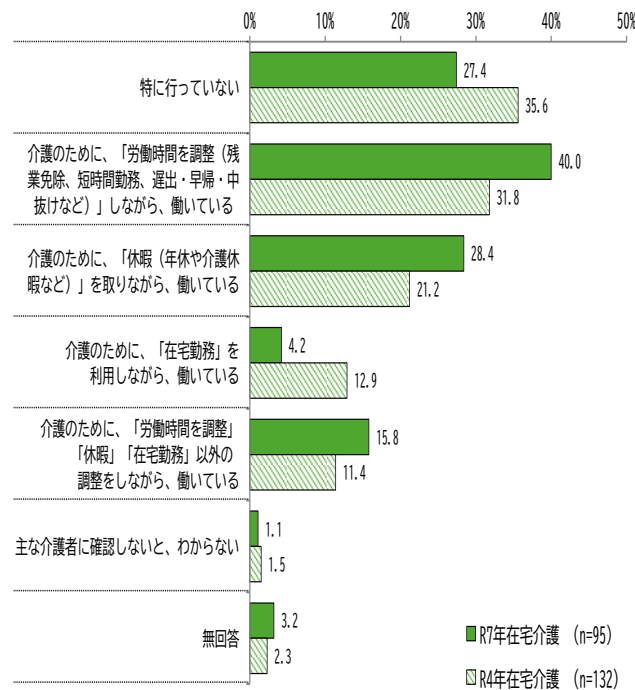
問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

前回比較と比較すると、「働いていない」が10.4ポイント高くなっています。



問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

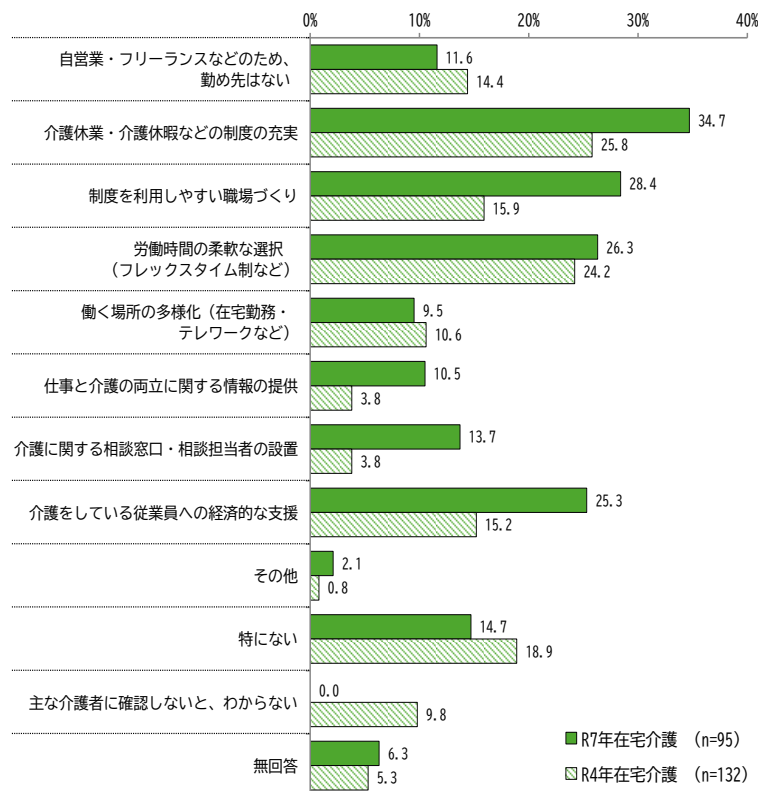
問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか（複数選択）



問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択）

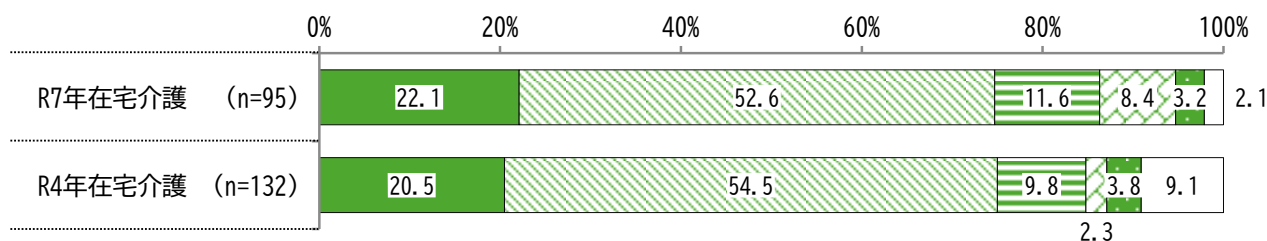
前回調査と比較すると、「制度を利用しやすい職場づくり」が12.5ポイント、「介護をしている従業員への経済的な支援」が10.1ポイント高くなっています。



問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

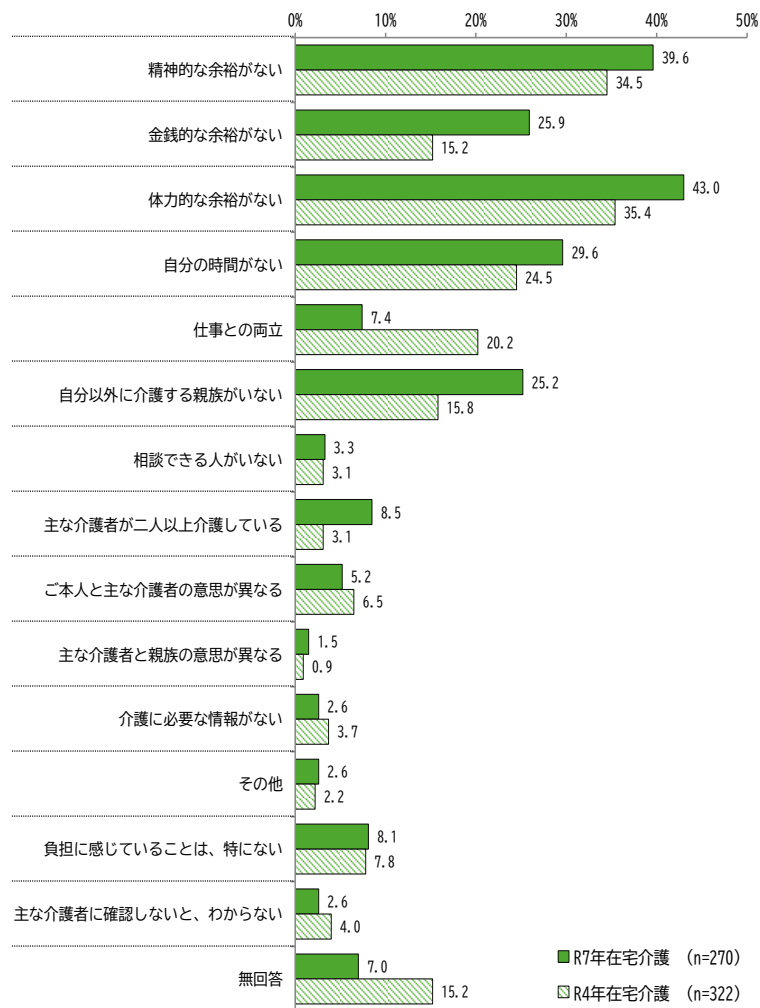


ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 11 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が負担に感じることに
ついて、ご回答ください（3つまで選択）

前回調査と比較すると、「仕事との両立」が12.8ポイント低くなっています。

要介護度別にみると、すべての介護度で「精神的な余裕がない」と「体力的な余裕がない」の割合が高くなっています。

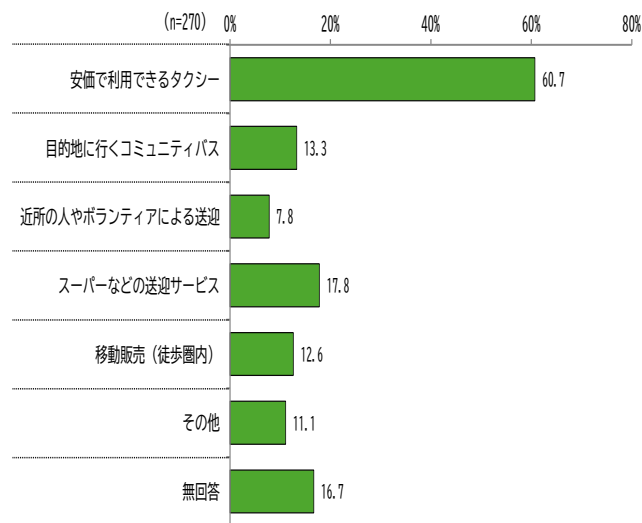


要介護度別

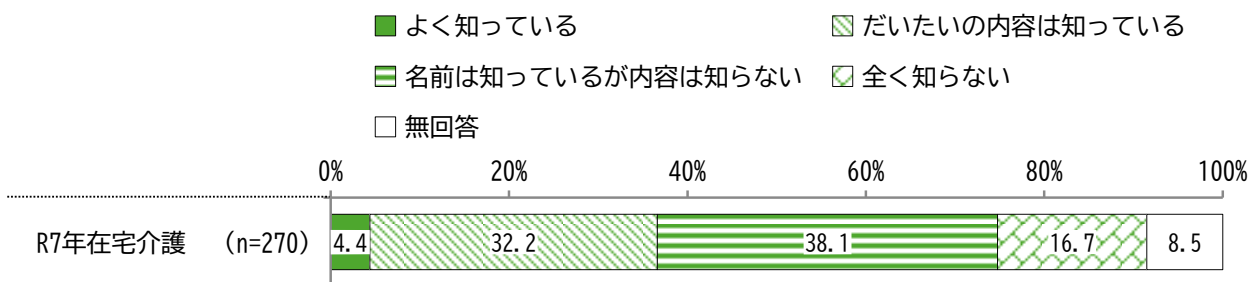
単位：%

	全体	精神的な余裕がない	金銭的な余裕がない	体力的な余裕がない	自分の時間がない	仕事との両立	親族以外に介護する	自分以外に介護する	相談できる人がいない	主な介護者が二人以上介護している	ご本人と主な介護者の意思が異なる	主な介護者と親族の意思が異なる	介護に必要な情報がない	その他	負担に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護1	103	41.7	21.4	38.8	23.3	8.7	23.3	2.9	6.8	3.9	0.0	3.9	2.9	12.6	3.9	6.8	
要介護2	82	41.5	31.7	45.1	30.5	7.3	32.9	4.9	8.5	3.7	1.2	1.2	3.7	6.1	2.4	1.2	
要介護3	32	34.4	34.4	50.0	37.5	9.4	12.5	0.0	15.6	6.3	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	15.6	
要介護4	21	38.1	19.0	42.9	38.1	4.8	9.5	0.0	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	
要介護5	24	33.3	16.7	45.8	37.5	4.2	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	

問12 外出に困ったとき、どんな支援やサービスがあるといいと思いますか
(2つまで選択)



問13 あなたは、成年後見制度を知っていますか



※「成年後見制度」とは、判断能力の不十分な方々を、法律的に保護し、支えるための制度です。

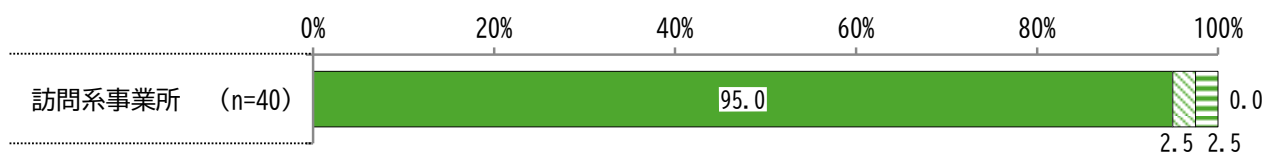
IV 介護人材実態調査の結果

1 事業所票（訪問系/施設・通所系）

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

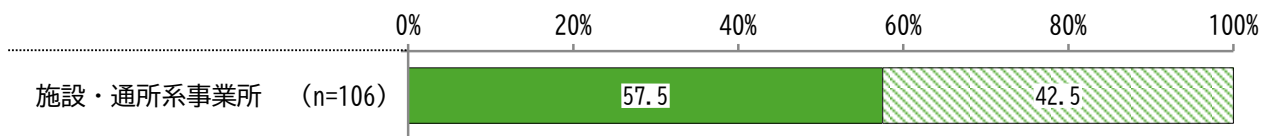
訪問系

- 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- ▨ 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- ▨ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



施設・通所系

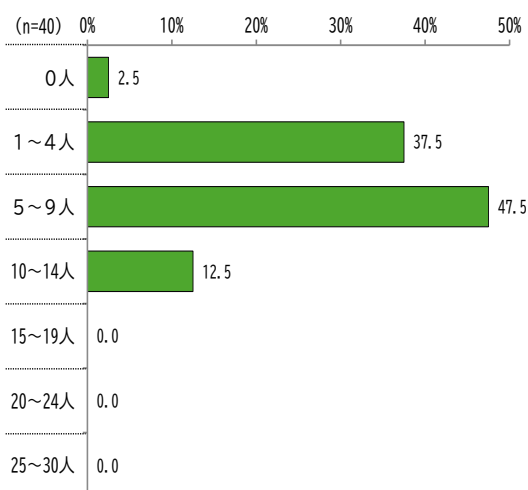
- 施設・居住系サービス
- ▨ 通所系サービス



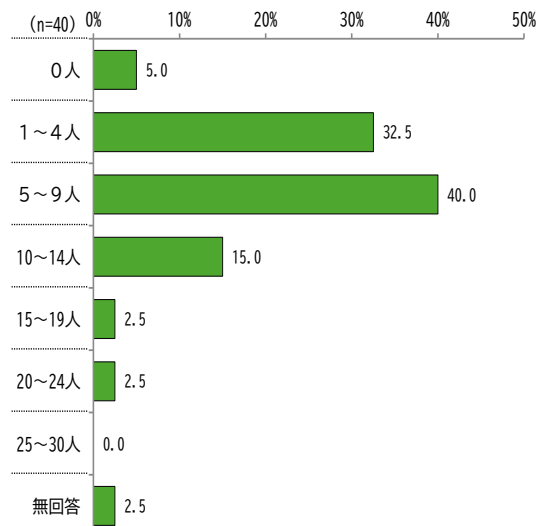
問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

訪問系

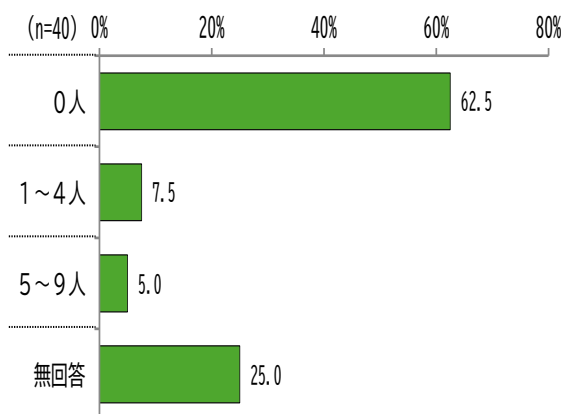
常勤職員



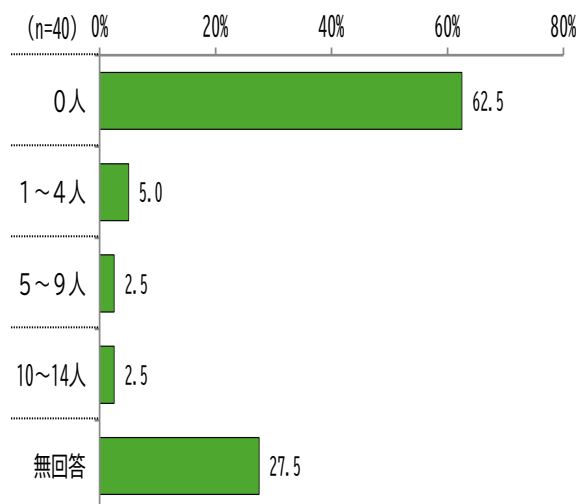
非常勤職員



外国人職員

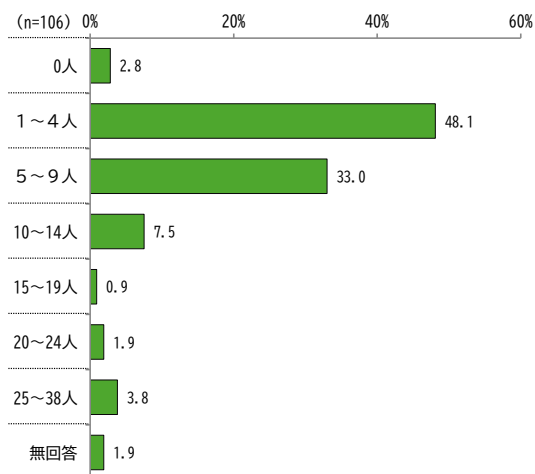


派遣職員

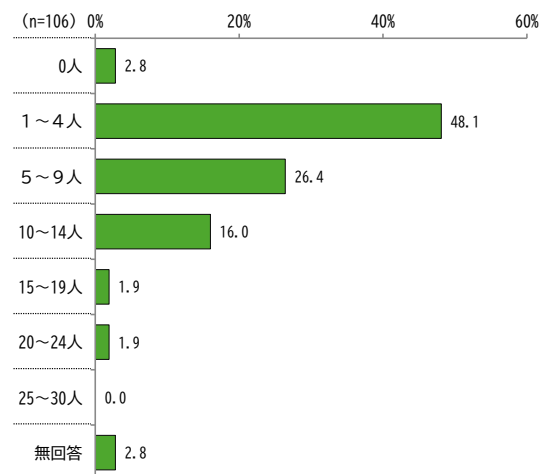


施設・通所系

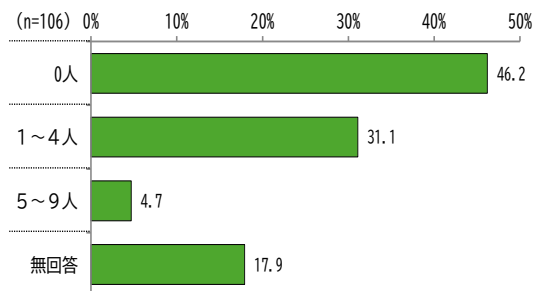
常勤職員



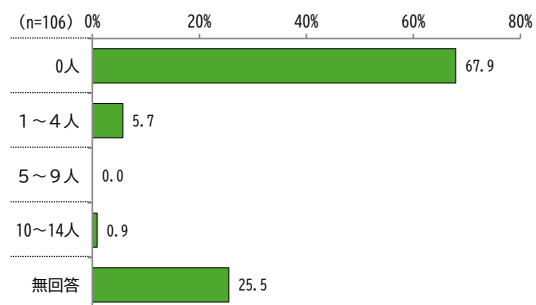
非常勤職員



外国人職員

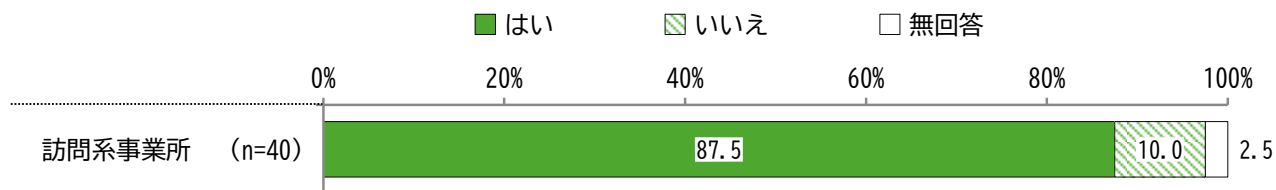


派遣職員

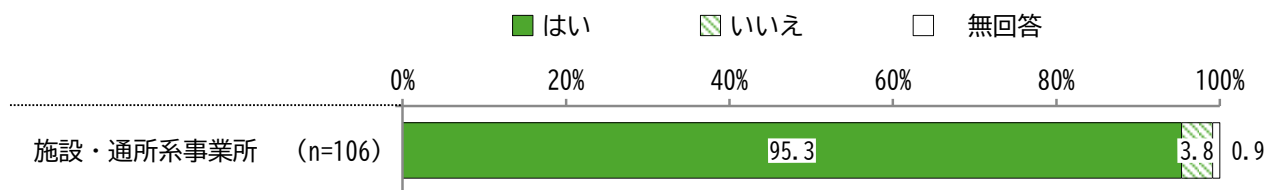


問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

訪問系



施設・通所系



問2-3 令和7年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
 過去1年間（令和年6月10月1日～令和7年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。
 (数値を記入)

採用者数

		回答事業所数 (件)	採用者数合計 (人)	採用者の人数別割合 (%)				
				0人	1人	5人	10人	15人以上
常勤職員	訪問系	35	34	48.6	37.1	2.9	0.0	0.0
	施設系	57	76	36.8	57.9	3.5	0.0	0.0
	通所系	44	31	47.7	43.2	0.0	0.0	0.0
非常勤職員	訪問系	35	75	31.4	40.0	8.6	2.9	2.9
	施設系	57	96	28.1	61.4	8.8	0.0	0.0
	通所系	44	39	43.2	47.7	0.0	0.0	0.0

離職者数

				離職者の人数別割合 (%)		
		回答事業者数 (件)	離職者数合計 (人)	0人	1～4人	5～9人
常勤職員	訪問系	35	29	54.3	34.3	5.7
	施設系	57	72	40.4	47.4	7.0
	通所系	44	23	50.0	40.9	0.0
非常勤職員	訪問系	35	64	20.0	60.0	11.4
	施設系	57	82	28.1	64.9	3.5
	通所系	44	27	56.8	34.1	0.0

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。(自由記述)

※いただいたご意見を集約し、一部抜粋して掲載しています。文意を変えない程度に表現を修正している場合があります。

訪問系

①応募不足・採用困難
・求人サイトで募集をかけてもなかなか面接までつながらない。
②採用コストの高さ
・採用するには、ほとんどの方が紹介業者を経由しているため、採用費がかなりかかる。
③定着の難しさ
・まとまった収入を得たいという希望者にとっては、定着しにくい。
④職員の高齢化
・スタッフの高齢化に伴い担い手不足。
⑤外国人材の課題
・外国人スタッフが急増しているが、言語的コミュニケーションが難しくお互いにストレスが多い。
⑥教育・育成体制の不足
・人材育成への時間捻出が必要。
⑦働く環境(勤務地・立地等)
・短時間やWワーク希望の人が多い。

施設・通所系

①応募不足・採用困難
・求人募集をしてもなかなか応募される方がいない。 ・採用については、ある程度面接で厳選しているが、応募が少ない。また、必要な人材が来ない。
②採用コストの高さ
・成功報酬が非常に高額で、現場としてはとても負担しきれない。
③定着の難しさ
・職場環境などもあると思うが、大体は個人の事情もあると思う。生活のパターンや賃金など、働く方の生活に合う職場であれば、定着するのだと思う。
④職員の高齢化
・職員が徐々に高齢化している。 ・応募者の年齢が高くなってきており、送迎ができる年齢の職員が減ってきている。
⑤外国人材の課題
・一昔前と比べて日本人職員の採用が難しくなっており、特定技能（外国人材）で人材確保を行わなければならなくなっている。
⑥教育・育成体制の不足
・研修制度は会社として取り組むように開催しているが、外部講師などを呼ぶと費用がかかる等が負担。
⑦働く環境（勤務地・立地等）
・瀬戸市郊外に位置しているため、市内中心部から距離があり交通手段が限られている。そのため、自家用車で通勤できる人に限られ、募集をかけてもなかなか応募が集まりにくい状況。
⑧賃金・処遇の課題
・給与の設定（業務内容と収入のバランス）。 ・夜勤ができない職員だと給与が低くなる。

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

※いただいたご意見を集約し、一部抜粋して掲載しています。文意を変えない程度に表現を修正している場合があります。

訪問系

①マッチング・紹介支援
・市が主導で職員の紹介をしてもらえるとありがたい。 ・求人紹介業者は高いので、市独自の介護求人募集の掲示板のようなものがあればいい。
②イベント等の機会
・市内事業所と就職希望者を繋ぐ就職フェアの開催。
③外国人材支援・生活環境整備
・外国人ヘルパーが日本語を学べるサポートがあればいいと思う。
④処遇改善・経済的支援
・ヘルパーの処遇や待遇の低さがあるため、給与を上げてあげたいが、介護保険の単価が低いいため難しい。処遇改善費など、高く設定できるようにしてほしい。

⑤補助金・助成金・採用コストの支援
・人材紹介会社を利用したら、申請ベースで一部補助してほしい。
⑥人材育成・教育体制
・初任者研修や実務者研修など、資格を取得するのに後押しとなるようなサポートをしていただきたい。
⑦情報提供
・介護業界の仕事ややりがいを広く周知するための広報支援や、求職者と事業所をつなぐマッチングの場の提供を期待している。
⑧行政の役割・体制整備
・地域の事業者から意見集約し、地方から国への政策提言や反映を図っていただきたい。

施設・通所系

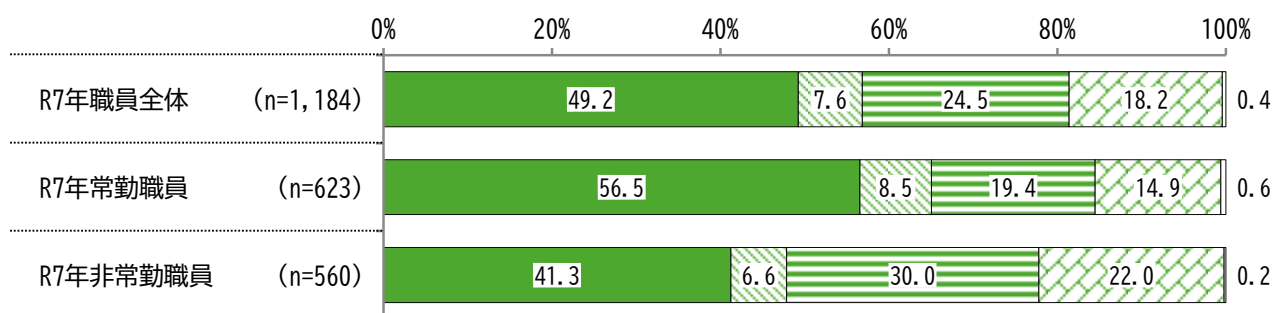
①マッチング・紹介支援
・ハローワークと市町村が連携して職業紹介等のサポートをしていただきたい。 ・人材マッチングサイトの提供(企業側からも希望の働き方や資格を持った方にアプローチできるようなシステムやサイト)。
②イベント等の機会
・潜在介護福祉士の復帰支援や対象者向けの求職者相談会の開催。 ・若い方たちに介護や福祉の魅力を伝える機会を設けていただきたい。
③外国人材支援・生活環境整備
・資格取得支援など市町村独自の取り組みをしてほしい。 ・永住権を持っている外国人に対して資格取得の支援をしてほしい。
④処遇改善・経済的支援
・求人会社への支払い補助や市内事業所への勤務に対するお祝い金の設定などがあるといい。
⑤補助金・助成金・採用コストの支援
・人材確保のための助成金制度。 ・派遣社員の人材確保や研修に対する補助金。
⑥人材育成・教育体制
・資格取得のバックアップ、市主導の資格取得校の創設。 ・保険者や介護事業所の協議会と協力して、一施設ではなく加盟施設の課題として採用、人材育成するシステムはできないか。
⑦情報提供
・職場を選ぶときに、より多く詳しく知ることができるような一覧のパンフレットを作してほしい。

施設・通所のみ

問5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

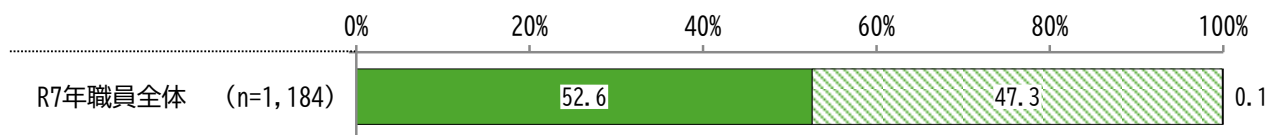
(1) 資格の取得、研修の修了の状況

- 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
- ▨ 介護福祉士実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級
- ▨ 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
- ▨ 上記のいずれも該当しない
- 無回答



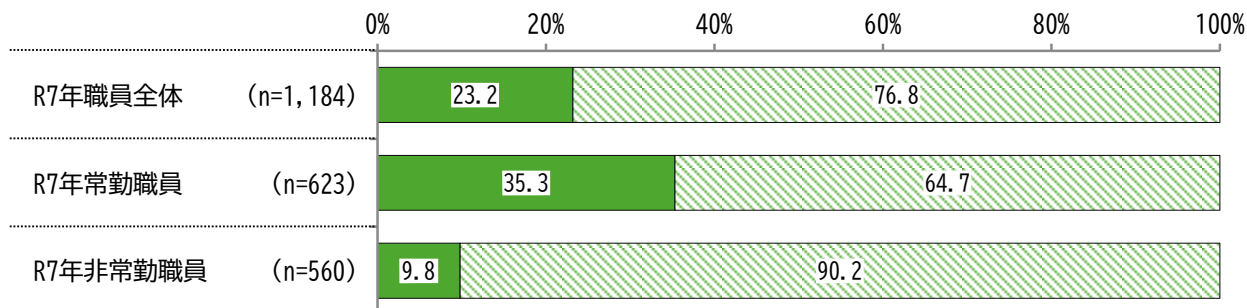
(2) 雇用形態

- 常勤職員
- ▨ 非常勤職員
- 無回答

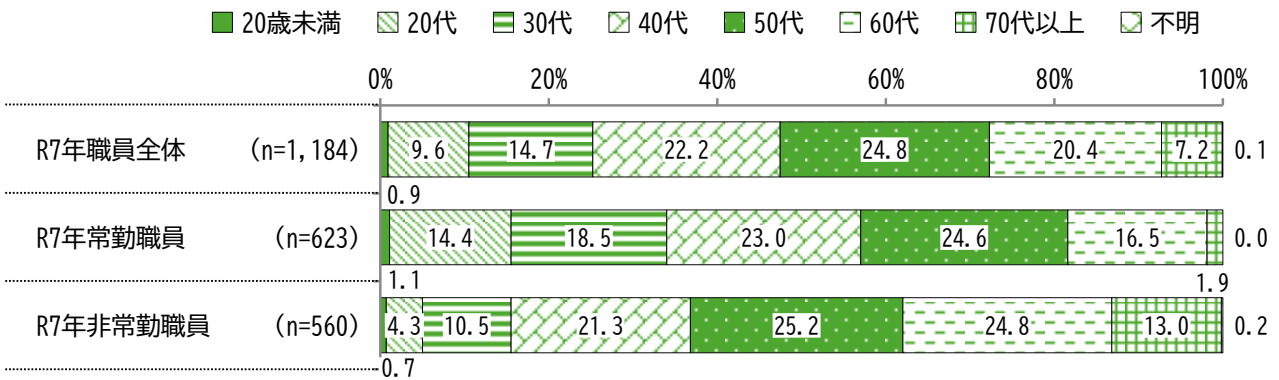


(3) 性別

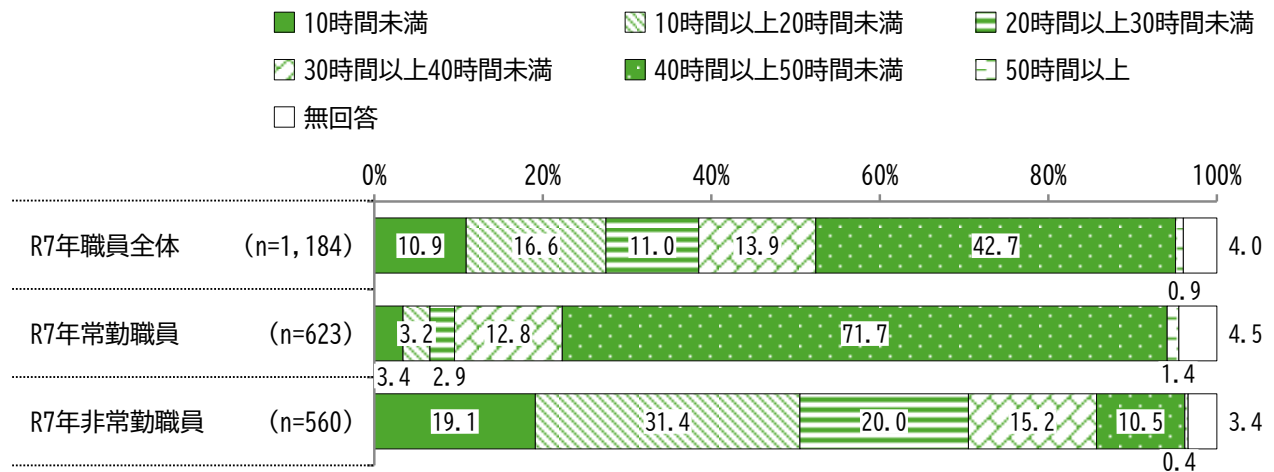
- 男性
- ▨ 女性



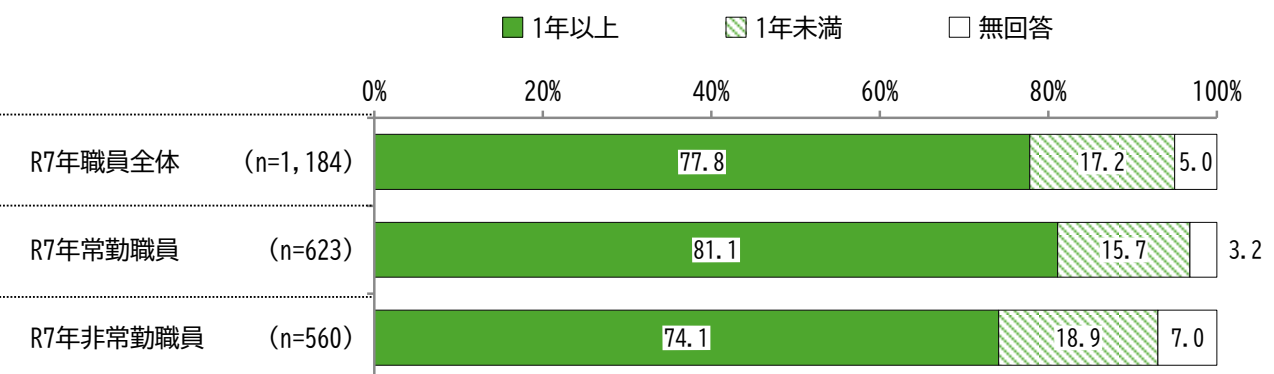
(4) 年齢



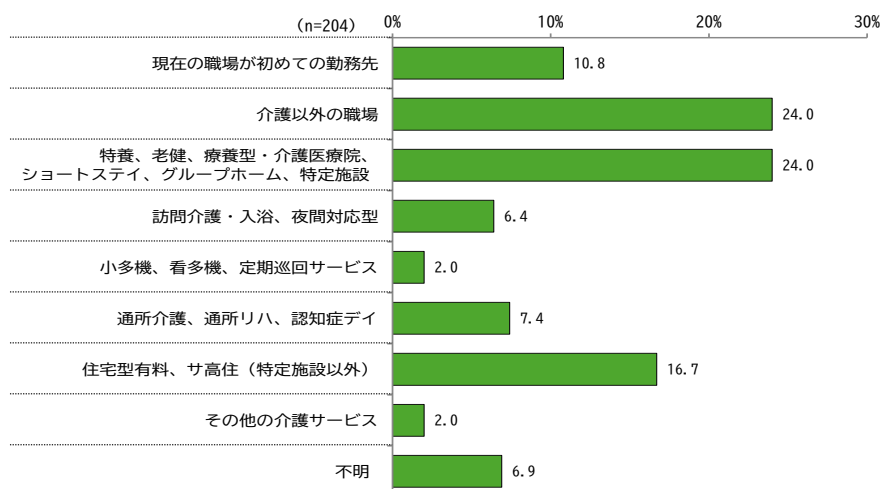
(5) 過去1週間の勤務時間



(6) 現在の施設等での勤務年数

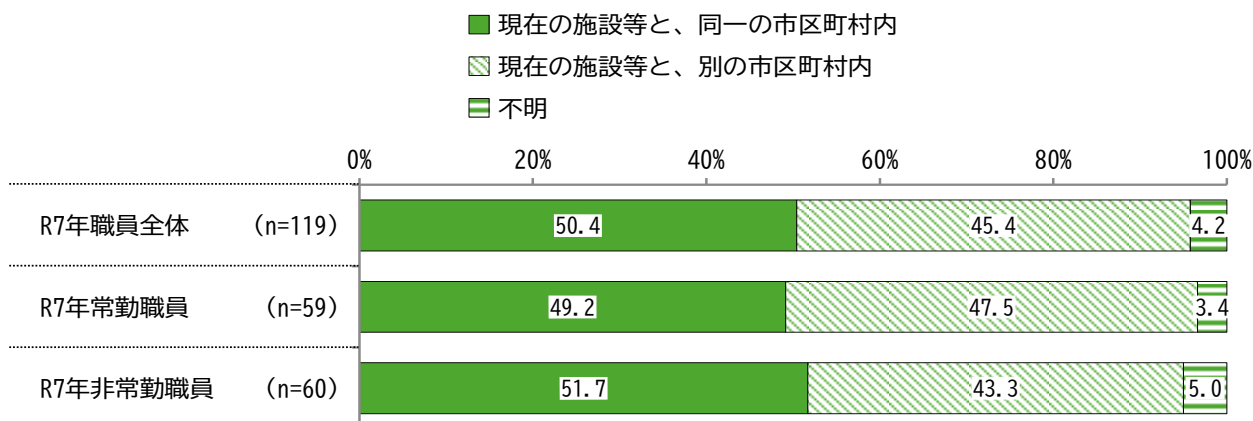


問5（6）で「1年未満」を選択された方にお伺いします
 （7）現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む

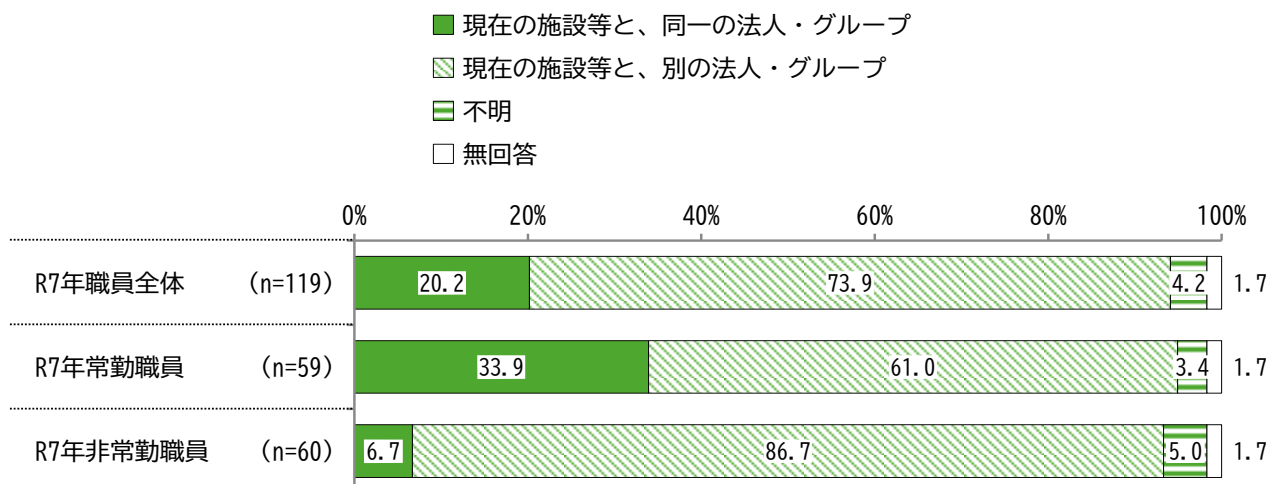


問5（7）で上記の介護サービス「特養～サ高住（特定施設以外）、その他の介護サービス」を選択された方にお伺いします
 （8）直前の職場について

1. 現在の施設等と、同一の市区町村内

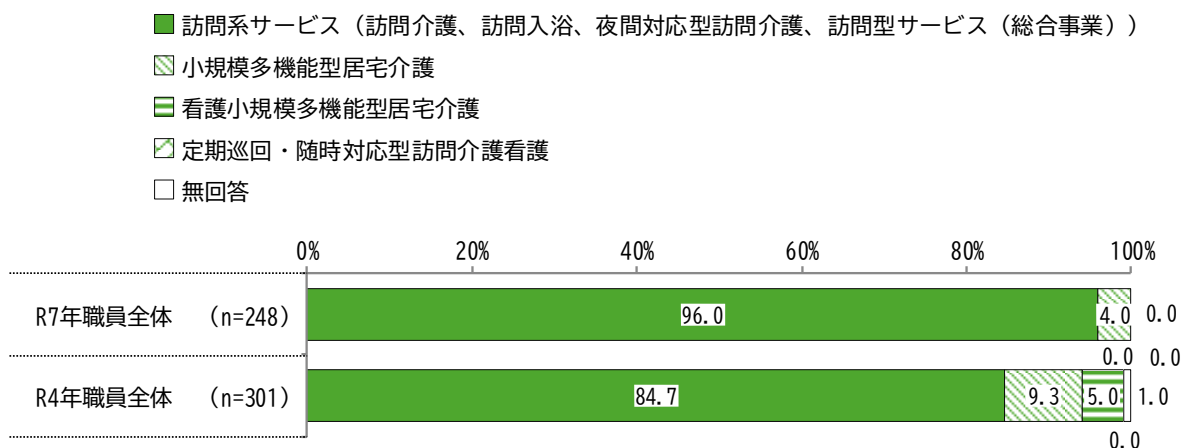


2. 現在の施設等と、同一の法人・グループ



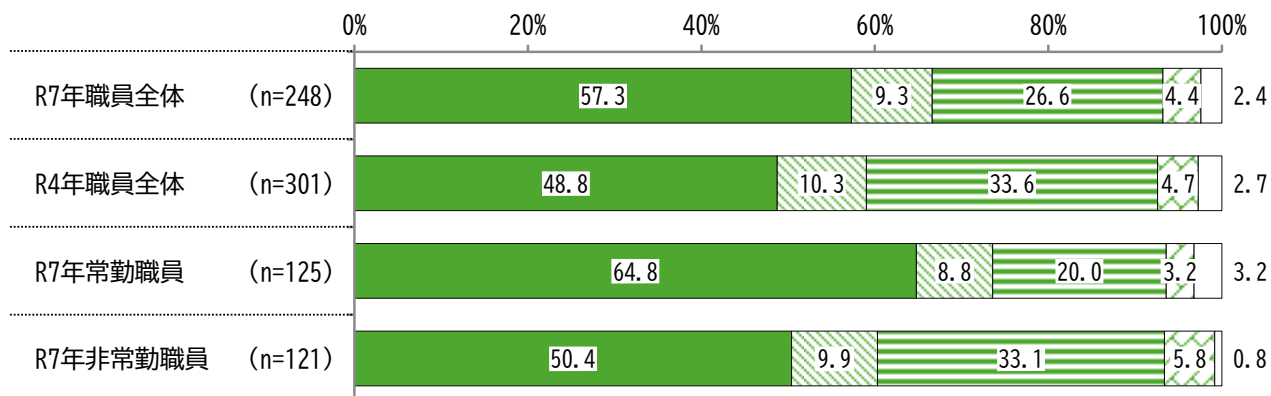
2 職員票（訪問系）

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。



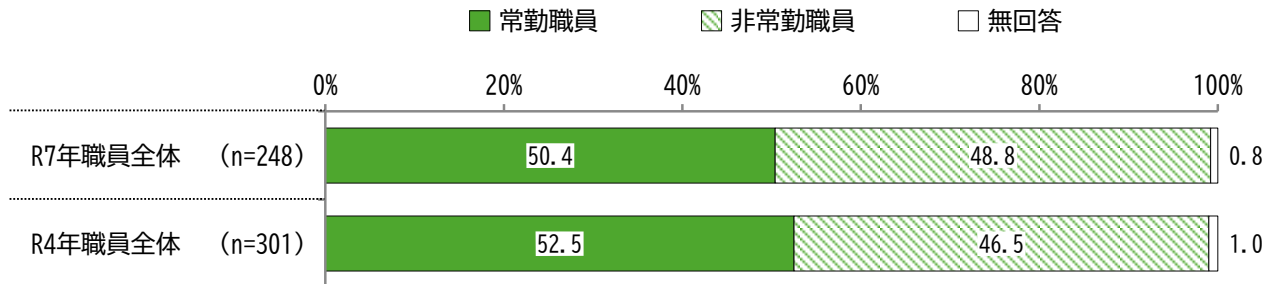
問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。

- 介護福祉士（認定介護福祉士を含む）
 ▨ 介護福祉士実務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
 ▩ 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
 ▧ 上記のいずれも該当しない
 □ 無回答

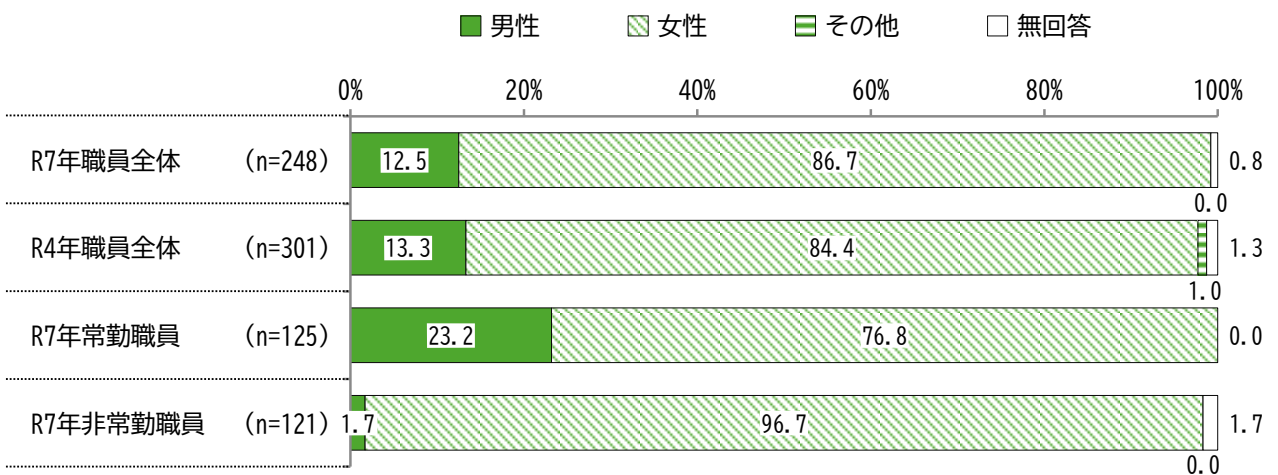


問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態

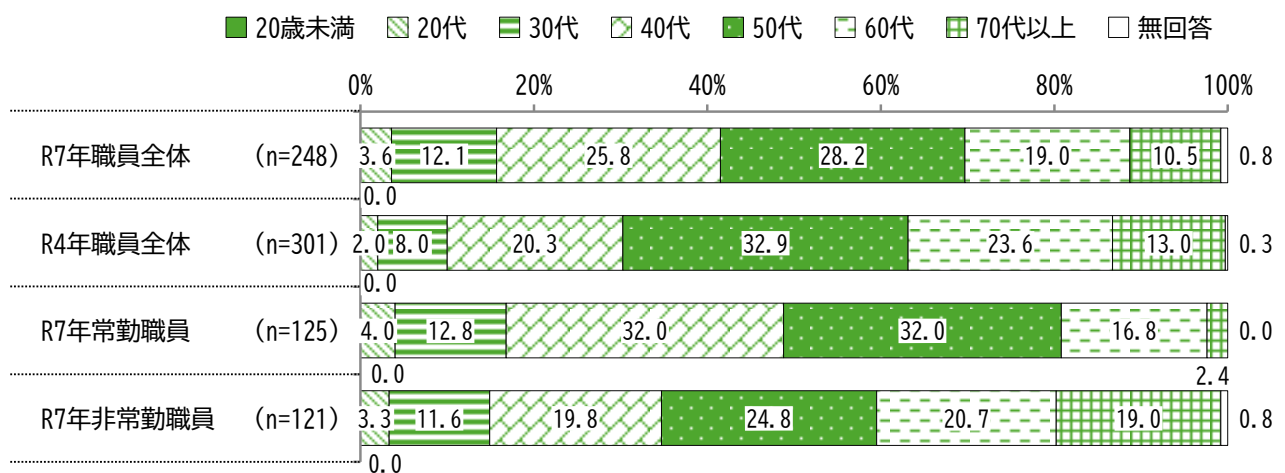


2) 性別



※「その他」は令和4年調査のみの選択肢です。

3) 年齢



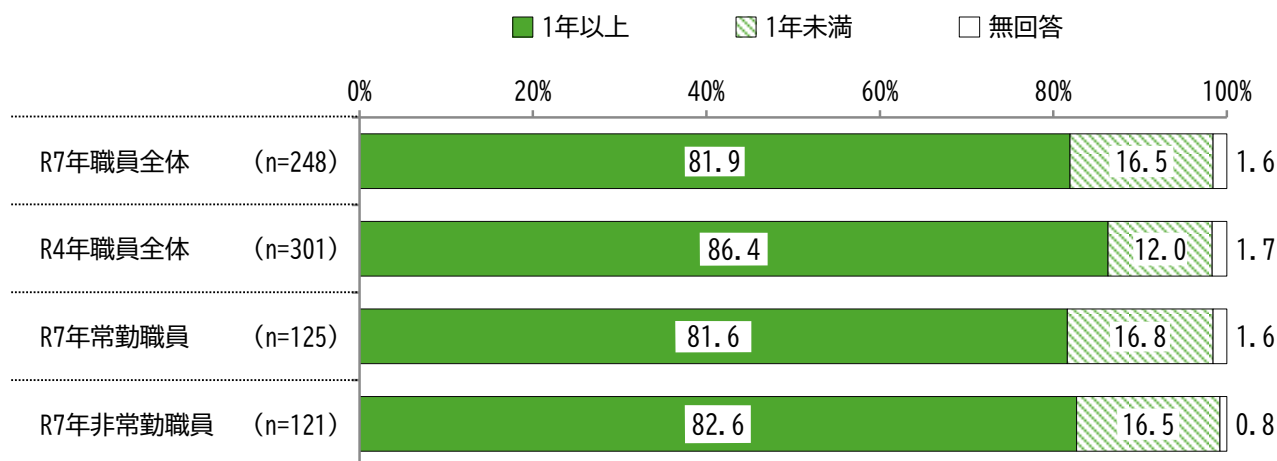
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）※問1で回答した勤務先における時間

前回調査と比較すると、常勤職員で「40時間以上 50時間未満」が25.3ポイント高くなっています。

単位：%

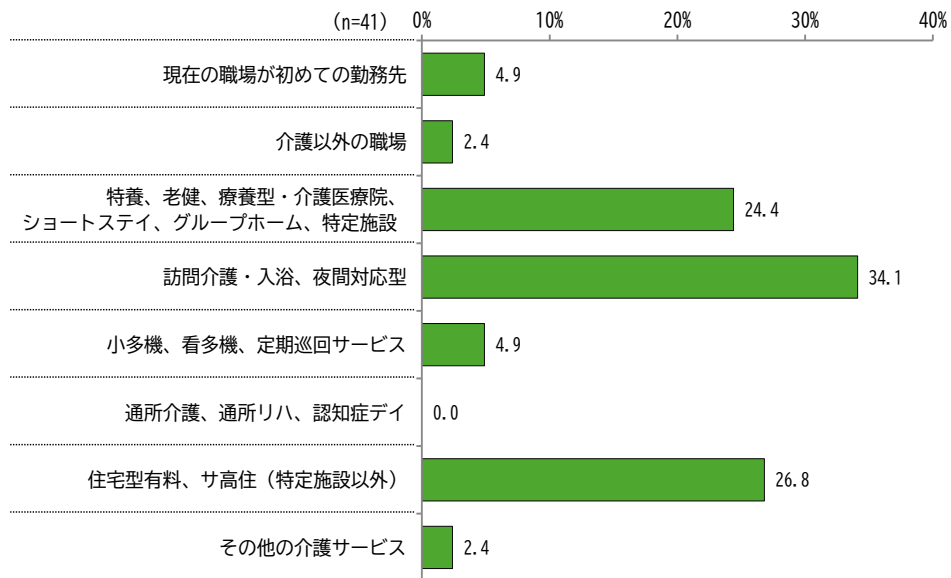
	10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上 30時間未満	30時間以上 40時間未満	40時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
R7年職員全体 (n=248)	17.3	18.5	6.0	10.5	46.0	1.6	0.0
R7年常勤職員 (n=125)	3.2	1.6	0.8	7.2	84.8	2.4	0.0
R4年常勤職員 (n=158)	7.0	9.5	7.6	6.3	59.5	3.2	7.0
R7年非常勤職員 (n=121)	31.4	36.4	11.6	14.0	5.8	0.8	0.0
R4年非常勤職員 (n=140)	27.1	35.0	15.7	10.7	5.7	0.0	5.7

5) 現在の事業所での勤務年数



問4 【問3の5)で「1年未満」と回答された方】

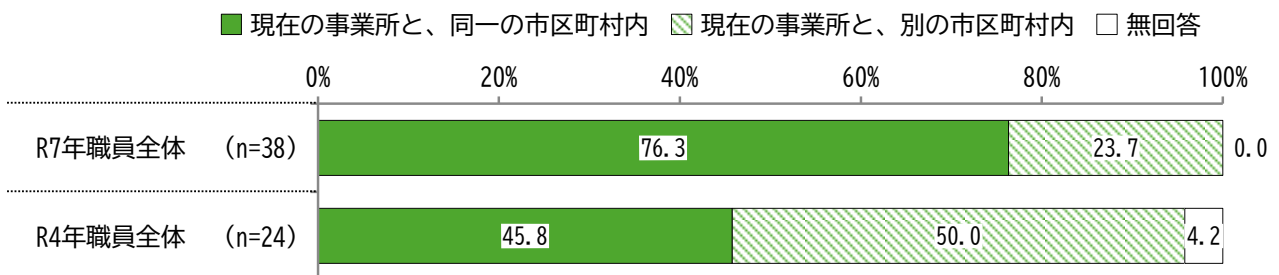
現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。



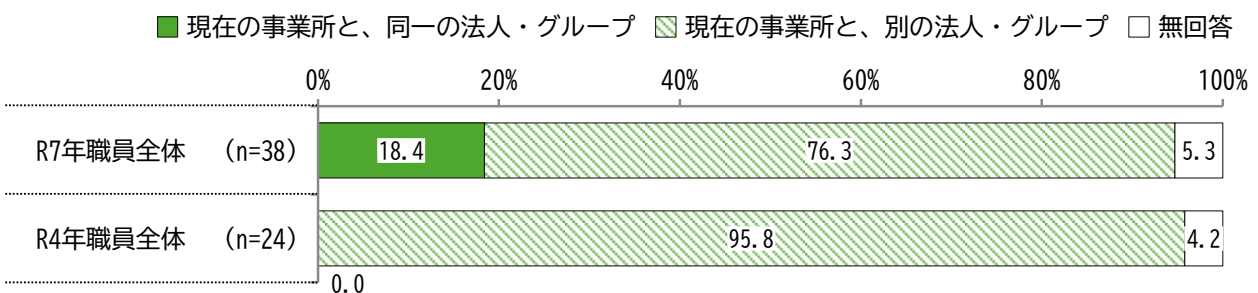
問5 【問4で「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」～「その他の介護サービス」と回答された方】

ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所

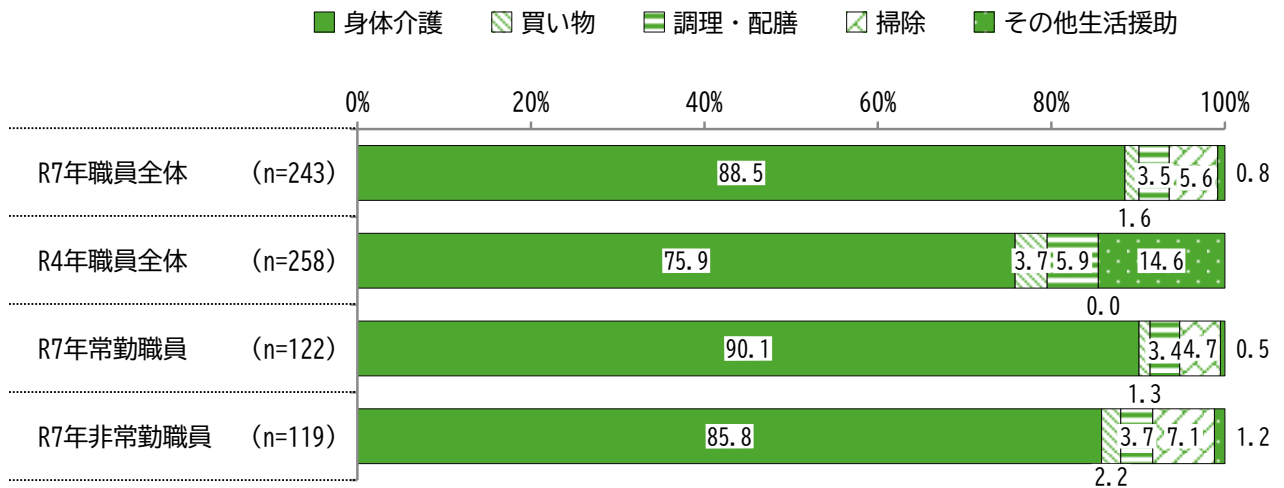


2) 法人



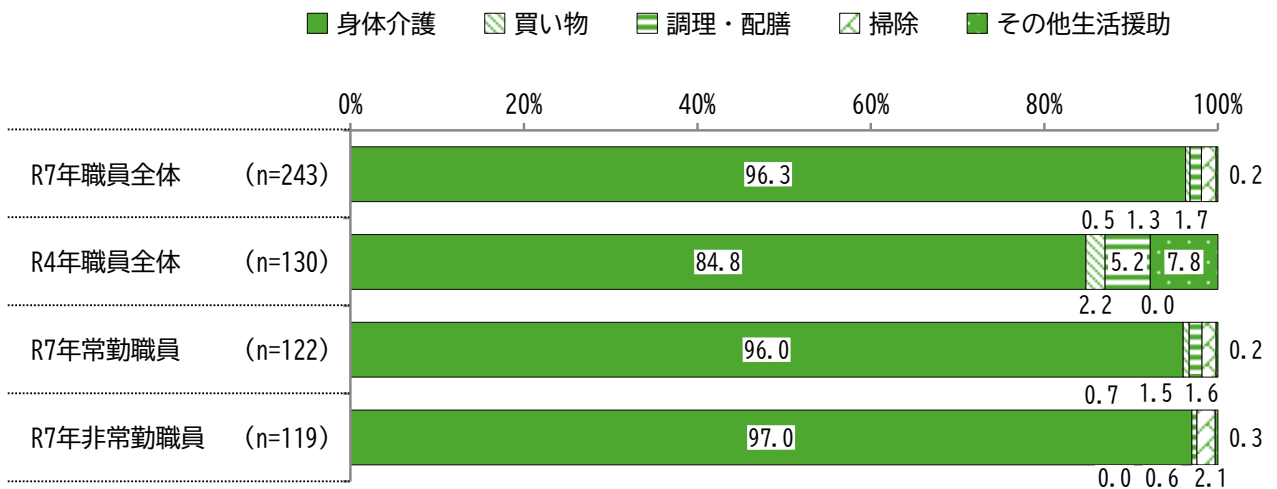
表面の問3「4）過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

介護給付・平日

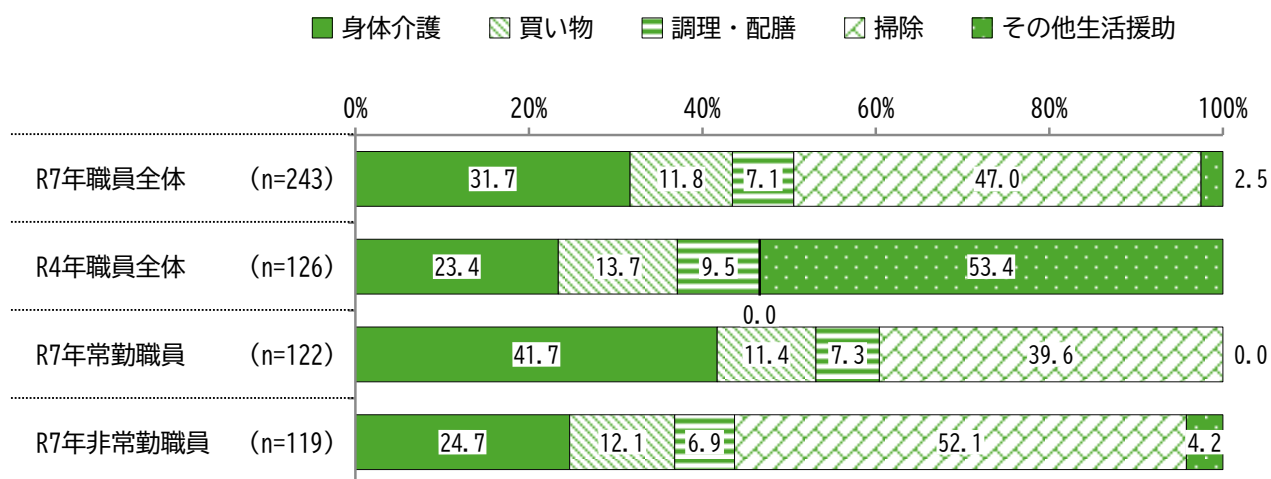


※「掃除」は令和7年調査のみの選択肢です。

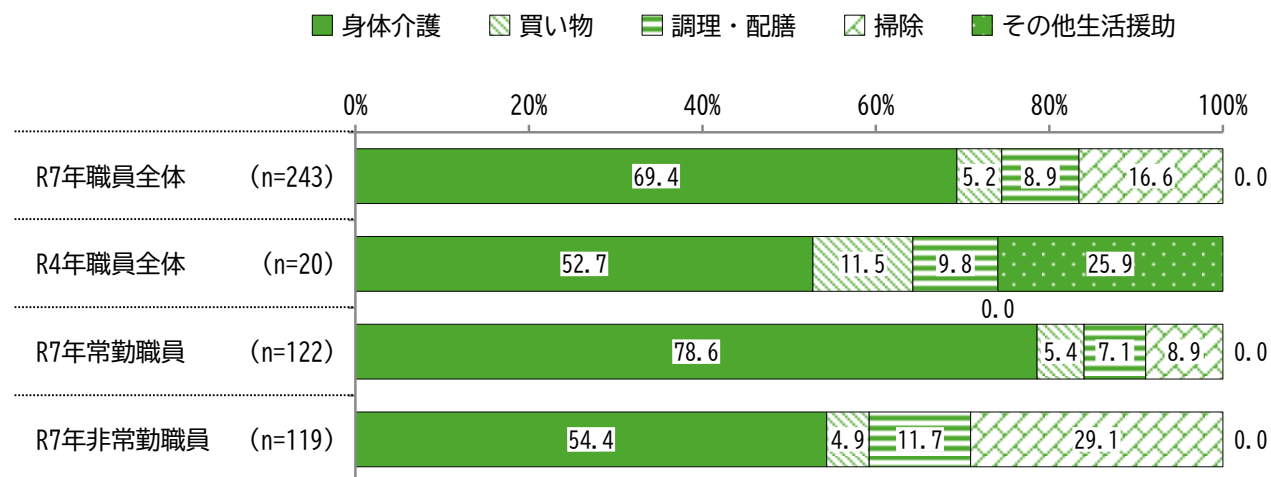
介護給付・土日



予防給付・平日

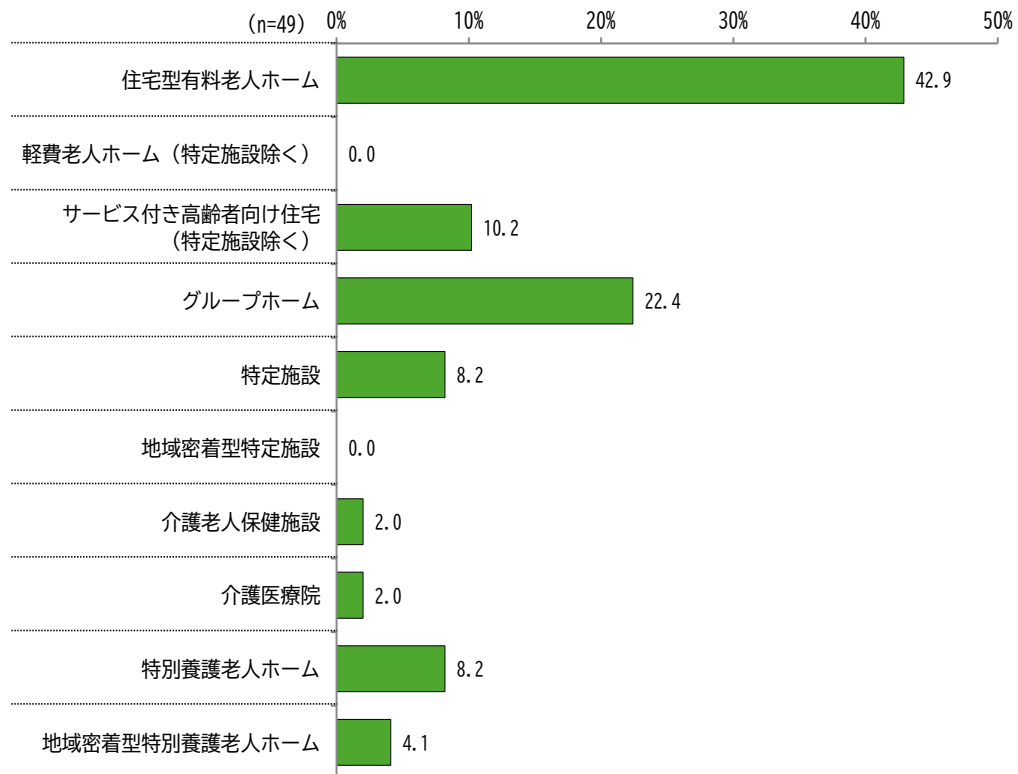


予防給付・土日



V 居所変更実態調査の結果

問1 該当するサービス種別をご回答ください。



問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

	回答施設数 (件)	定員数合計 (人)	入所・入居者数合計 (人)	定員充足率 (%)	待機者数合計 (人)	特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数) 合計 (人)
住宅型有料老人ホーム	21	491	425	86.6	33	10
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	5	126	111	88.1	5	1
グループホーム	11	108	105	97.2	19	3
特定施設	4	141	139	98.6	10	3
介護老人保健施設	1	100	87	87.0	0	0
介護医療院	1	100	95	95.0	0	0
特別養護老人ホーム	4	310	301	97.1	387	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	58	55	94.8	176	0
合計	49	1,434	1,318	91.9	630	17

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。

(数値を記入)

	回答施設数 (件)	入所・入居者 数(人)	入所・入居者数の要介護度の割合 (%)								申請中・不明
			自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
住宅型有料老人ホーム	21	425	0.0	0.7	0.5	10.8	15.8	20.0	29.6	22.4	0.2
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	5	111	4.5	5.4	8.1	15.3	18.0	16.2	21.6	9.9	0.9
グループホーム	11	105	0.0	0.0	0.0	15.2	38.1	21.9	16.2	8.6	0.0
特定施設	4	139	0.0	7.9	5.8	23.0	20.9	16.5	12.2	13.7	0.0
介護老人保健施設	1	87	0.0	0.0	0.0	10.3	11.5	19.5	34.5	24.1	0.0
介護医療院	1	95	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	43.2	50.5	1.1
特別養護老人ホーム	4	301	0.0	0.0	0.0	1.3	2.0	16.9	36.2	22.9	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	47.3	36.4	14.5	0.0
合計	49	1,318	0.4	1.5	1.4	9.4	13.1	18.8	29.1	21.2	0.2

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。

(あてはまる項目全てに○)

	回答施設数 (件)	入所・入居者 合計(人)	医療処置が必要な利用者の受け入れが可能な割合(%)							
			点滴の 管理	中心 静脈 栄養	透 析	ス ト ー マ の 処 置	酸 素 療 法	レ ス ピ レ ー タ ー	気 管 切 開 の 処 置	疼 痛 の 看 護
住宅型有料老人ホーム	21	425	42.9	28.6	38.1	52.4	66.7	4.8	14.3	23.8
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	5	111	20.0	20.0	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	20.0
グループホーム	11	105	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	0.0	0.0	18.2
特定施設	4	139	50.0	25.0	100.0	100.0	100.0	25.0	25.0	50.0
介護老人保健施設	1	87	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
介護医療院	1	95	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
特別養護老人ホーム	4	301	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
合計	49	1,318	32.7	20.4	32.7	46.9	59.2	8.2	12.2	26.5

	回答施設数 (件)	入所・入居者 合計(人)	医療処置が必要な利用者の受け入れが可能な割合(%)							無 回 答
			経 管 栄 養	モ ニ タ ー 測 定	褥 瘡 の 処 置	カ テ ー テ ル	喀 痰 吸 引	イン ス リ ン 注 射	医 上 療 処 に 対 応 は な い 可 能 な	
住宅型有料老人ホーム	21	425	66.7	4.8	66.7	28.6	47.6	52.4	9.5	4.8
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	5	111	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0
グループホーム	11	105	9.1	0.0	54.5	27.3	0.0	18.2	27.3	9.1
特定施設	4	139	50.0	0.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	1	87	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	95	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	4	301	50.0	0.0	100.0	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	55	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
合計	49	1,318	46.9	6.1	63.3	36.7	36.7	40.8	10.2	6.1

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。

(数値を記入)

医療処置を受けている入所・入居者は 204 人となっています。

問6 過去1年間(令和6年10月1日~令和7年9月30日)に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。(数値を記入)

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。(数値を記入)

	回答施設数(件)	過去1年間の新規の入所・入居者数合計(人)	入所・入居する前の居場所の割合(%)						
			自宅(※兄弟・子ども・親戚等の含む)	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム(特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設
住宅型有料老人ホーム	21	178	47.2	3.9	1.7	1.1	0.0	0.6	0.0
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	5	37	83.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	9	23	47.8	0.0	0.0	0.0	47.8	0.0	0.0
特定施設	4	28	57.1	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	1	65	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	72	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	4	116	41.4	2.6	0.0	10.3	0.9	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	24	45.8	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	47	543	38.9	2.6	0.6	2.8	2.2	0.2	0.0

	回答施設数(件)	過去1年間の新規の入所・入居者数合計(人)	入所・入居する前の居場所の割合(%)						
			介護老人保健施設	介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	病院・診療所(一時的な入院を除く)	その他	入居・入所する前の居場所を把握していない
住宅型有料老人ホーム	21	178	5.1	0.0	2.2	0.0	38.2	0.0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	5	37	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0
グループホーム	9	23	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
特定施設	4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0
介護老人保健施設	1	65	3.1	13.8	0.0	0.0	66.2	3.1	0.0
介護医療院	1	72	9.7	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	4	116	7.8	0.0	6.0	0.9	30.2	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	24	4.2	4.2	0.0	0.0	33.3	4.2	0.0
合計	47	543	5.2	1.8	2.0	0.2	43.1	0.6	0.0

問8 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※設問内容の関係で問9は次ページに掲載しています。

	回答施設数（件）	過去1年間の退去者数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）							
			自宅（※兄弟・子ども・親戚等を含む）	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
住宅型有料老人ホーム	21	174	3.4	5.2	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	5	40	7.5	5.0	0.0	7.5	0.0	2.5	0.0	0.0
グループホーム	8	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設	4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	1	59	10.2	8.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	72	2.8	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	9.7
特別養護老人ホーム	4	123	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
地域密着型特別養護老人ホーム	2	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
合計	46	538	3.3	3.2	0.4	0.7	0.2	0.6	0.0	1.5

	回答施設数（件）	過去1年間の退去者数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）						
			介護医療院	病院・診療所（上記「介護医療院」を除く）※一時的な入院は含みません。	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	行先を把握していない	死亡（※搬送先での死亡を含む）
住宅型有料老人ホーム	21	174	0.0	24.7	5.2	0.0	0.0	0.0	60.3
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	5	40	7.5	12.5	17.5	0.0	0.0	0.0	40.0
グループホーム	8	14	7.1	7.1	35.7	0.0	0.0	0.0	50.0
特定施設	4	29	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	89.7
介護老人保健施設	1	59	0.0	23.7	18.6	0.0	1.7	0.0	35.6
介護医療院	1	72	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	72.2
特別養護老人ホーム	4	123	0.0	23.6	2.4	0.0	0.0	0.0	71.5
地域密着型特別養護老人ホーム	2	27	0.0	25.9	3.7	0.0	0.0	0.0	66.7
合計	46	538	0.7	20.1	7.2	0.0	0.2	0.0	61.9

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

(数値を記入)

	回答施設数(件)	合計(人) 過去1年間の退去者数	退去者の要介護度の割合(%)									
			自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	※② 貴施設等 の死亡を含む
住宅型有料老人ホーム	21	174	0.0	0.0	0.0	1.7	10.9	9.8	19.5	21.3	0.0	36.8
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	5	40	0.0	2.5	10.0	17.5	12.5	7.5	15.0	10.0	0.0	25.0
グループホーム	8	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	14.3	0.0	42.9
特定施設	4	29	0.0	0.0	0.0	6.9	3.4	3.4	3.4	6.9	0.0	75.9
介護老人保健施設	1	59	0.0	0.0	0.0	5.1	13.6	8.5	20.3	16.9	0.0	35.6
介護医療院	1	72	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	2.8	33.3	56.9	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	4	123	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	13.0	21.1	13.0	0.0	50.4
地域密着型特別養護老人ホーム	2	27	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	11.1	11.1	7.4	0.0	66.7
合計	46	538	0.0	0.2	0.7	3.2	7.6	8.9	20.4	21.2	0.0	37.7

問 11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。(3つまで○)

	全体	必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	「必要な生活支援が発生・増大したから」「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」以外	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、提供が可能なサービス以外のサービスを希望した	費用負担が重くなったから	本人が希望したから	その他	無回答
住宅型有料老人ホーム	21	0.0	0.0	4.8	61.9	4.8	0.0	0.0	38.1	19.0	33.3	0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	5	20.0	20.0	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
グループホーム	11	0.0	27.3	27.3	72.7	0.0	9.1	0.0	45.5	9.1	18.2	0.0
特定施設	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0
介護老人保健施設	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護医療院	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
特別養護老人ホーム	4	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
合計	49	2.0	10.2	14.3	69.4	6.1	6.1	0.0	36.7	12.2	34.7	2.0

VI 圏域別の状況について

1 地域課題分析の視点

ここでは、本市の圏域別の地域課題を分析するため、主に圏域別に集計された調査結果を比較することで、5つの圏域のそれぞれの特徴と課題を分析します。集計・分析する項目は以下のとおりです。

(1) 地域別の状況の市平均との比較

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果に基づき、以下の項目について、各圏域における調査結果の集計を市全域の集計と比較することで、それぞれの圏域の特徴・課題を分析します。

項目	内容
1. 統計指標	○年齢別人口 ○高齢化率
2. 高齢者の状況	○単身世帯の割合 ○高齢者夫婦のみ世帯の割合 ○各種要介護リスクの状況
3. 地域での活動	○地域づくり活動（参加者）への参加意向 ○地域づくり活動（企画・運営）への参加意向 ○ボランティアグループ参加率 ○老人クラブ参加率 ○町内会・自治会参加率 ○支援や助け合いの活動意向
4. 健康観や幸福感	○主観的健康観 ○幸福感 ○趣味の有無 ○生きがいの有無
5. 孤立の状況	○孤食の状況 ○友人との交流の少なさ ○心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない ○看病や世話をしてくれる人がいない ○昨年と比べて外出の回数が減っている ○外出を控えている
6. 在宅介護の状況	○老々介護の割合 ○施設等への入所・入居の検討 ○介護保険以外の支援・サービスの利用 ○介護保険サービスの利用の有無 ○訪問診療の利用の有無 ○主な介護者が行う介護の種類 ○就労継続の見通し ○成年後見制度の認知度（新規）

(2) 地域課題の分析における留意事項

- ◆市全域の人口・圏域別・年齢別人口は、令和7年10月1日現在の瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口に基づきます。
- ◆地域カルテに掲載している、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に基づく数値については、要支援者の割合の違いによって地区ごとの数値にばらつきが出て比較ができなくなることを防ぐため、要支援者を除いた一般高齢者のみの数値を用いています。
- ◆各圏域の要介護リスクの状況についてのレーダーチャートについては、各リスクの割合を平均50、標準偏差10に揃えた標準得点（偏差値）で比較しています。

(3) 地域カルテ指標

地域カルテにおいて指標として用いた数値の定義は以下のとおりです。なお、各種要介護リスクの判定方法については、「Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果」の「11 要介護リスクの状況について（一般高齢者）」において記載しています。

	指標	説明
1	単身世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問2で「1人暮らし」を回答した割合。
2	高齢者夫婦のみ世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問2で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を回答した割合。
3	リスクの割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査から算出された各リスクの割合。
4	地域づくり活動への参加意向（参加者として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問64で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
5	地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問66で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
6	ボランティアのグループ参加率 老人クラブ参加率 町内会・自治会参加率	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問62で、①ボランティアのグループ、⑧老人クラブ、⑨町内会・自治会のそれぞれについて、「参加していない」以外を回答した割合。
7	支援・助け合い活動可能数平均	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問67で「特にできることはない」「無回答」以外の助け合い活動を回答した数の平均。
8	主観的健康感が良い	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問80で「とてもよい」または「まあよい」を回答した割合。
9	幸福感がある（8点以上）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問81で「8点」「9点」「10点」のいずれかを回答した割合。
10	趣味がある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問56で「はい」と回答した割合。
11	生きがいがある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問57で「はい」と回答した割合。
12	誰かと食事をともにする機会がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問32で「ほとんどない」と回答した割合。
13	友人との交流がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問78で「0人（いない）」と回答した割合。
14	心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問72で「そのような人はいない」と回答した割合。
15	看病や世話をしてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問74で「そのような人はいない」と回答した割合。

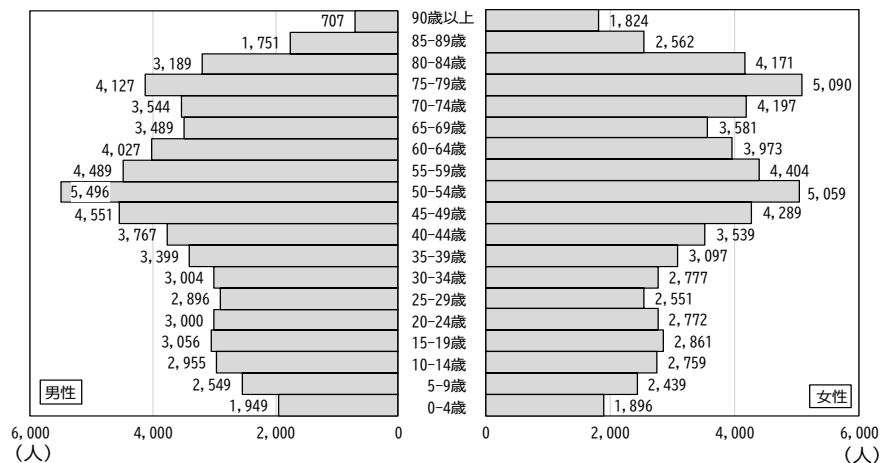
	指標	説明
16	昨年と比べて外出の回数が減っている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問 17 で「とても減っている」または「減っている」と回答した割合。
17	外出を控えている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問 18 で「はい」と回答した割合。
18	主な介護者が 70 歳以上	在宅介護実態調査 B 票問 4 で主な介護者の年齢について「70 歳代」または「80 歳以上」と回答した割合。
19	施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	在宅介護実態調査 A 票問 4 で「入所・入居を検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した割合。
20	利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	在宅介護実態調査 A 票問 8 で「利用していない」「無回答」以外の支援・サービスを回答した数の平均。
21	介護保険サービスを利用していない	在宅介護実態調査 A 票問 6 で「利用していない」と回答した割合。
22	訪問診療を利用していない	在宅介護実態調査 A 票問 10 で「利用していない」と回答した割合。
23	主な介護者が行う介護の種類 の平均	在宅介護実態調査 B 票問 5 で「わからない」「無回答」以外の介護等を回答した数の平均。
24	就労継続の見通しが困難	在宅介護実態調査 B 票問 10 で「続けていくのは、やや難しい」または「続けていくのは、かなり難しい」と回答した割合。
25	成年後見制度の認知度（新規）	在宅介護実態調査 B 票問 13 で「よく知っている」または「だいたいの内容は知っている」と回答した割合。

2 地域課題の分析

(1) 市全域

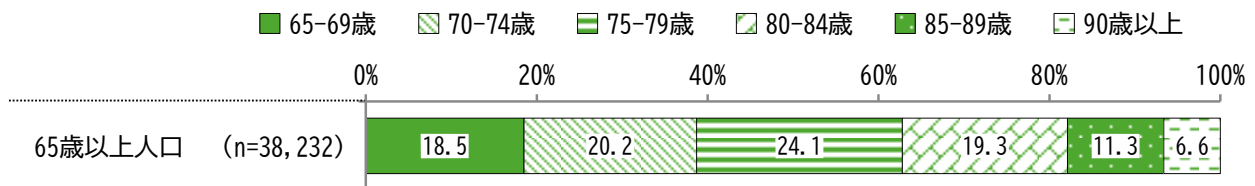
- ◆高齢者の人口は75～79歳が最も多くなっており、今後この年代がさらに高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆前回調査との違いとして、「生きがいがある」の割合が31.2%、「趣味がある」の割合が14.7%それぞれ減少しており、高齢者の生きがいづくり活動の支援の重要性がうかがえます。「外出を控えている」という割合は10%以上減少し、前回の新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる時期とは、一変していることがうかがえます。在宅介護の状況では、介護者について、「働きながら介護を続けていくことが難しい」と考える人が前回調査から7.9%増加し、2割となっています。
- ◆要介護リスクについては、全体的に悪化していませんが、転倒リスクのみ微増しており、引き続き介護予防の取組の重要性がうかがえます。

■人口ピラミッド（人口：125,786人、65歳以上：30.4%、75歳以上：18.6%）



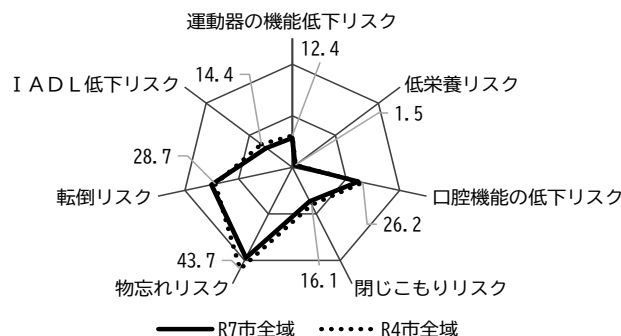
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（前回調査との比較）

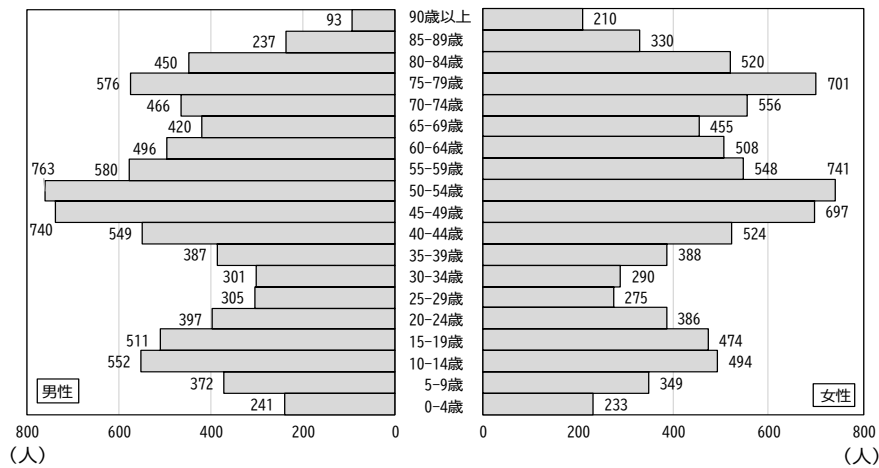


地域カルテ 【市全域】					
指標等項目	数値	前回との差	指標等項目	数値	前回との差
1. 統計指標					
人口	125,786人	-2,557	高齢化率	30.4%	0.5%
高齢者人口	38,232人	-201	75歳以上人口率	18.6%	2.1%
75歳以上人口	23,421人	2,194	85歳以上人口率	5.4%	0.6%
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	15.5%	-0.7%	口腔機能低下リスク	24.6%	-1.6%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	46.7%	0.2%	閉じこもりリスク	14.5%	-1.6%
虚弱リスク	7.1%	-1.1%	物忘れリスク	38.9%	-4.8%
運動器の機能低下リスク	11.4%	-1.0%	転倒リスク	30.1%	1.4%
低栄養リスク	1.3%	-0.2%	IADL低下	12.1%	-2.3%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.7%	-0.7%	老人クラブ参加率	3.1%	-1.2%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	34.6%	3.4%	町内会・自治会参加率	32.6%	7.3%
ボランティアのグループ参加率	11.1%	-3.8%	支援・助け合い活動可能数平均	2.66	0.11
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	74.1%	-3.4%	趣味がある	62.0%	-14.7%
幸福感がある（8点以上）	35.0%	0.0%	生きがいがある	47.1%	-31.2%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をともにする機会がない	7.4%	-0.2%	看病や世話をしてくれる人がいない	4.1%	-0.8%
友人との交流がない	18.2%	-0.6%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.1%	-4.9%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	-0.4%	外出を控えている	13.7%	-15.2%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	43.7%	5.5%	訪問診療を利用していない	68.4%	-8.2%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	33.4%	3.0%	主な介護者が行う介護の種類	6.36	0.38
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.86	0.04	就労継続の見通しが困難	20.0%	7.9%
介護保険サービスを利用していない	30.3%	5.6%	成年後見制度の認知度（新規）	36.6%	-

(2) 北部圏域（水野・西陵連区）

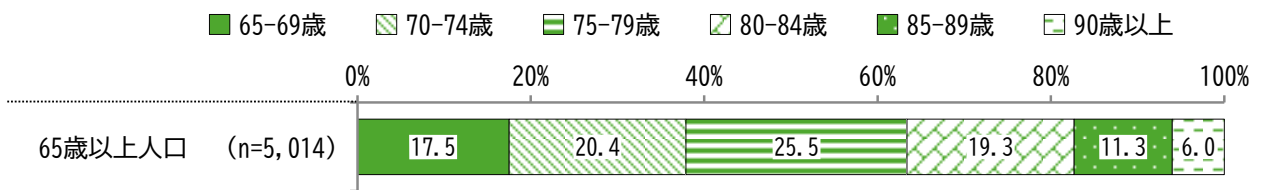
- ◆高齢者の年齢構成はほぼ市全域と同様の傾向となっており、今後人口の多い70歳代が高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆高齢者の状況をみると、物忘れリスクが市全域より5%高くなっています。
- ◆地域活動の状況では、地域での活動におけるその他の指標においても平均を上回っており、「参加者としての地域づくり活動への参加意向」が市全域より7.7%高くなっています。
- ◆主観的健康観、幸福感が市全域を上回っているものの、「生きがいがある」の割合が市全域より5.0%低くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」及び「訪問診療を利用していない」の割合が市全域より6.1%高く、「就労継続の見通しが困難」の割合が市全域より20.0%高くなっています。

■人口ピラミッド（人口：17,115人、65歳以上：29.3%、75歳以上：18.2%）



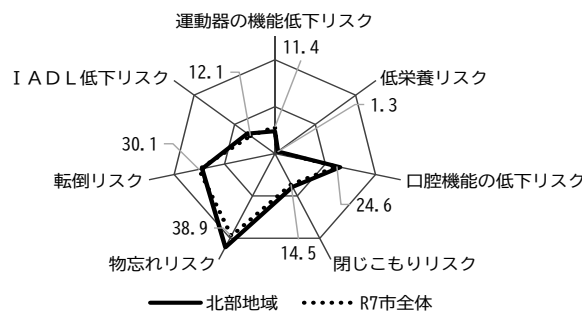
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

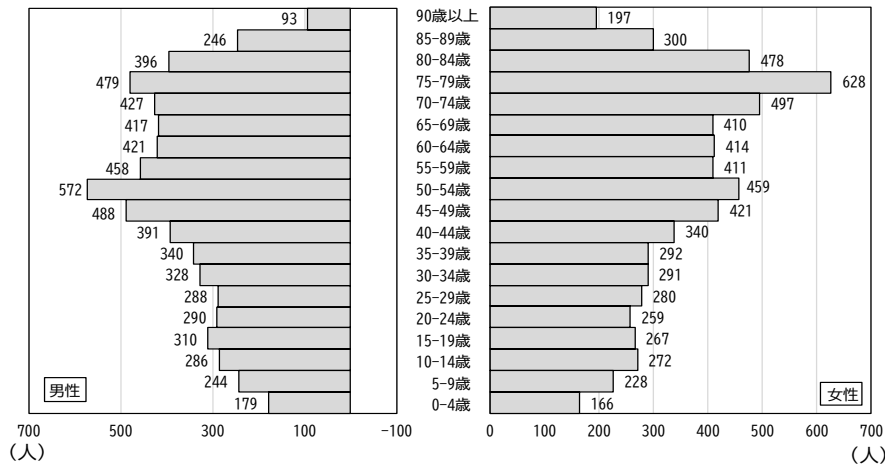


地域カルテ 【北部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	17,115人	-	高齢化率	29.3%	-1.1%
高齢者人口	5,014人	-	75歳以上人口率	18.2%	-0.4%
75歳以上人口	3,117人	-	85歳以上人口率	5.1%	-0.3%
2. 高齢者の状況					
0					
単身世帯の割合	15.2%	-0.3%	口腔機能低下リスク	25.9%	1.3%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	49.7%	3.0%	閉じこもりリスク	15.7%	1.2%
虚弱リスク	5.6%	-1.5%	物忘れリスク	44.2%	5.3%
運動器の機能低下リスク	9.6%	-1.8%	転倒リスク	28.9%	-1.2%
低栄養リスク	1.5%	0.2%	IADL低下	13.7%	1.6%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	59.4%	7.7%	老人クラブ参加率	3.5%	0.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	37.5%	2.9%	町内会・自治会参加率	36.0%	3.4%
ボランティアのグループ参加率	13.7%	2.6%	支援・助け合い活動可能数平均	2.79	0.13
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	76.2%	2.1%	趣味がある	62.4%	0.4%
幸福感がある（8点以上）	37.1%	2.1%	生きがいがある	42.1%	-5.0%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとる機会がない	10.2%	2.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	2.5%	-1.6%
友人との交流がない	15.2%	-3.0%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.9%	0.8%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	0.0%	外出を控えている	15.2%	1.5%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	40.5%	-3.2%	訪問診療を利用していない	74.5%	6.1%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	29.1%	-4.3%	主な介護者が行う介護の種類	7.14	0.78
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類	1.50	-0.36	就労継続の見通しが困難	40.0%	20.0%
介護保険サービスを利用していない	36.4%	6.1%	成年後見制度の認知度（新規）	51.3%	14.7%

(3) 東部圏域（品野・下品野・東明連区）

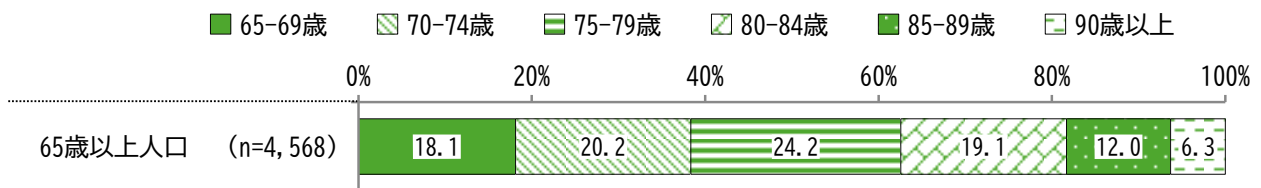
- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も高く、本市において最も高齢化が進んだ地域となっています。
- ◆高齢者の状況を見ると、市全域より数値の低い項目が多く、物忘れリスク、虚弱リスク、運動器の機能低下リスク、転倒リスクが市全域より下回っています。
- ◆地域での活動については、「町内会・自治会参加率」が3.4%高くなっています。
- ◆孤立の状況について、「外出を控えている」以外の項目において市全域より下回っています。
- ◆在宅介護の状況を見ると、「介護保険サービスを利用していない」が13.2%、「施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている」が7.9%、「就労継続の見通しが困難」が3.1%で市全域より高くなっています。

■人口ピラミッド（人口：13,263人、65歳以上34.4：％、75歳以上：21.2％）



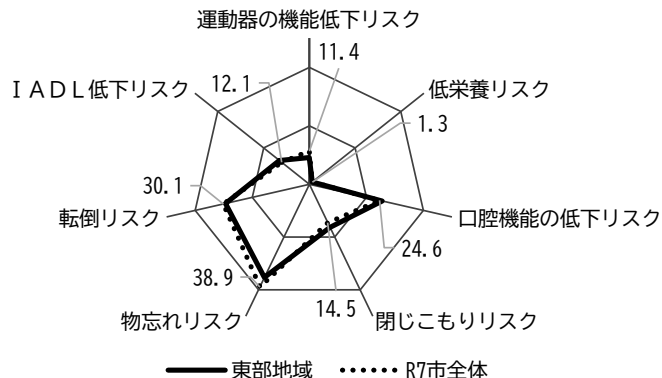
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

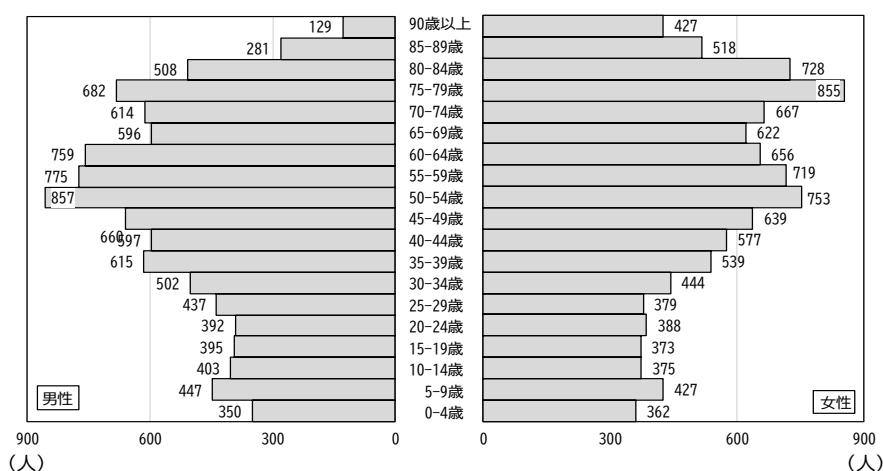


地域カルテ 【東部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	13,263人	-	高齢化率	34.4%	4.0%
高齢者人口	4,568人	-	75歳以上人口率	21.2%	2.6%
75歳以上人口	2,817人	-	85歳以上人口率	6.3%	0.9%
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	11.8%	-3.7%	口腔機能低下リスク	25.5%	0.9%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	47.1%	0.4%	閉じこもりリスク	16.3%	1.8%
虚弱リスク	3.9%	-3.2%	物忘れリスク	35.3%	-3.6%
運動器の機能低下リスク	9.2%	-2.2%	転倒リスク	29.4%	-0.7%
低栄養リスク	1.3%	0.0%	IADL低下	13.1%	1.0%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	48.4%	-3.3%	老人クラブ参加率	2.7%	-0.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	31.5%	-3.1%	町内会・自治会参加率	41.9%	9.3%
ボランティアのグループ参加率	13.1%	2.0%	支援・助け合い活動可能数平均	2.81	0.15
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	76.5%	2.4%	趣味がある	58.2%	-3.8%
幸福感がある（8点以上）	35.3%	0.3%	生きがいがある	47.1%	0.0%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとる機会がない	2.6%	-4.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.3%	-0.8%
友人との交流がない	15.7%	-2.5%	昨年と比べて外出の回数が減っている	22.3%	-0.8%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	2.6%	-1.0%	外出を控えている	13.7%	0.0%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	37.9%	-5.8%	訪問診療を利用していない	58.7%	-9.7%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	41.3%	7.9%	主な介護者が行う介護の種類	7.48	1.12
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類	2.07	0.21	就労継続の見通しが困難	23.1%	3.1%
介護保険サービスを利用していない	43.5%	13.2%	成年後見制度の認知度（新規）	27.5%	-9.1%

(4) 中央地域東（古瀬戸・道泉・深川・祖母懐・陶原連区）

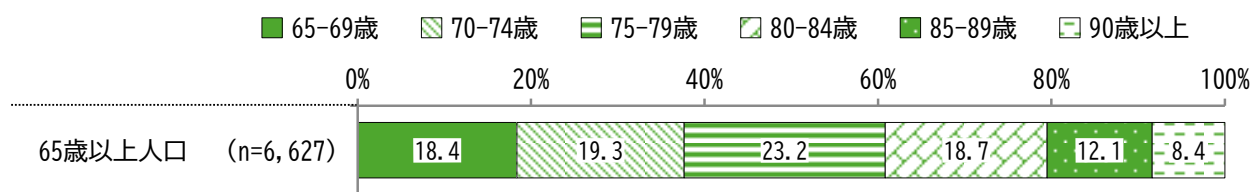
- ◆高齢化率は5圏域の中では2番目に高くなっています。また、高齢者に占める75歳以上の割合が5圏域で最も高くなっています。
- ◆高齢者の状況をみると、市全域より数値の高い項目が多く、中でも転倒リスク、口腔機能低下リスク、虚弱リスクが高くなっています。
- ◆地域での活動について、「企画・運営としての地域づくりへの参加意向」が市全域より4.0%高くなっています。
- ◆「誰かと食事をとる機会がない」、「友人との交流がない」といった孤立のリスクに関する項目が市全域を上回っています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」が市全域より9%低く、「訪問診療を利用していない」が市全域より10.3%高くなっています。

■人口ピラミッド（人口：20,447人、65歳以上：32.4%、75歳以上：20.2%）



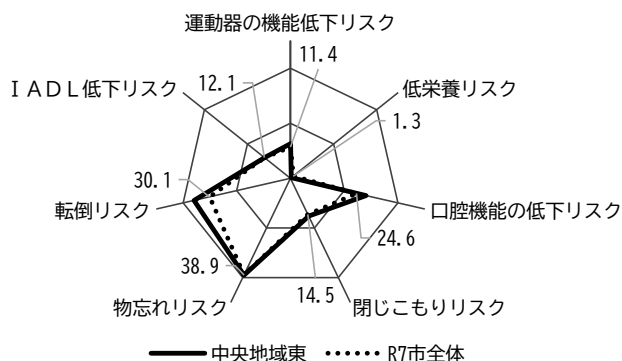
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

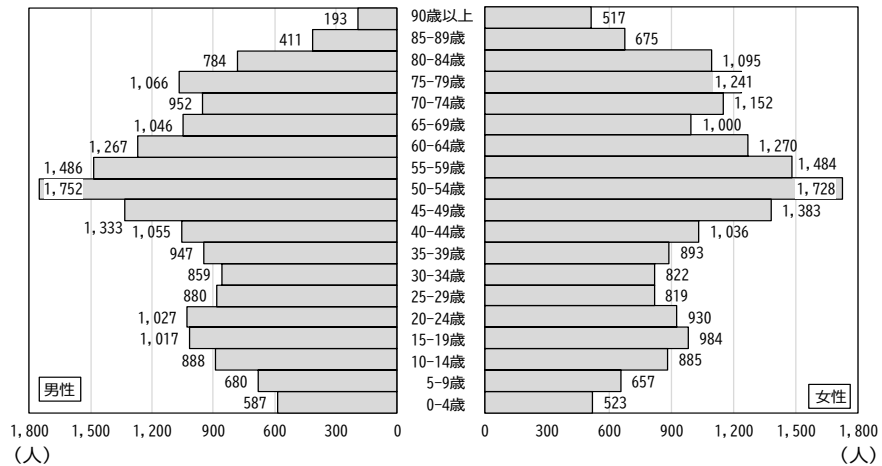


地域カルテ 【中央地域東】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	20,447人	-	高齢化率	32.4%	2.0%
高齢者人口	6,627人	-	75歳以上人口率	20.2%	1.6%
75歳以上人口	4,128人	-	85歳以上人口率	6.6%	1.2%
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	18.2%	2.7%	口腔機能低下リスク	28.1%	3.5%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	44.2%	-2.5%	閉じこもりリスク	15.2%	0.7%
虚弱リスク	9.1%	2.0%	物忘れリスク	39.0%	0.1%
運動器の機能低下リスク	12.6%	1.2%	転倒リスク	35.9%	5.8%
低栄養リスク	0.4%	-0.9%	IADL低下	12.1%	0.0%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	50.7%	-1.0%	老人クラブ参加率	2.6%	-0.5%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	38.6%	4.0%	町内会・自治会参加率	34.2%	1.6%
ボランティアのグループ参加率	12.2%	1.1%	支援・助け合い活動可能数平均	2.49	-0.17
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	74.9%	0.8%	趣味がある	62.8%	0.8%
幸福感がある（8点以上）	36.3%	1.3%	生きがいがある	48.5%	1.4%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとる機会がない	10.0%	2.6%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.9%	-0.2%
友人との交流がない	20.3%	2.1%	昨年と比べて外出の回数が減っている	22.0%	-1.1%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	2.6%	-1.0%	外出を控えている	14.7%	1.0%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	42.6%	-1.1%	訪問診療を利用していない	78.7%	10.3%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	29.5%	-3.9%	主な介護者が行う介護の種類	5.56	-0.80
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.62	-0.24	就労継続の見通しが困難	14.3%	-5.7%
介護保険サービスを利用していない	21.3%	-9.0%	成年後見制度の認知度（新規）	38.3%	1.7%

(5) 中央地域西（効範・水南・長根連区）

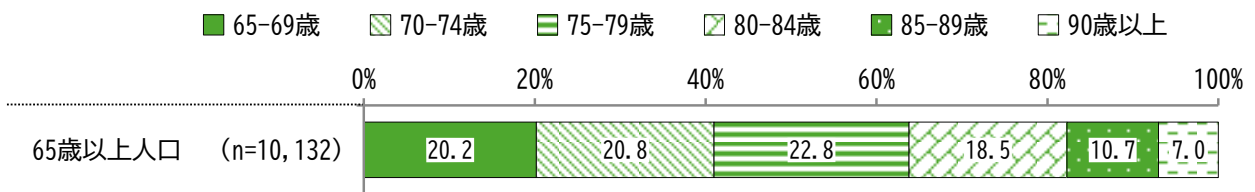
- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も低く、75歳前後のいわゆる団塊の世代より、40歳代後半から50歳代前半の団塊ジュニア世代の人口の方が多いのが特徴です。
- ◆高齢者の状況を見ると、全体的に市全域の数値を下回っています。
- ◆地域活動の状況は5圏域の中でも全般的に低く、特に町内会・自治会への参加率は、市全域より9.6%低くなっています。
- ◆「施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている」が市全域を3.8%上回っています。

■人口ピラミッド（人口：37,324人、65歳以上：27.1%、75歳以上：16.0%）



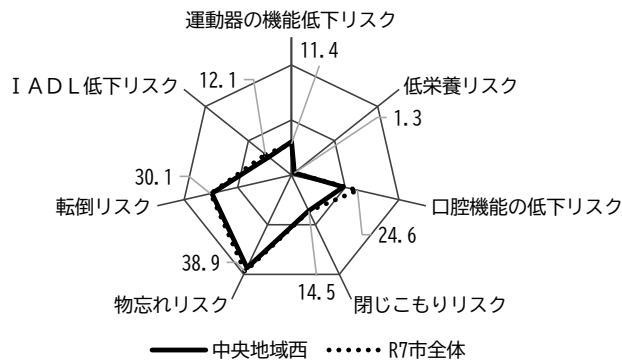
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

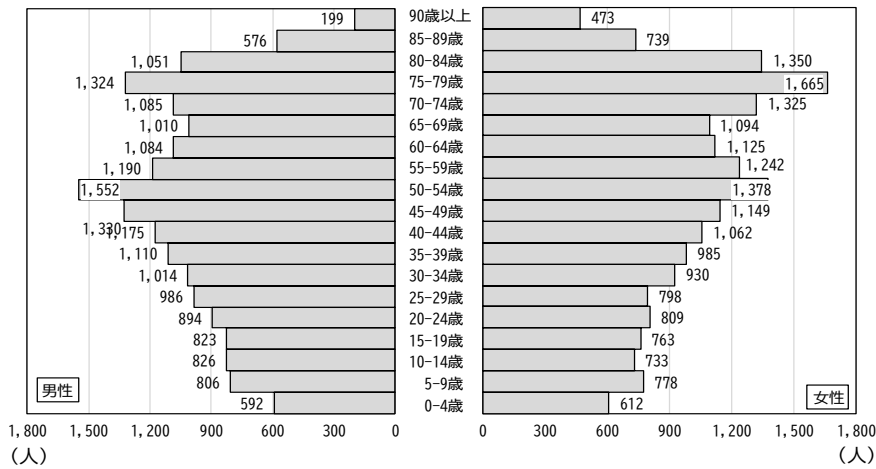


地域カルテ 【中央地域西】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	37,324人	-	高齢化率	27.1%	-3.3%
高齢者人口	10,132人	-	75歳以上人口率	16.0%	-2.6%
75歳以上人口	5,982人	-	85歳以上人口率	4.8%	-0.6%
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	14.0%	-1.5%	口腔機能低下リスク	19.3%	-5.3%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	49.2%	2.5%	閉じこもりリスク	14.3%	-0.2%
虚弱リスク	7.1%	0.0%	物忘れリスク	37.3%	-1.6%
運動器の機能低下リスク	12.2%	0.8%	転倒リスク	29.6%	-0.5%
低栄養リスク	1.3%	0.0%	IADL低下	10.6%	-1.5%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	50.0%	-1.7%	老人クラブ参加率	1.4%	-1.7%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	30.7%	-3.9%	町内会・自治会参加率	23.0%	-9.6%
ボランティアのグループ参加率	7.5%	-3.6%	支援・助け合い活動可能数平均	2.62	-0.04
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	72.5%	-1.6%	趣味がある	64.6%	2.6%
幸福感がある（8点以上）	36.5%	1.5%	生きがいがある	48.1%	1.0%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとる機会がない	5.6%	-1.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.7%	-0.4%
友人との交流がない	20.4%	2.2%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.8%	0.7%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.7%	0.1%	外出を控えている	13.8%	0.1%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	43.7%	0.0%	訪問診療を利用していない	66.0%	-2.4%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	37.2%	3.8%	主な介護者が行う介護の種類	6.00	-0.36
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.94	0.08	就労継続の見通しが困難	17.3%	-2.7%
介護保険サービスを利用していない	30.9%	0.6%	成年後見制度の認知度（新規）	40.6%	4.0%

(6) 南部圏域（山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台連区）

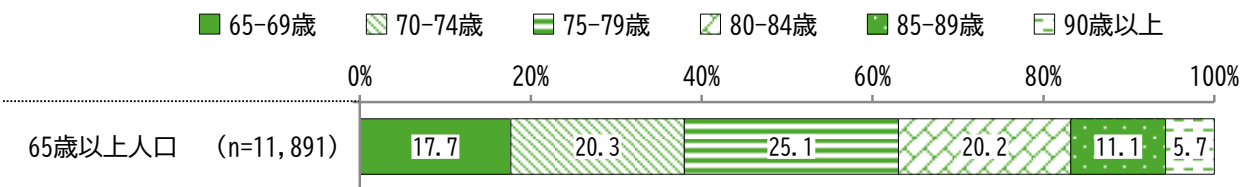
- ◆人口、高齢者人口、75歳以上人口はいずれも5圏域の中で最も多くなっています。
- ◆高齢者の状況をみると、市全域より転倒リスク、閉じこもりリスクがやや下回っています。
- ◆町内会・自治会への参加率は、市全域より2.5%高くなっています。
- ◆幸福感が5圏域の中で最も低くなっています。主観的健康観、「趣味がある」も市全域よりやや低くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」が5.1%、「就労の見通しが困難」が5.2%で市全域より低くなっています。

■人口ピラミッド（人口：37,637人、65歳以上：31.6%、75歳以上：19.6%）



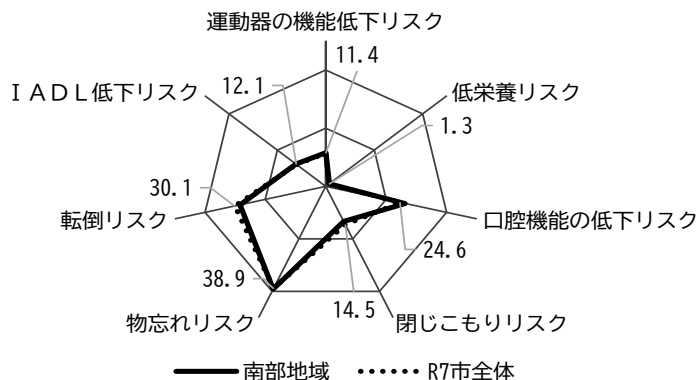
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）



地域カルテ 【南部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
1. 統計指標					
人口	37,637人	-	高齢化率	31.6%	1.2%
高齢者人口	11,891人	-	75歳以上人口率	19.6%	1.0%
75歳以上人口	7,377人	-	85歳以上人口率	5.3%	-0.1%
2. 高齢者の状況					
単身世帯の割合	16.8%	1.3%	口腔機能低下リスク	26.2%	1.6%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	44.5%	-2.2%	閉じこもりリスク	13.3%	-1.2%
虚弱リスク	7.6%	0.5%	物忘れリスク	39.1%	0.2%
運動器の機能低下リスク	11.6%	0.2%	転倒リスク	28.4%	-1.7%
低栄養リスク	1.5%	0.2%	IADL低下	12.3%	0.2%
3. 地域での活動					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.5%	-0.2%	老人クラブ参加率	4.5%	1.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	35.5%	0.9%	町内会・自治会参加率	35.1%	2.5%
ボランティアのグループ参加率	11.6%	0.5%	支援・助け合い活動可能数平均	2.68	0.02
4. 健康観や幸福感					
主観的健康感が良い	73.1%	-1.0%	趣味がある	60.5%	-1.5%
幸福感がある（8点以上）	32.1%	-2.9%	生きがいがある	47.6%	0.5%
5. 孤立の状況					
誰かと食事をとる機会がない	8.1%	0.7%	看病や世話をしてくれる人がいない	5.5%	1.4%
友人との交流がない	17.5%	-0.7%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.1%	0.0%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	4.4%	0.8%	外出を控えている	12.4%	-1.3%
6. 在宅介護の状況					
主な介護者が70歳以上	44.7%	1.0%	訪問診療を利用していない	66.4%	-2.0%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	31.9%	-1.5%	主な介護者が行う介護の種類	6.24	-0.12
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.94	0.08	就労継続の見通しが困難	14.8%	-5.2%
介護保険サービスを利用していない	25.2%	-5.1%	成年後見制度の認知度（新規）	28.2%	-8.4%

